

宮代町住民意識調査結果報告書



令和2年3月

宮代町

目 次

I	調査概要	1
II	住民意識調査 調査結果	2
	◎住民意識調査 調査項目一覧	2
1	回答者の属性	3
2	町の住みごころについて	7
	(1) 町の住みやすさ	7
	(2) 住みやすさを考える上で大切なこと	9
	(3) 幸福感	11
	(4) 幸福感の判断で重視したこと	13
	(5) 町への愛着	15
	(6) 今後の定住意向	17
	(7) 住み続けたい理由	19
	(8) 移転したい理由	23
3	まちづくりに対する“満足度”と“重要度”について	25
	(1) 満足度・重要度	25
	(2) 満足度・重要度スコア	31
	(3) 満足度、重要度の散布図	32
4	今後のまちづくりの基本的方向性について	37
	(1) 都市開発のあり方について	37
	(2) 田園景観減少への対応	39
	(3) 活用すべき資源	41
	(4) 今後の行政サービスのあり方	45
	(5) 目指すべきまちづくりの方向	47
5	地域活動について	51
	(1) 地域でつながりのある人、団体等	51
	(2) 自治会・町内会の加入状況	54
	(3) 自治会・町内会に加入していない理由	56
	(4) 重要だと思ふ地域活動	58
	(5) 参加できる地域活動	60
6	地域での働き方について	63
	(1) コミュニティビジネスへの関心	63
7	町からの情報提供について	65
	(1) 町に関する情報の入手先	65
8	町の将来像について	69
	(1) 町の将来像について	69
9	自由回答	74
III	転入者住民意識調査 調査結果	75
	◎転入者住民意識調査 調査項目一覧	75
1	回答者の属性等	76

2	転入のきっかけ・理由等について	87
	(1) 転入のきっかけ	87
	(2) 宮代町以外で転入先として検討した市区町村	90
	(3) 転入先の決め手	93
3	町の情報等について	96
	(1) 以前から宮代町のことを知っていたか	96
	(2) どのような経緯で宮代町を知ったか	98
	(3) 宮代町について知っていたこと	101
	(4) 住まい・転入先を探した時の情報源	104
4	町の印象について	107
	(1) 町に住んでみた感想	107
5	自治会について	111
	(1) 自治会・町内会の加入状況	111
	(2) 自治会・町内会に加入していない主な理由	113
6	今後の定住意向について	116
	(1) 今後の定住意向	116
	(2) 住み続けたい理由	118
	(3) 移転したい理由	121
7	町の将来像について	122
	(1) 町の将来像について	122
8	自由回答	124
資料編：調査票		125

I 調査概要

1 調査の目的

「第5次総合計画」の策定にあたり、まちづくりに対する住民の意向などを把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的としてアンケート調査を実施した。

2 調査種別

次の2種類のアンケートを実施した。

- (1) 住民意識調査
- (2) 転入者住民意識調査

3 調査の設計

(1) 住民意識調査		(2) 転入者住民意識調査	
①調査地域	宮代町全域	①調査地域	宮代町全域
②調査対象	宮代町在住の満18歳以上の男女	②調査対象	過去5年間に宮代町へ転入した満18歳以上の男女
③標本数	3,000人	③標本数	1,000人
④調査方法	郵送による配票、回収	④調査方法	郵送による配票、回収
⑤調査期間	令和元年6月10日～7月1日	⑤調査期間	令和元年6月10日～7月1日

4 回収結果

(1) 住民意識調査		(2) 転入者住民意識調査	
①発送数	3,000人	①発送数	1,000人
②有効回収数	1,193人 (有効回収率 39.8%)	②有効回収数	336人 (有効回収率 33.6%)

5 報告書をみるにあたって

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は必ずしも100%にならないことがある。
- (2) 2つ以上の回答を要する(複数回答)質問では、通常その回答比率の合計は100%を超える。
- (3) 各質問における回答数(基数)を「n」と表記している。図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答を除いているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は一致しない。
- (4) 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表中では省略した表現を用いる場合がある。

II 住民意識調査 調査結果

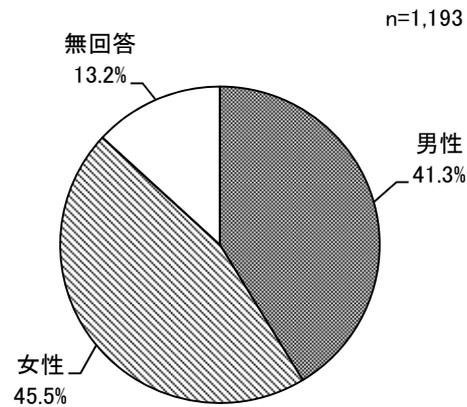
II 住民意識調査 調査結果

◎住民意識調査 調査項目一覧

問1①	性別	}	回答者の属性
問1②	年齢		
問1③	居住年数		
問1④	職業		
問1⑤	通勤・通学先		
問1⑥	家族構成		
問1⑦	配偶者の有無		
問1⑧	居住地域		
問2	町の住みやすさ		
問3	住みやすさを考える上で大切なこと		
問4	幸福感		
問5	幸福感の判断で重視したこと		
問6	町への愛着		
問7	今後の定住意向		
問7-1	住み続けたい理由		
問7-2	移転したい理由		
問8	満足度・重要度		
問9	都市開発のあり方について		
問10	田舎景観減少への対応		
問11	活用すべき資源		
問12	今後の行政サービスのあり方		
問13	目指すべきまちづくりの方向		
問14	地域で繋がりのある人、団体等		
問15	自治会・町内会の加入状況		
問16	自治会・町内会に加入していない理由		
問17	重要だと思う地域活動		
問18	参加できる地域活動		
問19	コミュニティビジネスへの関心		
問20	町に関する情報の入手先		
問21	町の将来像について（記述式）		
	自由回答（記述式）		

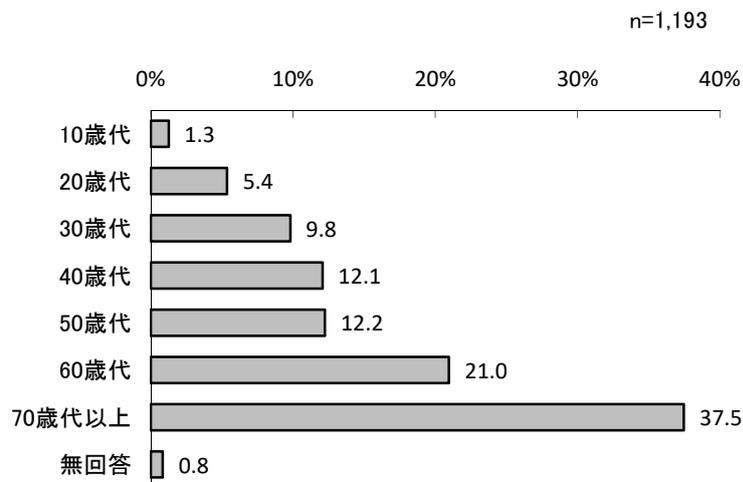
1 回答者の属性

(1) 性別



- ・「男性」41.3%に対し、「女性」45.5%となっている。

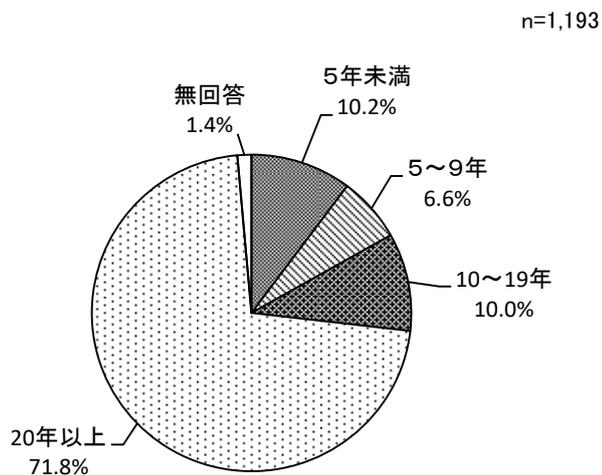
(2) 年齢



- ・「70歳代以上」37.5%、「60歳代」21.0%、「50歳代」12.2%、「40歳代」12.1%の順である。

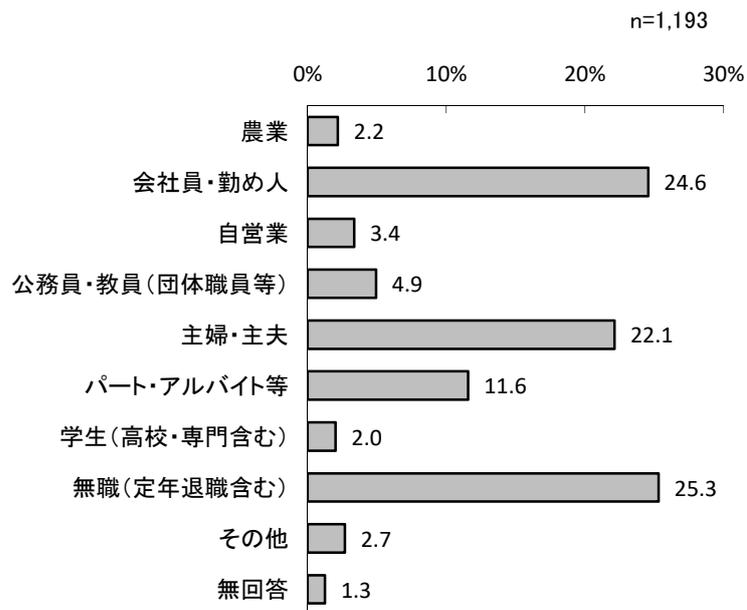
II 住民意識調査 調査結果

(3) 居住年数



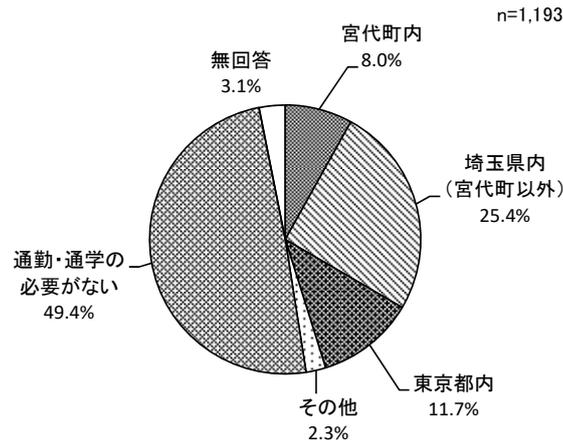
- ・「20年以上」71.8%、「5年未満」10.2%、「10~19年」10.0%、「5~9年」6.6%の順である。

(4) 職業



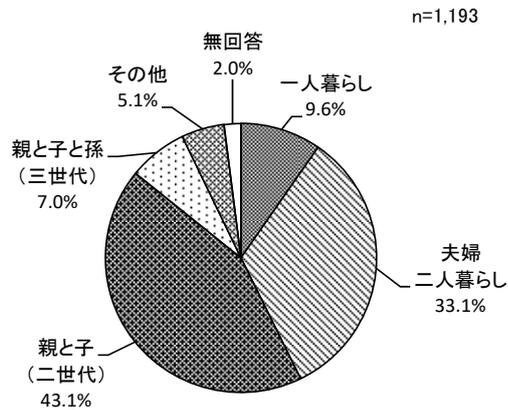
- ・「無職(定年退職含む)」25.3%、「会社員・勤め人」24.6%、「主婦・主夫」22.1%、「パート・アルバイト等」11.6%の順である。

(5) 通勤・通学先



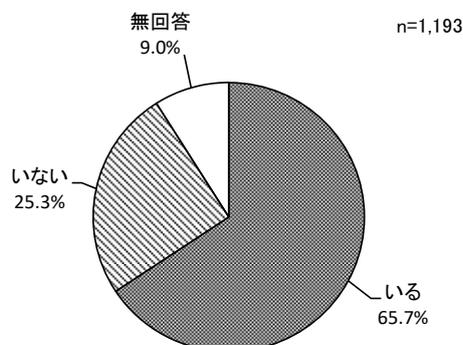
・「通勤・通学の必要がない」49.4%、「埼玉県内（宮代町以外）」25.4%、「東京都内」11.7%に対し、「宮代町内」は8.0%となっている。

(6) 家族構成



・「親と子（二世代）」43.1%、「夫婦二人暮らし」33.1%、「一人暮らし」9.6%、「親と子と孫（三世代）」7.0%の順である。

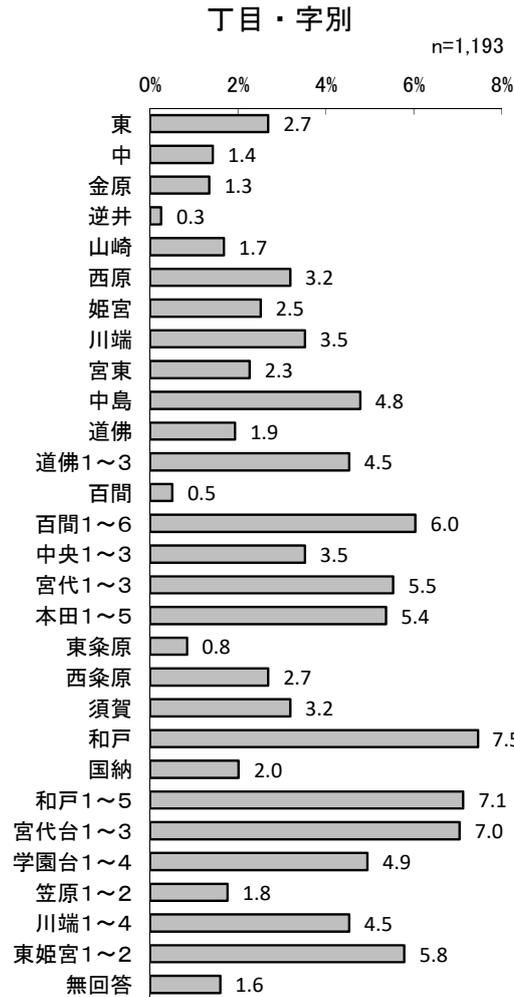
(7) 配偶者の有無



・「いる」65.7%に対し、「いない」25.3%となっている。

II 住民意識調査 調査結果

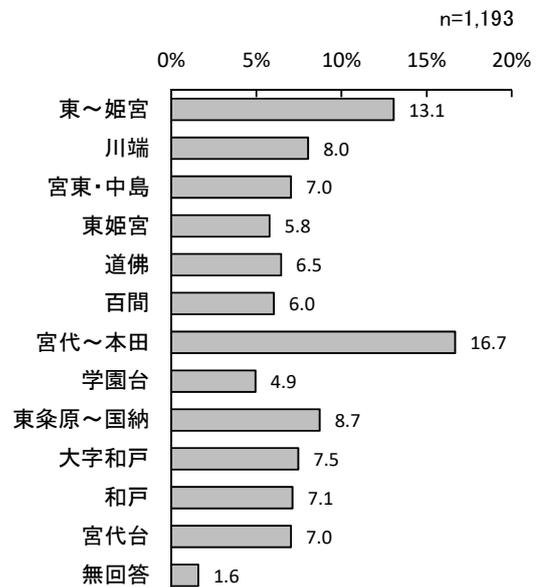
(8) 居住地域



・「和戸」7.5%、「和戸1～5丁目」7.1%、「宮代台1～3丁目」7.0%、「百間1～6丁目」6.0%などの順となっている。12地区別では、「宮代～本田」16.7%、「東～姫宮」13.1%、「東条原～国納」8.7%の順である。

12地区別

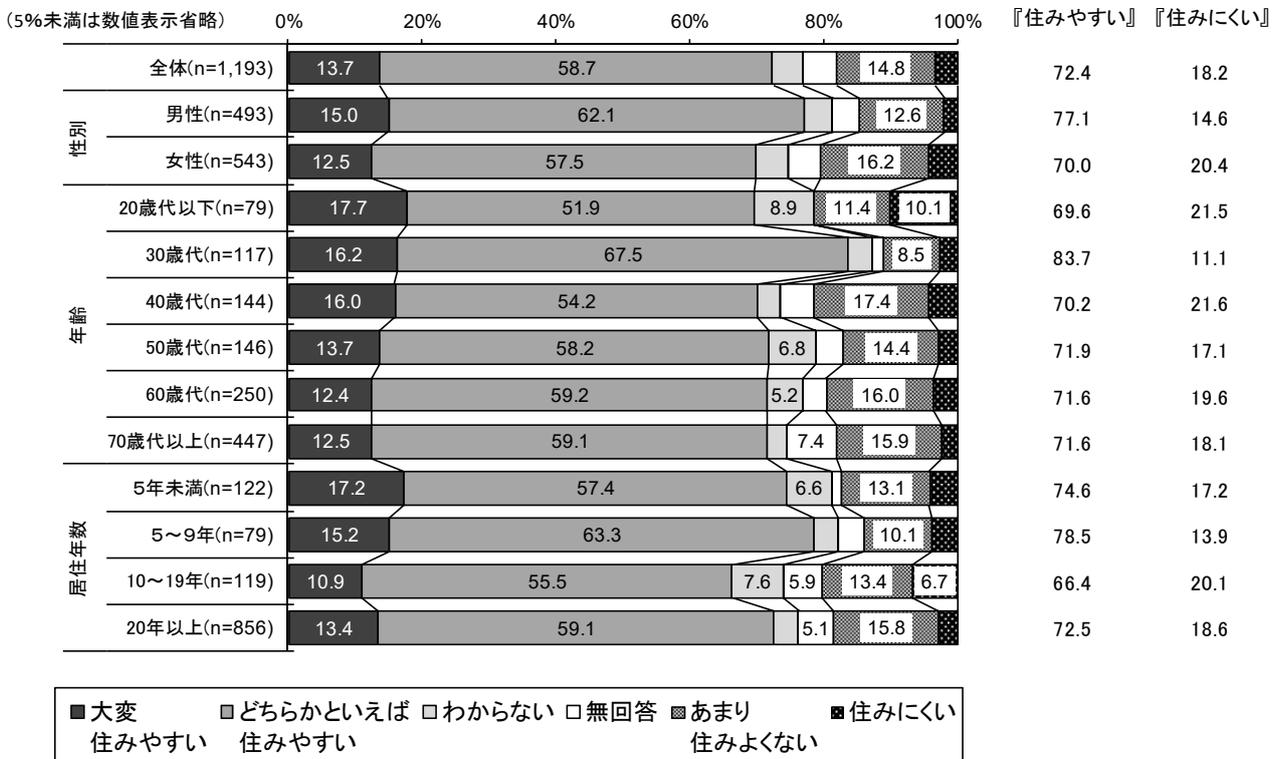
	地区名	町丁
1	東～姫宮	字東、字中、字金原、字逆井、字山崎、字西原、字姫宮
2	川端	字川端、川端1丁目～4丁目
3	宮東・中島	字宮東、字中島
4	東姫宮	東姫宮1丁目～2丁目
5	道佛	字道佛、道佛1丁目～3丁目
6	百間	百間1丁目～百間6丁目
7	宮代～本田	宮代1丁目～3丁目、字百間、中央2丁目～3丁目、笠原1丁目～2丁目、本田1丁目～5丁目
8	学園台	学園台1丁目～4丁目
9	東条原～国納	大字東条原、大字西須賀、大字須賀、大字国納
10	大字和戸	大字和戸
11	和戸	和戸1丁目～5丁目
12	宮代台	宮代台1丁目～3丁目



2 町の住みごころについて

(1) 町の住みやすさ

問2 あなたは、宮代町の住みやすさを、全体としてどう感じていますか。(1つに○)



〈全体〉

「大変住みやすい」13.7%、「どちらかといえば住みやすい」58.7%、合わせた『住みやすい』は72.4%、約7割である。

これに対し、「あまり住みよくない」14.8%、「住みにくい」3.4%、合わせた『住みにくい』は18.2%である。

〈性別〉

『住みやすい』は男性77.1%、女性70.0%、『住みにくい』は女性20.4%、男性14.6%である。

〈年齢別〉

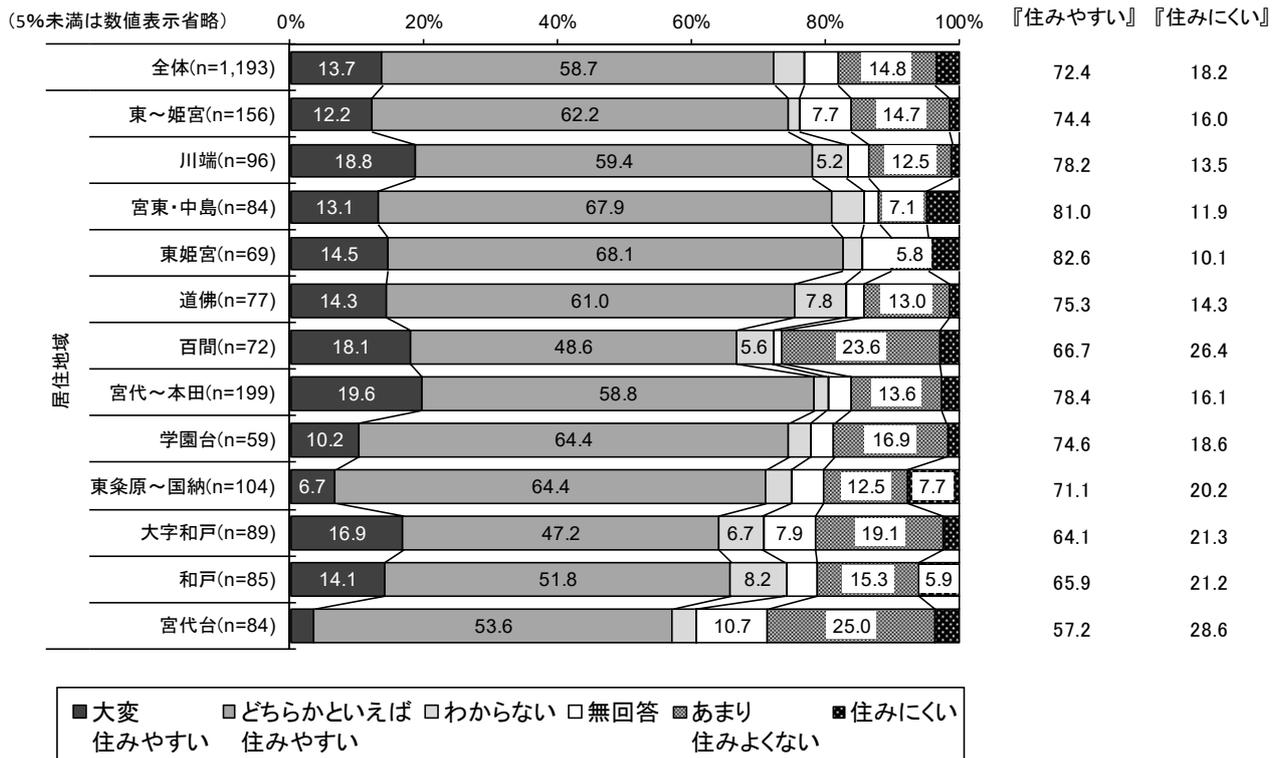
『住みやすい』は30歳代が83.7%と最も多い。40歳代以上はいずれも70%以上、20歳代以下は69.6%である。

『住みにくい』は40歳代21.6%、20歳代以下21.5%、60歳代19.6%の順である。

〈居住年数別〉

『住みやすい』は5～9年が78.5%、『住みにくい』は10～19年が20.1%と最も多い。

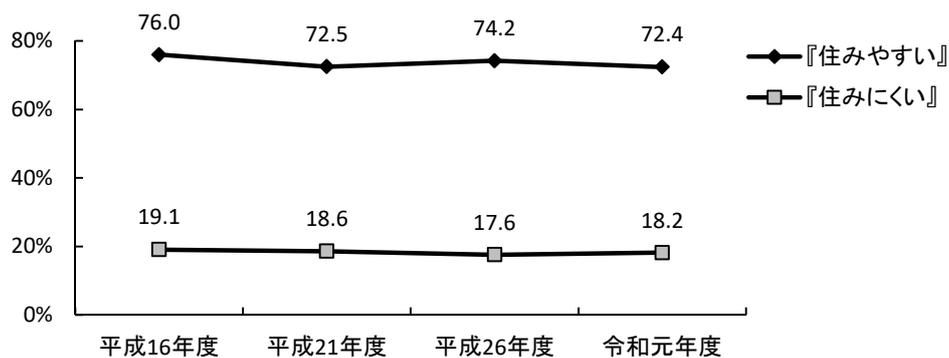
II 住民意識調査 調査結果



〈居住地域別〉

『住みやすい』は東姫宮 82.6%、宮東・中島 81.0%、宮代～本田 78.4%の順である。一方、『住みにくい』は宮代台 28.6%、百間 26.4%、大字和戸 21.3%の順である。

宮代町の住みやすさの推移



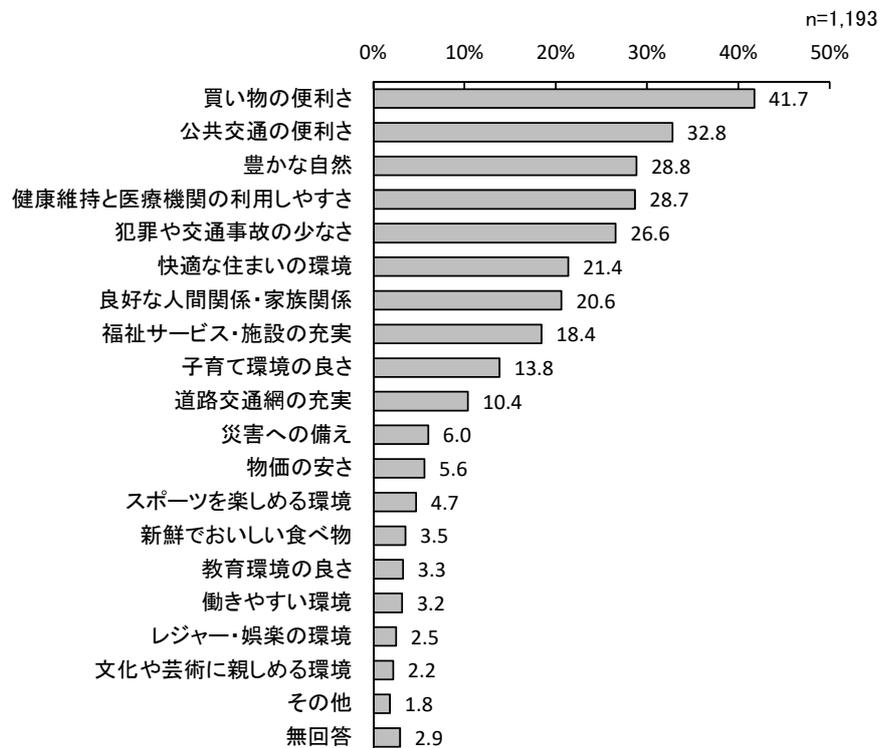
〈経年比較〉

『住みやすい』が最も多いのは平成16年度調査の76.0%であるが、今回調査（令和元年）を含め大きな差はみられない。

『住みにくい』が最も多いのも平成16年度調査の19.1%であるが、『住みにくい』についても今回調査を含め大きな差はみられない。

(2) 住みやすさを考える上で大切なこと

問3 あなたにとって、「住みやすさ」を考えるうえで大切なことはどのようなことですか。(3つに○)



〈全体〉

「住みやすさ」を考えるうえで大切なことは、「買い物の便利さ」41.7%、「公共交通の便利さ」32.8%、「豊かな自然」28.8%、「健康維持と医療機関の利用しやすさ」28.7%、「犯罪や交通事故の少なさ」26.6%の順である。

単位:%

属性	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=493)	買い物の便利さ 37.7	公共交通の便利さ 34.1	豊かな自然 31.6	犯罪や交通事故の少なさ 28.0	健康維持と医療機関の利用しやすさ 27.2
女性 (n=543)	買い物の便利さ 45.7	公共交通の便利さ 33.3	健康維持と医療機関の利用しやすさ 30.2	犯罪や交通事故の少なさ 26.7	豊かな自然 25.6
20歳代以下 (n=79)	公共交通の便利さ 43.0	買い物の便利さ 40.5	犯罪や交通事故の少なさ 32.9	豊かな自然 31.6	快適な住まいの環境 26.6
30歳代 (n=117)	子育て環境の良さ 46.2	買い物の便利さ 37.6	公共交通の便利さ 34.2	犯罪や交通事故の少なさ 28.2	快適な住まいの環境 26.5
40歳代 (n=144)	買い物の便利さ 47.9	公共交通の便利さ 43.8	犯罪や交通事故の少なさ 29.2	健康維持と医療機関の利用しやすさ 26.4	子育て環境の良さ 24.3
50歳代 (n=146)	買い物の便利さ 45.2	公共交通の便利さ 34.2	豊かな自然 27.4	健康維持と医療機関の利用しやすさ 26.7	犯罪や交通事故の少なさ 24.0
60歳代 (n=250)	買い物の便利さ 44.0	健康維持と医療機関の利用しやすさ 33.6	豊かな自然 32.8	公共交通の便利さ 30.8	犯罪や交通事故の少なさ 30.0
70歳代以上 (n=447)	買い物の便利さ 38.0	健康維持と医療機関の利用しやすさ 33.6	豊かな自然 31.1	公共交通の便利さ 27.7	良好な人間関係・家族関係 25.5

II 住民意識調査 調査結果

〈性別〉

男女とも「買い物の便利さ」「公共交通の便利さ」が上位にあげられているが、「買い物の便利さ」は女性が男性を8ポイント上回る。一方、「豊かな自然」は男性が女性を6ポイント上回る。

〈年齢別〉

20歳代以下は「公共交通の便利さ」、30歳代は「子育て環境の良さ」、40歳代以上は「買い物の便利さ」が1位にあげられている。

単位：%

属性	1位	2位	3位	4位	5位
東～姫宮 (n=156)	買い物の便利さ／豊かな自然 35.3		健康維持と医療機関の利用しやすさ 32.1	公共交通の便利さ 30.8	良好な人間関係・家族関係 28.8
川端 (n=96)	買い物の便利さ 38.5	健康維持と医療機関の利用しやすさ 33.3	犯罪や交通事故の少なさ 32.3	豊かな自然 30.2	公共交通の便利さ 27.1
宮東・中島 (n=84)	買い物の便利さ／公共交通の便利さ 38.1		犯罪や交通事故の少なさ 34.5	豊かな自然 25.0	健康維持と医療機関の利用しやすさ 23.8
東姫宮 (n=69)	買い物の便利さ／豊かな自然 37.7		公共交通の便利さ 34.8	快適な住まいの環境 27.5	健康維持と医療機関の利用しやすさ 26.1
道佛 (n=77)	買い物の便利さ 42.9	子育て環境の良さ／公共交通の便利さ 32.5		健康維持と医療機関の利用しやすさ 29.9	快適な住まいの環境 24.7
百間 (n=72)	買い物の便利さ 47.2	公共交通の便利さ 37.5	健康維持と医療機関の利用しやすさ 30.6	犯罪や交通事故の少なさ 29.2	福祉サービス・施設の充実 25.0
宮代～本田 (n=199)	買い物の便利さ 48.7	公共交通の便利さ 39.2	豊かな自然 31.7	健康維持と医療機関の利用しやすさ 28.1	犯罪や交通事故の少なさ／快適な住まいの環境 20.6
学園台 (n=59)	買い物の便利さ 40.7	快適な住まいの環境 37.3	豊かな自然 35.6	健康維持と医療機関の利用しやすさ 33.9	犯罪や交通事故の少なさ 32.2
東条原～国納 (n=104)	買い物の便利さ 35.6	豊かな自然 30.8	公共交通の便利さ 28.8	健康維持と医療機関の利用しやすさ 24.0	快適な住まいの環境／良好な人間関係・家族関係 23.1
大字和戸 (n=89)	買い物の便利さ 34.8	公共交通の便利さ 29.2	豊かな自然／犯罪や交通事故の少なさ 28.1		健康維持と医療機関の利用しやすさ 23.6
和戸 (n=85)	買い物の便利さ 40.0	公共交通の便利さ 32.9	犯罪や交通事故の少なさ 30.6	健康維持と医療機関の利用しやすさ 27.1	良好な人間関係・家族関係 25.9
宮代台 (n=84)	買い物の便利さ 54.8	健康維持と医療機関の利用しやすさ 34.5	公共交通の便利さ 32.1	犯罪や交通事故の少なさ 25.0	福祉サービス・施設の充実 23.8

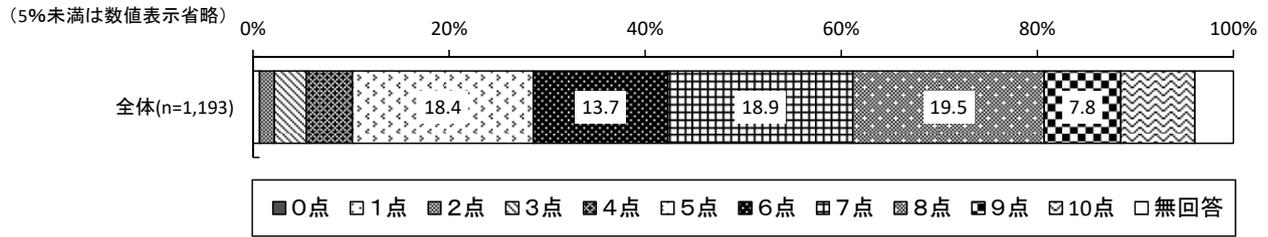
〈居住地域別〉

全ての地域で「買い物の便利さ」が1位（東～姫宮、東姫宮では「豊かな自然」、宮東・中島では「公共交通の便利さ」も同率1位）にあげられており、特に宮代台、宮代～本田、百間でその比率が高い。

全体と比較すると、道佛では「子育て環境の良さ」、学園台では「快適な住まいの環境」の比率が高い。

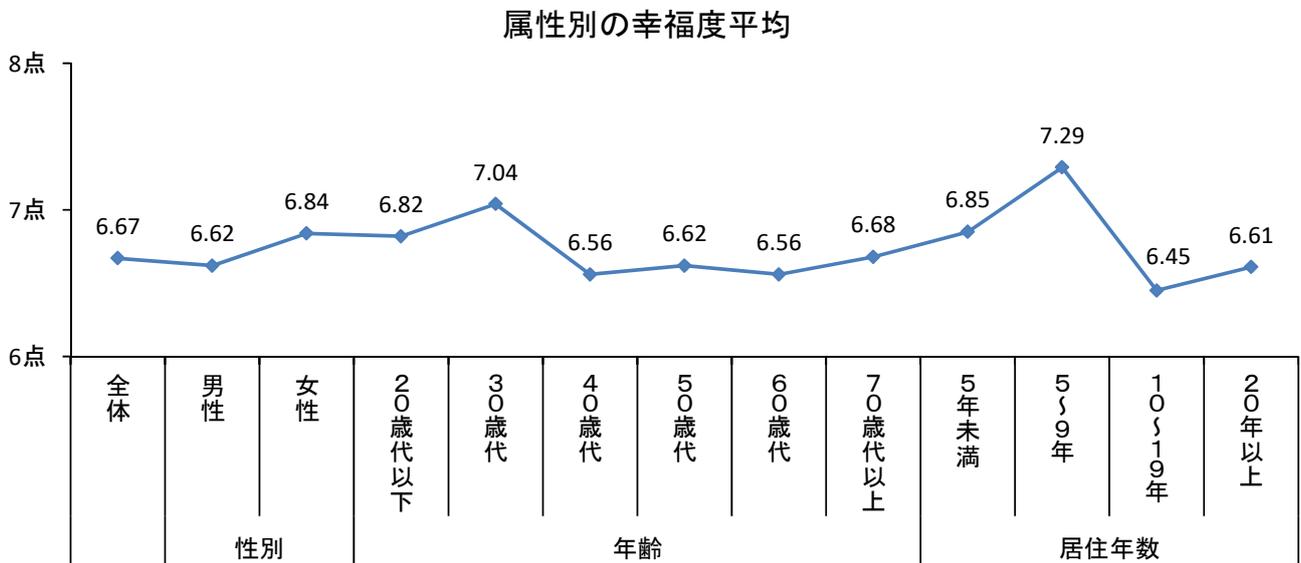
(3) 幸福感

問4 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「全く幸せでない」を0点とすると何点くらいになりますか。(1つに○)



〈全体〉

「とても幸せ」を10点とした場合、自分の幸せ度は何点か聞いたところ、最も多いのは8点の19.5%、次いで7点の18.9%、5点の18.4%と続き、5点以上が全体の85%以上を占める。



〈性別〉

幸福度の平均点は女性6.84点、男性6.62点である。

〈年齢別〉

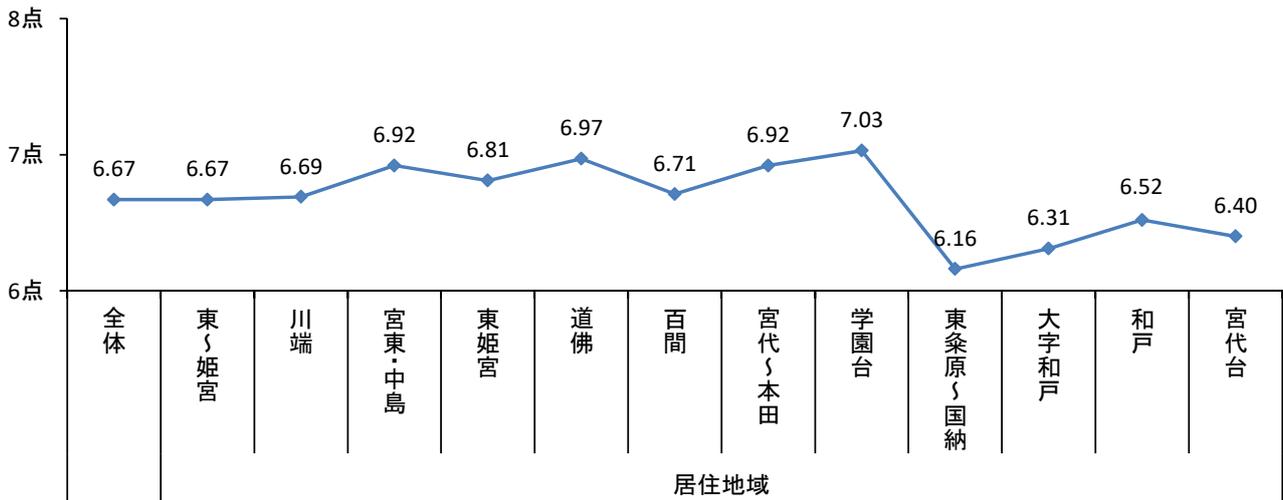
30歳代が7.04点で最も高く、40歳代と60歳代が6.56点と低くなっている。

〈居住年数別〉

5～9年が7.29点で最も高く、10～19年が6.45点と低くなっている。

Ⅱ 住民意識調査 調査結果

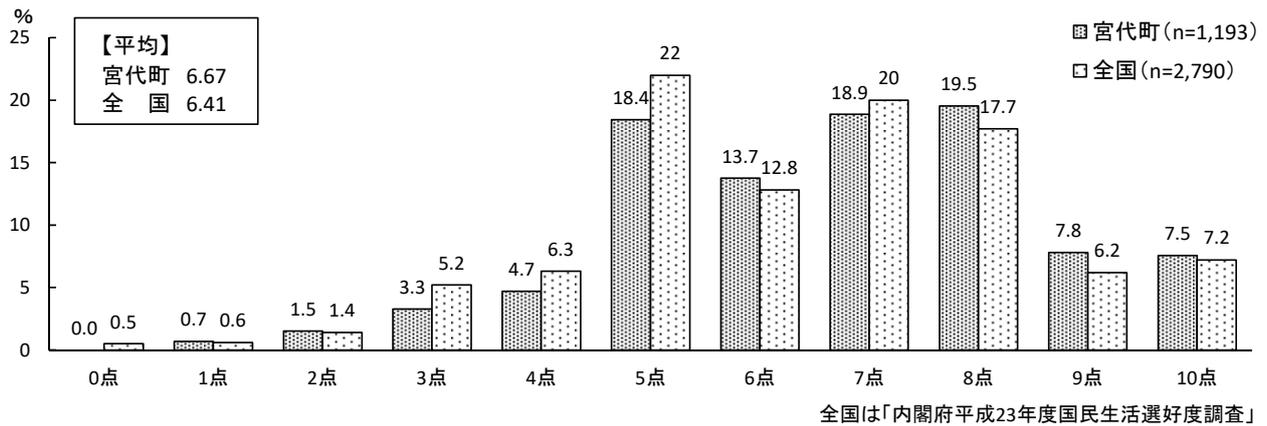
居住地域別の幸福度平均



〈居住地域別〉

学園台が 7.03 点、道佛が 6.97 点、宮東・中島と宮代～本田が 6.92 点の順である。

幸福度の比較（全国・宮代町）

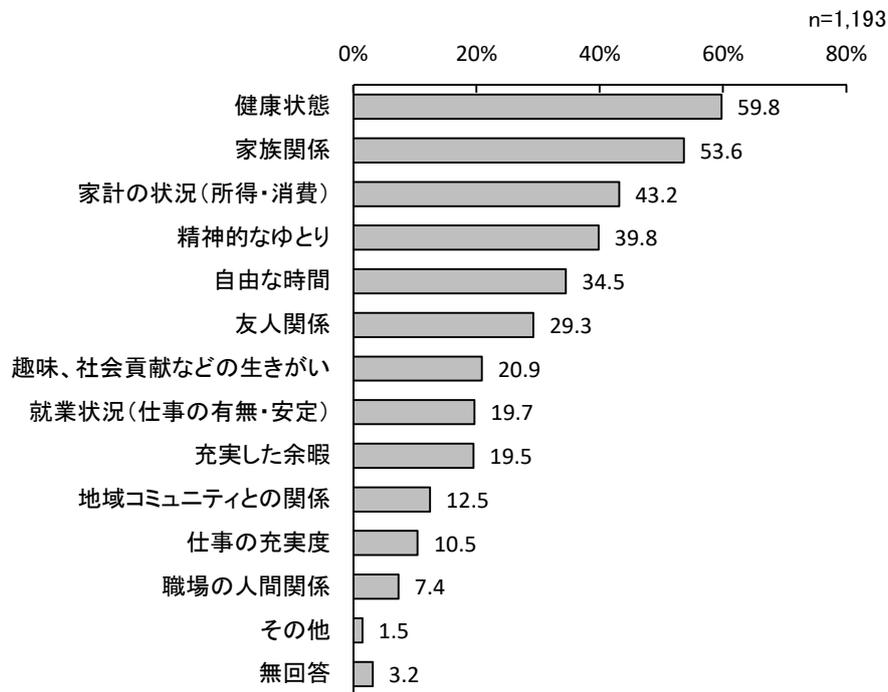


〈全国との比較〉

国においても平成 23 年度の国民生活選好度調査の中で同じ調査を実施しているが、本町は国と比べると 8 点以上が多く、幸せ度は比較的高いものとなっている。平均点についても、本町が 6.67 点、国が 6.41 点と本町が国の値をやや上回っている。

(4) 幸福感の判断で重視したこと

問5 問4で幸福感を判断した際に、重視したのはどのようなことですか。
(あてはまるもの全てに○)



〈全体〉

幸福感を判断した際に重視したことは、「健康状態」59.8%、「家族関係」53.6%、「家計の状況(所得・消費)」43.2%、「精神的なゆとり」39.8%などが上位にあげられている。

単位: %

属性	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=493)	健康状態 58.8	家族関係 50.9	家計の状況(所得・消費) 43.8	精神的なゆとり 41.4	自由な時間 33.9
女性 (n=543)	健康状態 61.7	家族関係 59.3	家計の状況(所得・消費) 45.3	精神的なゆとり 42.4	自由な時間 35.4
20歳代以下 (n=79)	家族関係 50.6	健康状態／趣味、社会貢献などの生きがい 41.8	友人関係 38.0	精神的なゆとり 36.7	
30歳代 (n=117)	家族関係 64.1	健康状態 53.0	家計の状況(所得・消費) 46.2	精神的なゆとり 44.4	就業状況(仕事の有無・安定) 34.2
40歳代 (n=144)	家族関係 64.6	健康状態 58.3	家計の状況(所得・消費) 50.0	精神的なゆとり 48.6	就業状況(仕事の有無・安定) 35.4
50歳代 (n=146)	健康状態 59.6	家族関係 56.8	家計の状況(所得・消費) 50.7	精神的なゆとり 38.4	就業状況(仕事の有無・安定) 37.0
60歳代 (n=250)	健康状態 64.4	家族関係 50.8	家計の状況(所得・消費) 49.2	精神的なゆとり 44.8	自由な時間 34.8
70歳代以上 (n=447)	健康状態 62.9	家族関係 48.8	自由な時間 43.0	家計の状況(所得・消費) 35.8	精神的なゆとり 33.8

II 住民意識調査 調査結果

〈性別〉

男女とも「健康状態」「家族関係」が上位にあげられているが、「家族関係」は女性が男性を約8ポイント上回る。

〈年齢別〉

40歳代以下では「家族関係」、50歳代以上では「健康状態」が1位にあげられている。

全体と比較すると、20歳代以下で「趣味、社会貢献などの生きがい」や「友人関係」、70歳代以上で「自由な時間」の比率が高い。

単位：%

属性	1位	2位	3位	4位	5位
東～姫宮 (n=156)	健康状態 61.5	家族関係 51.3	家計の状況(所得・消費) 50.0	精神的なゆとり 41.7	自由な時間 34.6
川端 (n=96)	健康状態 67.7	家族関係 55.2	家計の状況(所得・消費) 46.9	精神的なゆとり 44.8	自由な時間 37.5
宮東・中島 (n=84)	家族関係 63.1	健康状態 61.9	精神的なゆとり 45.2	家計の状況(所得・消費) 36.9	自由な時間 34.5
東姫宮 (n=69)	健康状態 62.3	家族関係 53.6	家計の状況(所得・消費) 40.6	自由な時間／趣味、社会貢献などの生きがい 36.2	
道佛 (n=77)	健康状態／家族関係 62.3		家計の状況(所得・消費) 42.9	自由な時間 36.4	精神的なゆとり 35.1
百間 (n=72)	健康状態 66.7	家族関係 56.9	家計の状況(所得・消費) 48.6	精神的なゆとり 34.7	自由な時間 27.8
宮代～本田 (n=199)	健康状態 53.8	家族関係 49.7	家計の状況(所得・消費) 39.7	精神的なゆとり 37.7	自由な時間 35.7
学園台 (n=59)	健康状態 74.6	家族関係 61.0	家計の状況(所得・消費) 45.8	自由な時間 44.1	友人関係 40.7
東条原～国納 (n=104)	家族関係 54.8	健康状態 51.9	精神的なゆとり 40.4	家計の状況(所得・消費) 38.5	自由な時間 36.5
大字和戸 (n=89)	健康状態 47.2	家族関係 46.1	家計の状況(所得・消費) 43.8	精神的なゆとり 39.3	自由な時間 21.3
和戸 (n=85)	健康状態 54.1	家族関係 45.9	家計の状況(所得・消費)／自由な時間／精神的なゆとり 38.8		
宮代台 (n=84)	健康状態 67.9	家族関係 57.1	家計の状況(所得・消費) 46.4	精神的なゆとり 46.4	自由な時間／友人関係 36.9

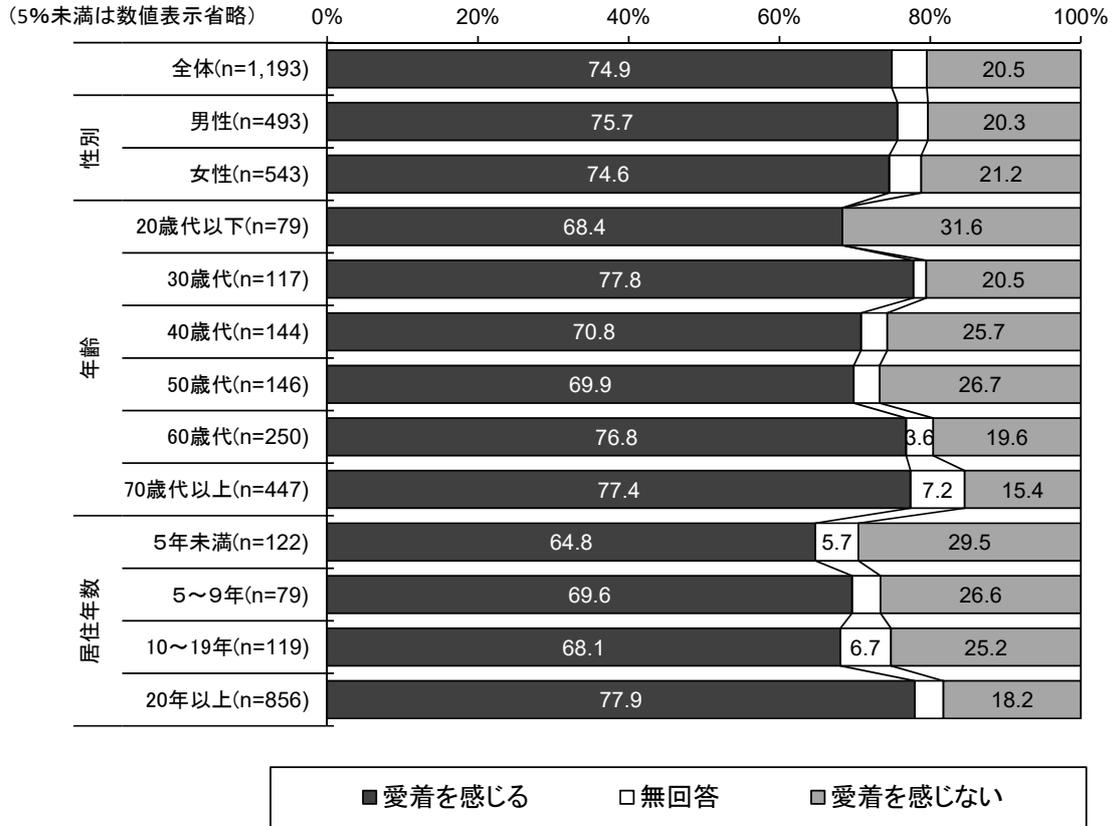
〈居住地域別〉

ほぼ全ての地域で「健康状態」が1位にあげられており、特に学園台でその比率が高い。宮東・中島、道佛、東条原～国納では「家族関係」が1位であり、宮東・中島、道佛でその比率が高い。

全体と比較すると、東姫宮では「趣味、社会貢献などの生きがい」、学園台や宮代台では「友人関係」の比率が高い。

(5) 町への愛着

問6 あなたは、町への愛着を感じますか。(1つに○)



〈全体〉

町への愛着については、「愛着を感じる」74.9%、「愛着を感じない」20.5%である。

〈性別〉

性別ではほとんど差がない。

〈年齢別〉

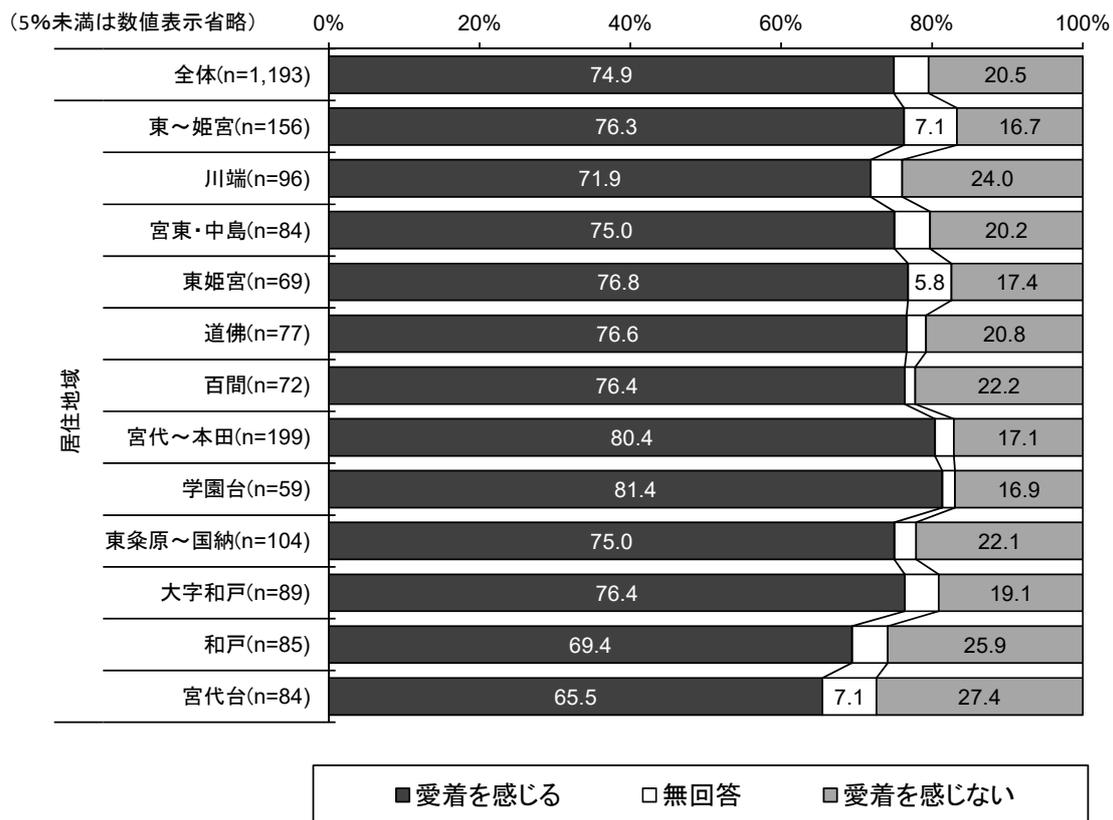
「愛着を感じる」は30歳代の77.8%、70歳代以上77.4%、60歳代76.8%、40歳代70.8%と続き、20歳代以下の68.4%が最も低い。

「愛着を感じない」は、20歳代以下31.6%、50歳代26.7%、40歳代25.7%の順である。

〈居住年数別〉

「愛着を感じる」は20年以上が77.9%、「愛着を感じない」は5年未満が29.5%と最も多い。

II 住民意識調査 調査結果

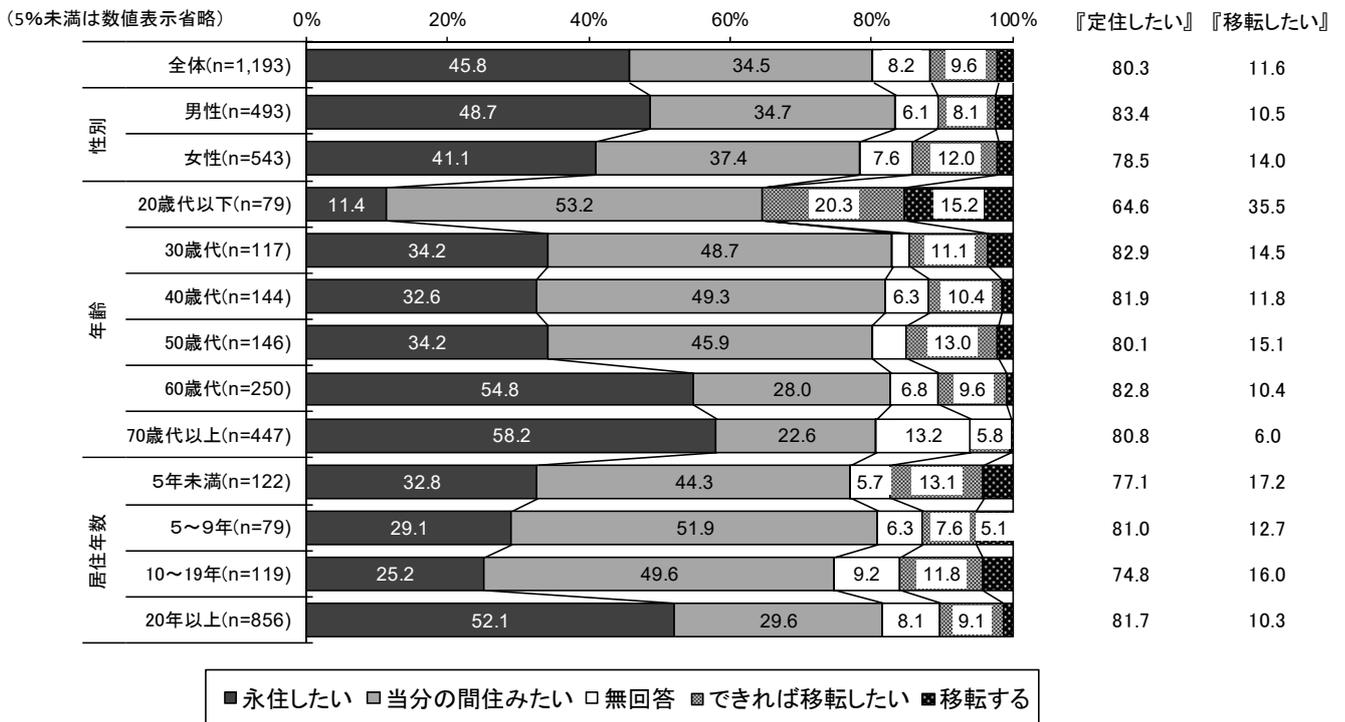


〈居住地域別〉

「愛着を感じる」は学園台 81.4%、宮代～本田 80.4%、東姫宮 76.8%の順である。一方、「愛着を感じない」は宮代台 27.4%、和戸 25.9%、川端 24.0%の順である。

(6) 今後の定住意向

問7 あなたは、これからも宮代町に住み続けたいと思いますか。(1つに○)



〈全体〉

「永住したい」45.8%、「当分の間住みたい」34.5%、合わせた『定住したい』は80.3%である。

これに対し、「できれば移転したい」9.6%、「移転する」2.0%を合わせた『移転したい』は11.6%である。

〈性別〉

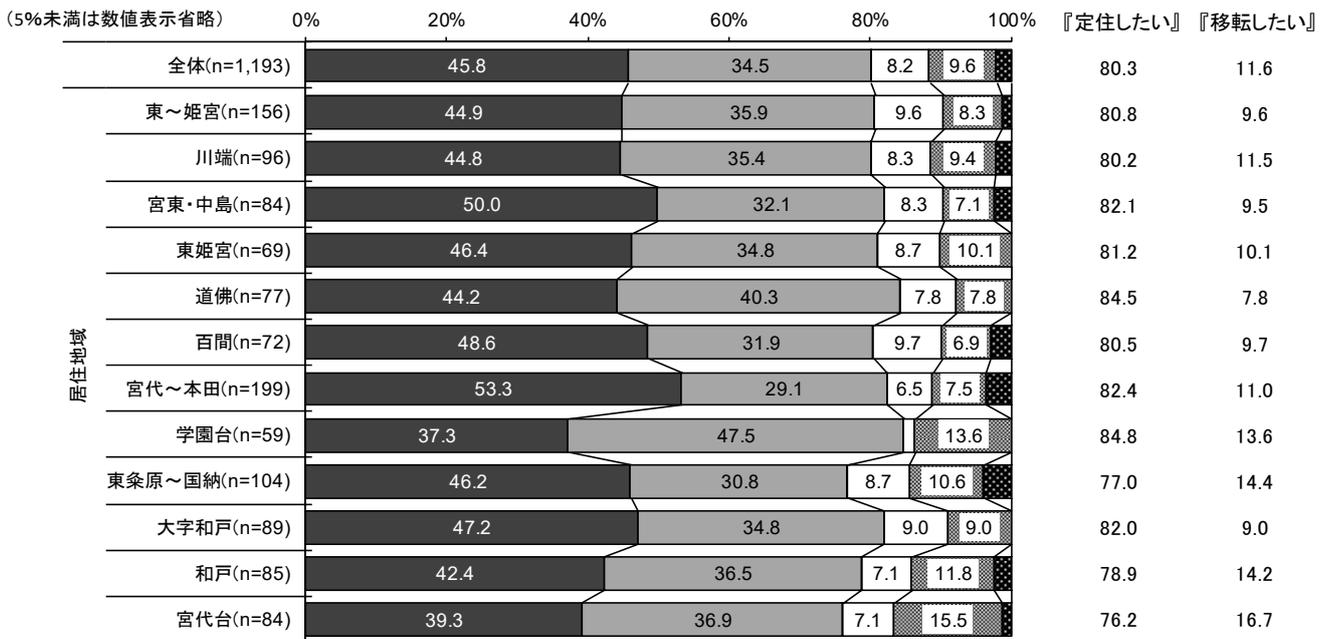
『定住したい』は、男性83.4%が女性78.5%をやや上回る。

〈年齢別〉

『定住したい』は、30歳代以上がいずれも80%を上回る。

『移転したい』は20歳代以下で30%を上回り、50歳代15.1%、30歳代14.5%、40歳代11.8%と続く。

II 住民意識調査 調査結果

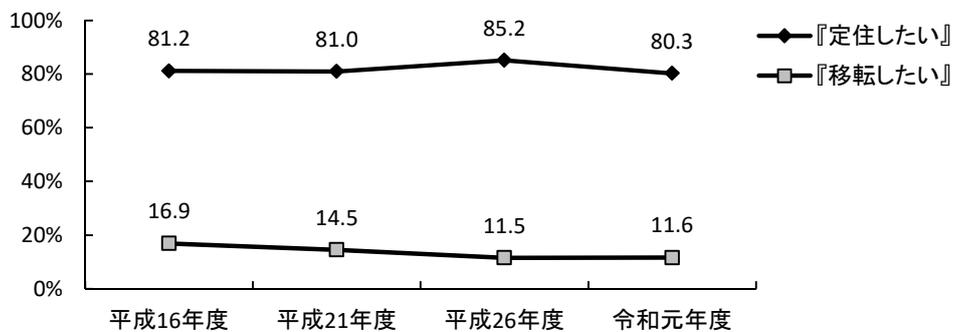


■ 永住したい □ 当分の間住みたい □ 無回答 ■ できれば移転したい ■ 移転する

〈居住年数別〉

『定住したい』は学園台 84.8%、道佛 84.5%、宮代～本田 82.4%の順である。
一方、『移転したい』は宮代台 16.7%、東条原～国納 14.4%、和戸 14.2%の順である。

定住意向の推移

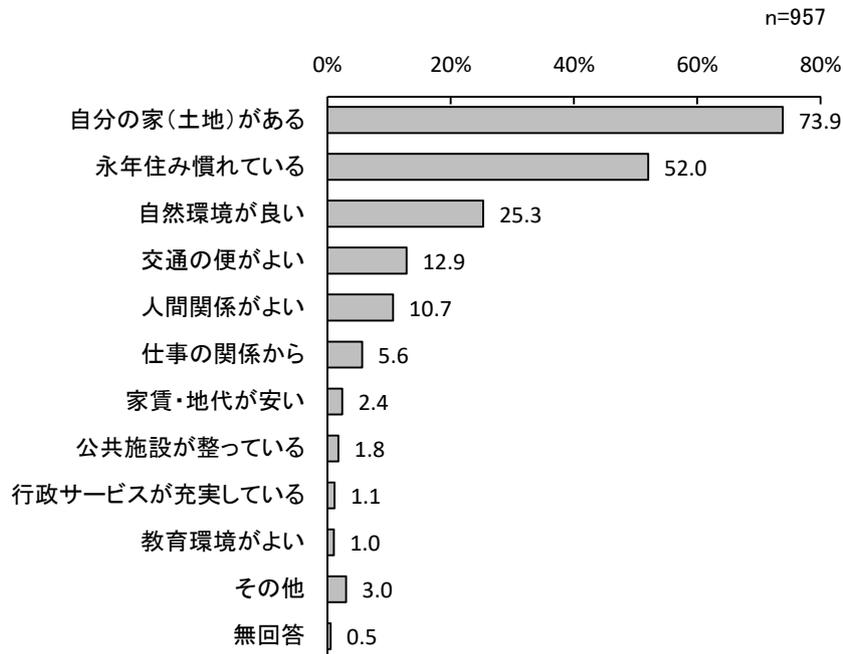


〈経年比較〉

『定住したい』は80%台が続いているのに対し、『移転したい』は次第に少なくなる傾向にある。

(7) 住み続けたい理由

問7-1 「永住したい」「当分の間住みたい」とお答えになった方におたずねします。
その主な理由は何ですか。(2つに〇)



〈全体〉

住み続けたい主な理由は、「自分の家(土地)がある」73.9%、「永年住み慣れている」52.0%、「自然環境が良い」25.3%、「交通の便がよい」12.9%、「人間関係がよい」10.7%の順である。

単位: %

属性	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=411)	自分の家(土地)がある 73.0	永年住み慣れている 53.5	自然環境が良い 25.5	交通の便がよい 11.9	人間関係がよい 9.7
女性 (n=426)	自分の家(土地)がある 75.1	永年住み慣れている 49.5	自然環境が良い 26.3	交通の便がよい 12.4	人間関係がよい 11.5
20歳代以下 (n=51)	自然環境が良い 43.1	永年住み慣れている 43.1	自分の家(土地)がある 33.3	仕事の関係から 15.7	人間関係がよい 13.7
30歳代 (n=97)	自分の家(土地)がある 66.0	自然環境が良い 28.9	永年住み慣れている 27.8	人間関係がよい／交通の便がよい 15.5	
40歳代 (n=118)	自分の家(土地)がある 66.9	永年住み慣れている 36.4	自然環境が良い 30.5	交通の便がよい 18.6	仕事の関係から 11.9
50歳代 (n=117)	自分の家(土地)がある 71.8	永年住み慣れている 47.9	自然環境が良い 32.5	人間関係がよい 10.3	仕事の関係から／ 交通の便がよい 8.5
60歳代 (n=207)	自分の家(土地)がある 78.7	永年住み慣れている 63.8	自然環境が良い 23.7	交通の便がよい 10.1	人間関係がよい 7.2
70歳代以上 (n=361)	自分の家(土地)がある 81.7	永年住み慣れている 59.6	自然環境が良い 18.8	交通の便がよい 13.6	人間関係がよい 11.6

II 住民意識調査 調査結果

〈性別〉

性別ではほとんど差がない。

〈年齢別〉

30歳代以上では「自分の家（土地）がある」が1位にあげられており、上の年代ほどその比率が高く、70歳代以上では8割を超える。一方、20歳代以下では「自然環境が良い」が1位にあげられている。

そのほか、全体と比較すると、40歳代で「交通の便がよい」、20歳代以下と50歳代で「仕事の関係から」の比率がやや高い。

単位：%

属性	1位	2位	3位	4位	5位
5年未満 (n=94)	自分の家(土地)がある 52.1	自然環境が良い 47.9	仕事の関係から／交通の便がよい 13.8		人間関係がよい／ 家賃・地代が安い 11.7
5～9年 (n=64)	自分の家(土地)がある 71.9	自然環境が良い 35.9	交通の便がよい 21.9	人間関係がよい 18.8	永年住み慣れている 14.1
10～19年 (n=89)	自分の家(土地)がある 60.7	自然環境が良い 32.6	永年住み慣れている 29.2	人間関係がよい 16.9	交通の便がよい 14.6
20年以上 (n=699)	自分の家(土地)がある 78.8	永年住み慣れている 64.9	自然環境が良い 20.5	交通の便がよい 11.6	人間関係がよい 9.0

〈居住年数別〉

全ての属性で「自分の家（土地）がある」が1位にあげられているものの、居住年数が20年未満では「自然環境が良い」が2位となっており、特に5年未満で「自然環境が良い」の比率が高い。また、全体と比較して5年未満では「家賃・地代が安い」の比率が高い。

Ⅱ 住民意識調査 調査結果

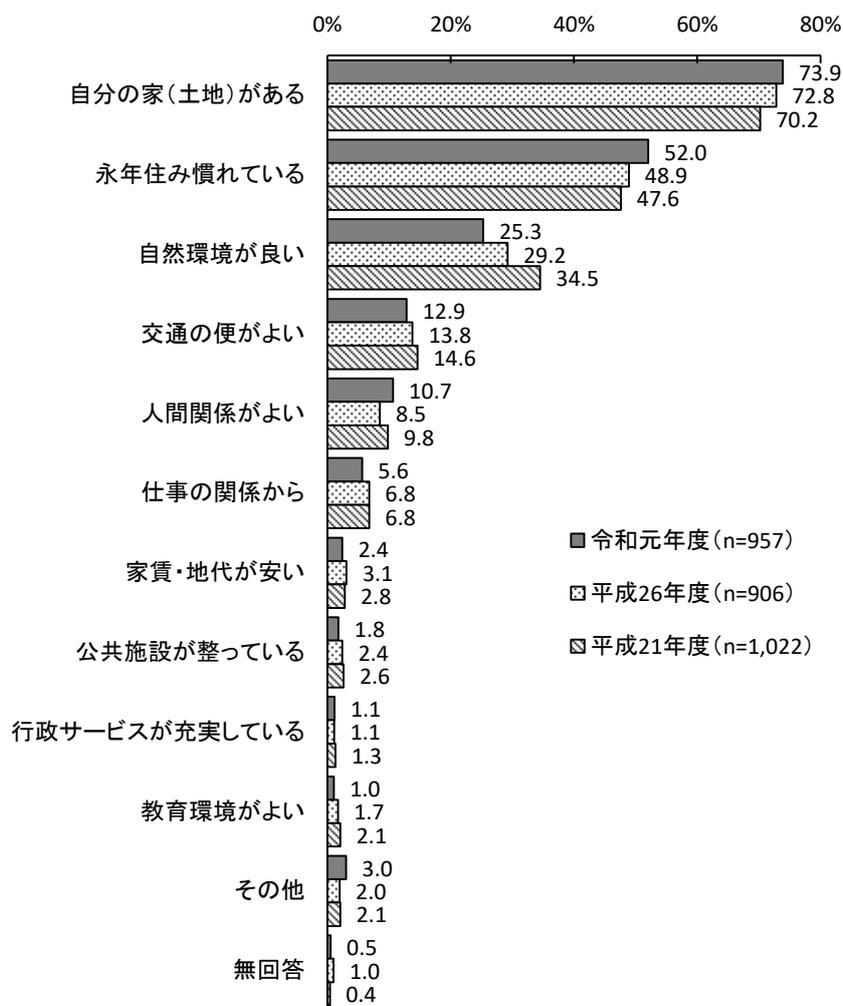
単位：%

属性	1位	2位	3位	4位	5位
東～姫宮 (n=126)	自分の家(土地) がある 80.2	永年住み慣れている 53.2	自然環境が良い 28.6	人間関係がよい 13.5	仕事の関係から 8.7
川端 (n=77)	自分の家(土地) がある 62.3	永年住み慣れている 49.4	自然環境が良い 33.8	交通の便がよい 19.5	人間関係がよい 9.1
宮東・中島 (n=69)	自分の家(土地) がある 76.8	永年住み慣れている 59.4	自然環境が良い 18.8	人間関係がよい／仕事の関係から 8.7	
東姫宮 (n=56)	自分の家(土地) がある 78.6	永年住み慣れている 46.4	自然環境が良い 28.6	交通の便がよい 23.2	人間関係がよい 8.9
道佛 (n=65)	自分の家(土地) がある 72.3	自然環境が良い／永年住み慣れている 33.8		人間関係がよい 13.8	仕事の関係から 9.2
百間 (n=58)	自分の家(土地) がある 72.4	永年住み慣れている 48.3	交通の便がよい 25.9	自然環境が良い 13.8	人間関係がよい 6.9
宮代～本田 (n=164)	自分の家(土地) がある 64.6	永年住み慣れている 48.2	自然環境が良い 25.0	交通の便がよい 20.7	人間関係がよい 11.6
学園台 (n=50)	自分の家(土地) がある 80.0	永年住み慣れている 56.0	自然環境が良い 24.0	人間関係がよい 12.0	交通の便がよい 8.0
東桑原～国納 (n=80)	自分の家(土地) がある 76.3	永年住み慣れている 50.0	自然環境が良い 27.5	人間関係がよい 13.8	交通の便がよい 12.5
大字和戸 (n=73)	自分の家(土地) がある 71.2	永年住み慣れている 64.4	自然環境が良い 27.4	交通の便がよい 8.2	人間関係がよい 5.5
和戸 (n=67)	自分の家(土地) がある 79.1	永年住み慣れている 49.3	自然環境が良い 23.9	人間関係がよい／交通の便がよい 11.9	
宮代台 (n=64)	自分の家(土地) がある 82.8	永年住み慣れている 70.3	自然環境が良い 10.9	人間関係がよい 9.4	仕事の関係から 4.7

〈居住地域別〉

全ての地域で「自分の家（土地）がある」が1位にあげられており、上位3項目に大きな差はないものの、道佛では「自然環境が良い」が2位に、百間では「交通の便がよい」が3位にあげられている。全体で上位にあげられた項目の中では、「交通の便がよい」の比率が地域によって大きく異なる。

II 住民意識調査 調査結果

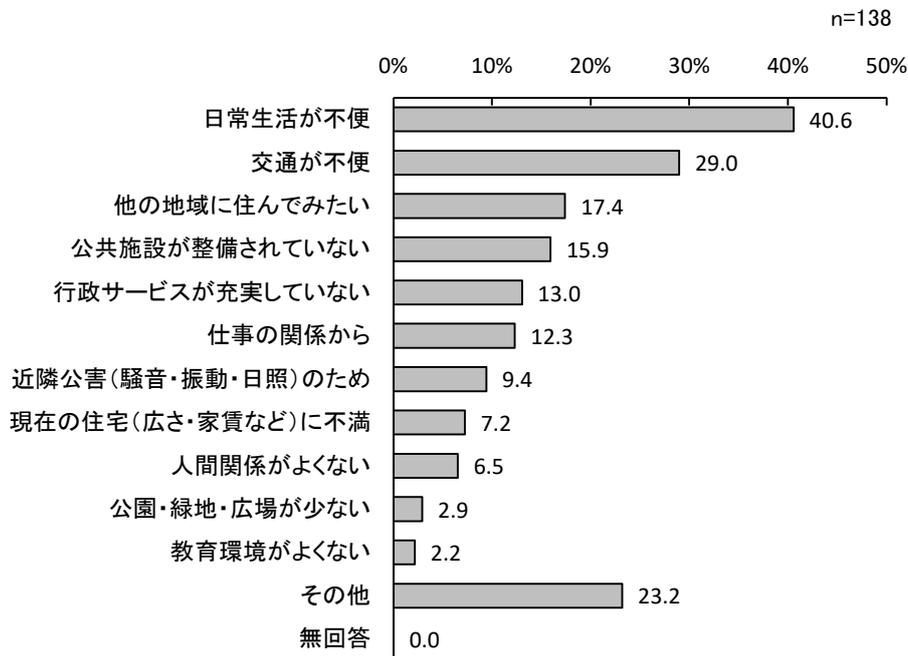


〈経年比較〉

経年で比較すると、それほど大きな変化はないものの、「自分の家（土地）がある」「永年住み慣れている」が微増しているのに対し、「自然環境が良い」が減少傾向にある。

(8) 移転したい理由

問7-2 「できれば移転したい」「移転する」とお答えになった方におたずねします。
その主な理由は何ですか。(2つに〇)



※その他として、「子ども、親族の近く、一緒に住みたい」「病院、医療機関がない、少ない」、「買い物不便」などの回答があげられている。

〈全体〉

移転したい主な理由は、「日常生活が不便」40.6%、「交通が不便」29.0%、「他の地域に住んでみたい」17.4%、「公共施設が整備されていない」15.9%、「行政サービスが充実していない」13.0%、「仕事の関係から」12.3%の順である。

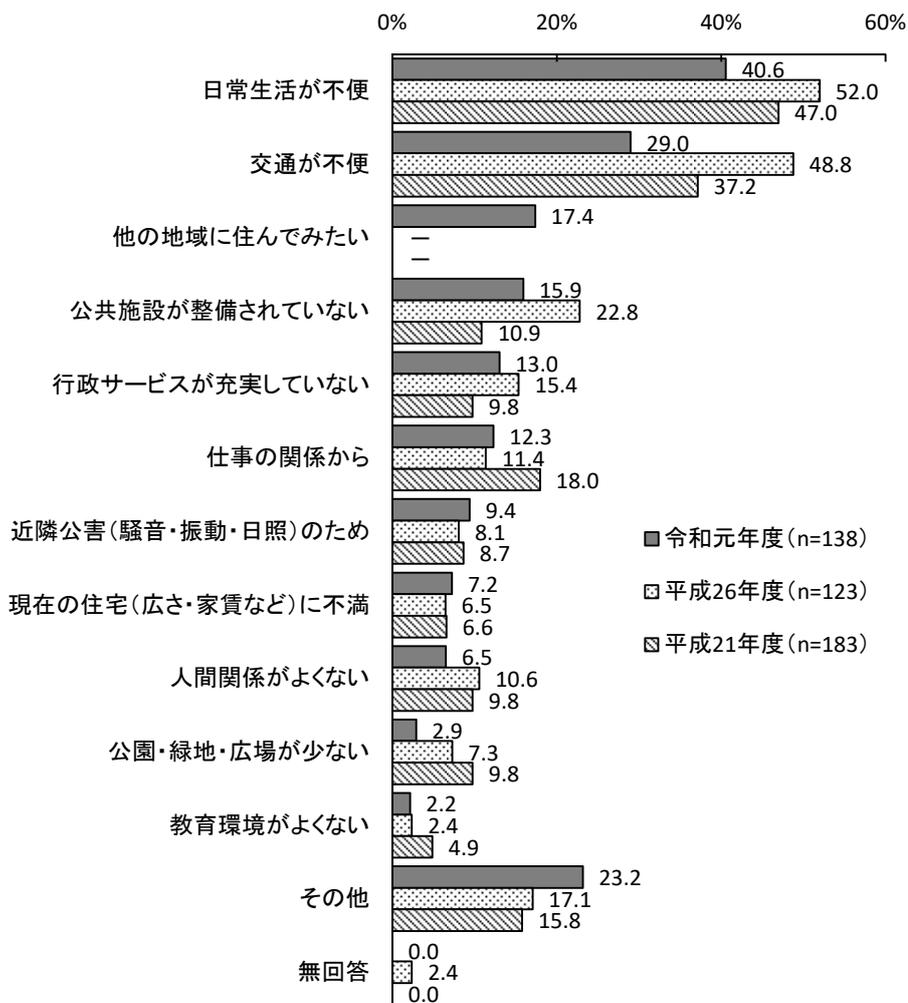
単位: %

属性	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=52)	日常生活が不便 38.5	交通が不便 32.7	公共施設が整備されていない 21.2	他の地域に住んでみたい 19.2	行政サービスが充実していない 17.3
女性 (n=76)	日常生活が不便 40.8	交通が不便 27.6	他の地域に住んでみたい 17.1	仕事の関係から 13.2	公共施設が整備されていない 11.8

〈性別〉

男女とも「日常生活が不便」「交通が不便」が上位にあげられているが、「公共施設が整備されていない」は男性が女性を約9ポイント上回る。

II 住民意識調査 調査結果



〈経年比較〉

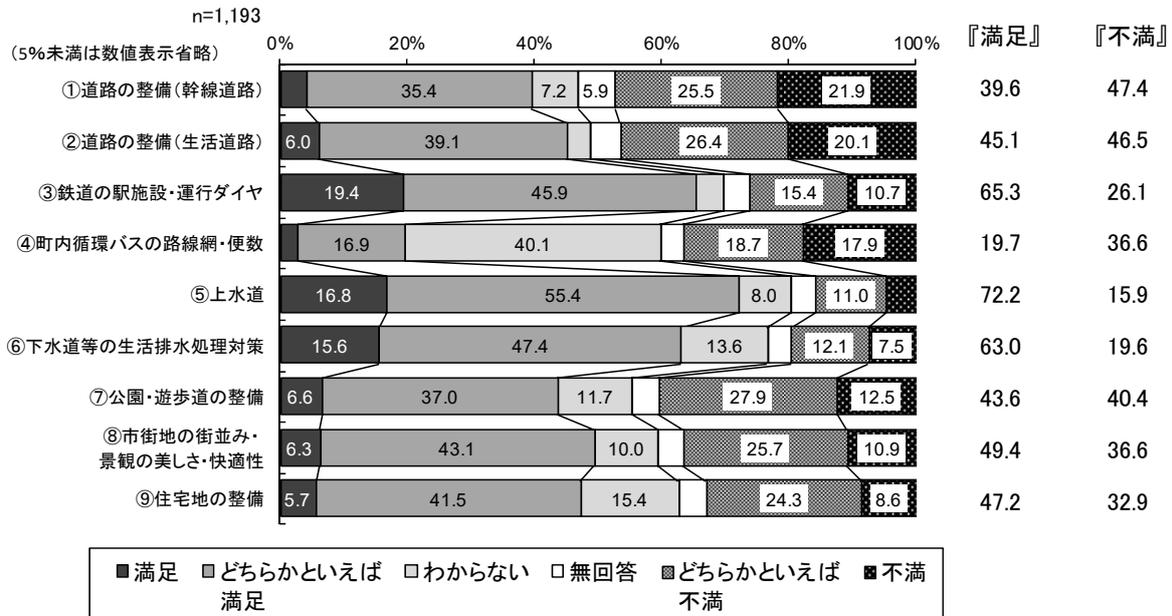
今回の調査では「他の地域に住んでみたい」の選択肢を追加したため単純な比較はできないが、上位にあげられた項目の順に大きな変化はみられない。

3 まちづくりに対する“満足度”と“重要度”について

(1) 満足度・重要度

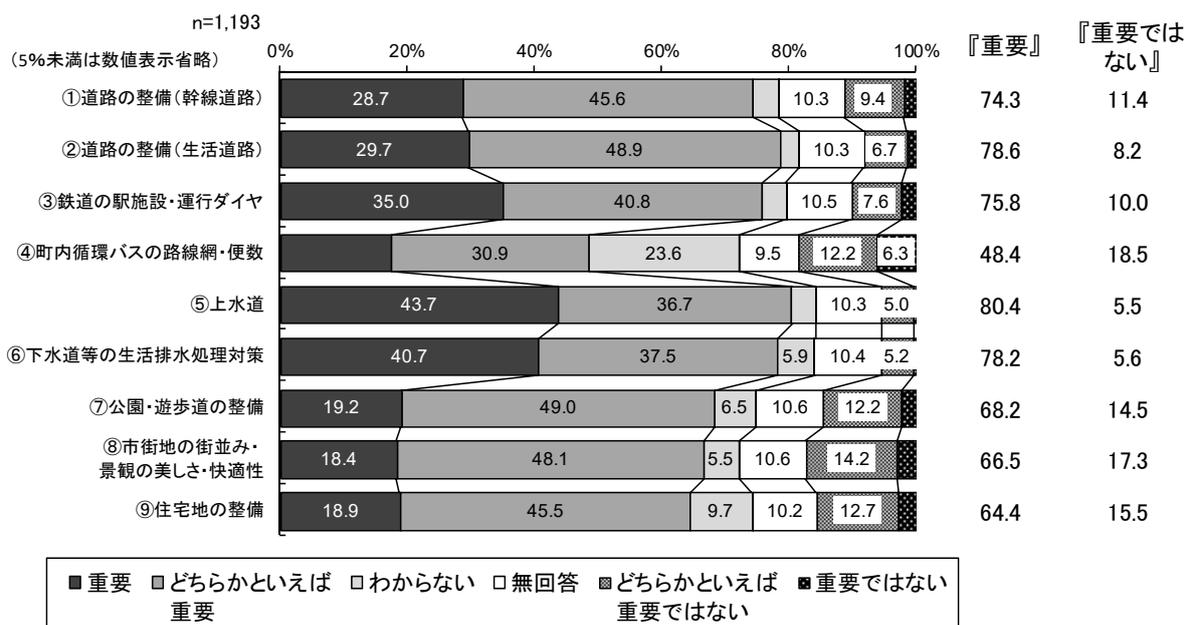
問8 あなたのまちづくりに対する“満足度”と“重要度”についておたずねします。
次の項目についてお答え下さい。(〇は1つずつ)

【問8(1)都市基盤 ◎満足度】



・⑤上水道、③鉄道の駅施設・運行ダイヤ、⑥下水道等の生活排水処理対策などで『満足』、①道路の整備(幹線道路)、②道路の整備(生活道路)、④町内循環バスの路線網・便数などで『不満』の比率が高い。

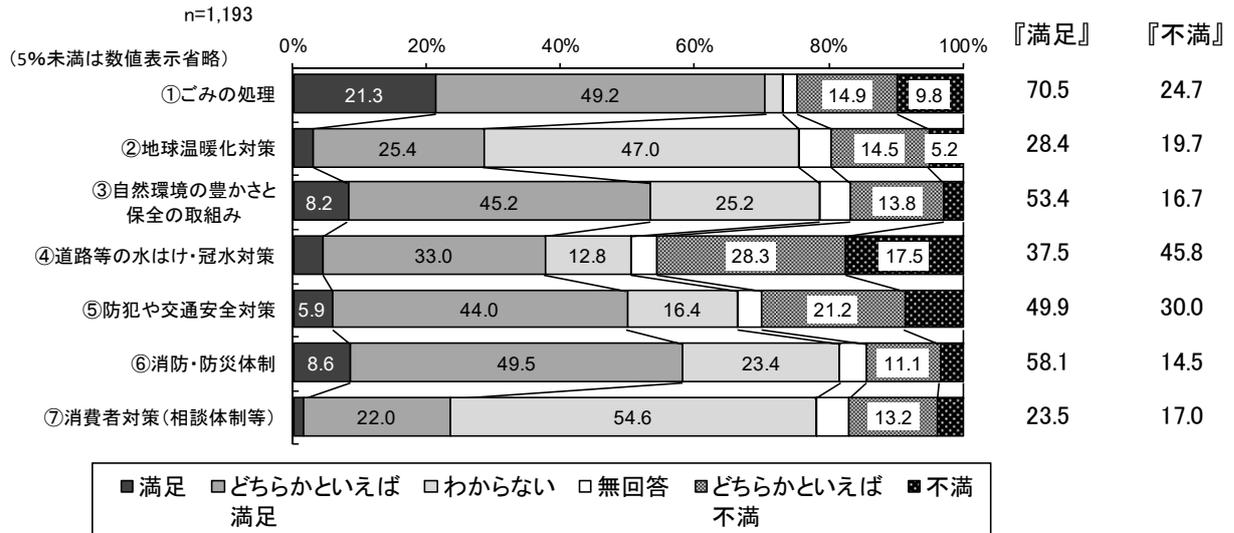
【問8(1)都市基盤 ●重要度】



・⑤上水道、②道路の整備(生活道路)、⑥下水道等の生活排水処理対策などで『重要』の比率が高い。

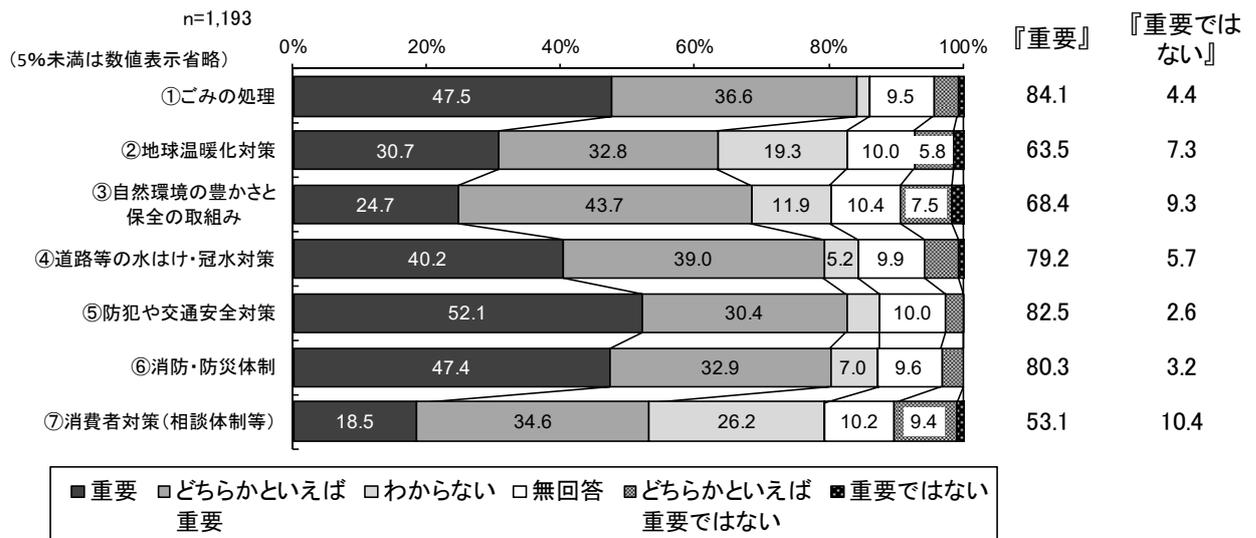
II 住民意識調査 調査結果

【問8(2)生活自然環境 ◎満足度】



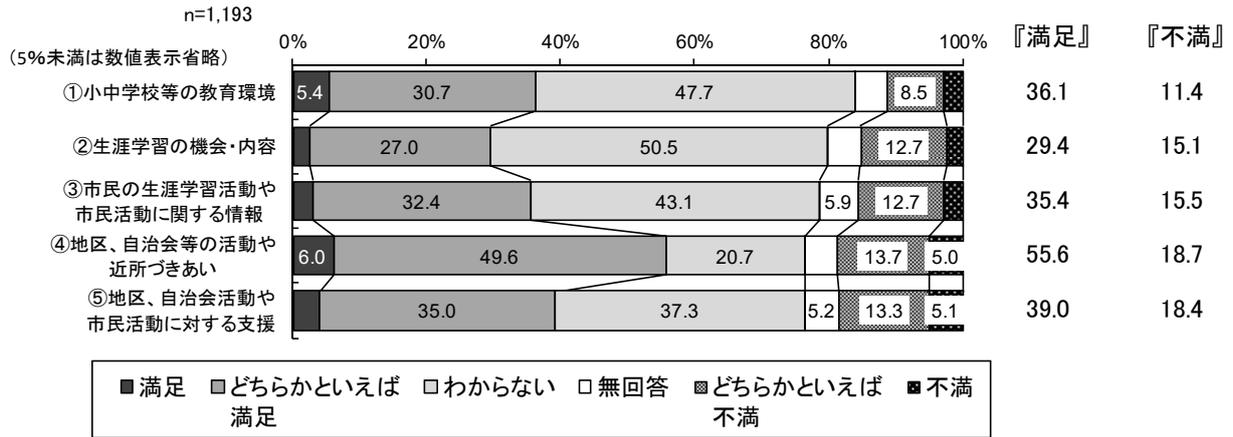
- ・①ごみの処理、⑥消防・防災体制、③自然環境の豊かさと保全の取組みなどで『満足』、④道路等の水はけ・冠水対策、⑤防犯や交通安全対策などで『不満』の比率が高い。

【問8(2)生活自然環境 ●重要度】



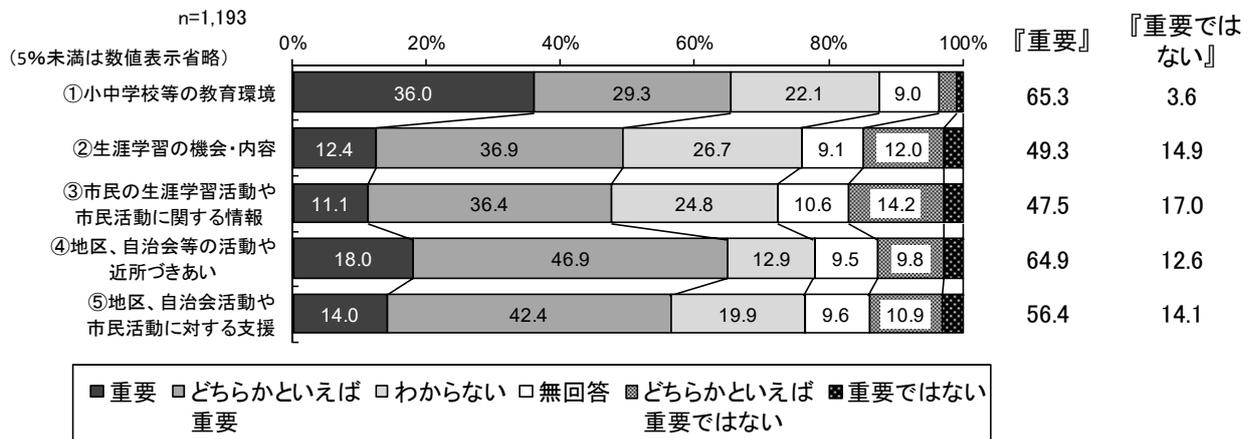
- ・①ごみの処理、⑤防犯や交通安全対策、⑥消防・防災体制などで『重要』の比率が高い。

【問8(3)教育・生涯学習・コミュニティ ◎満足度】



・④地区、自治会等の活動や近所づきあいで『満足』の比率がやや高いものの、全体的に「わからない」の比率が高い。

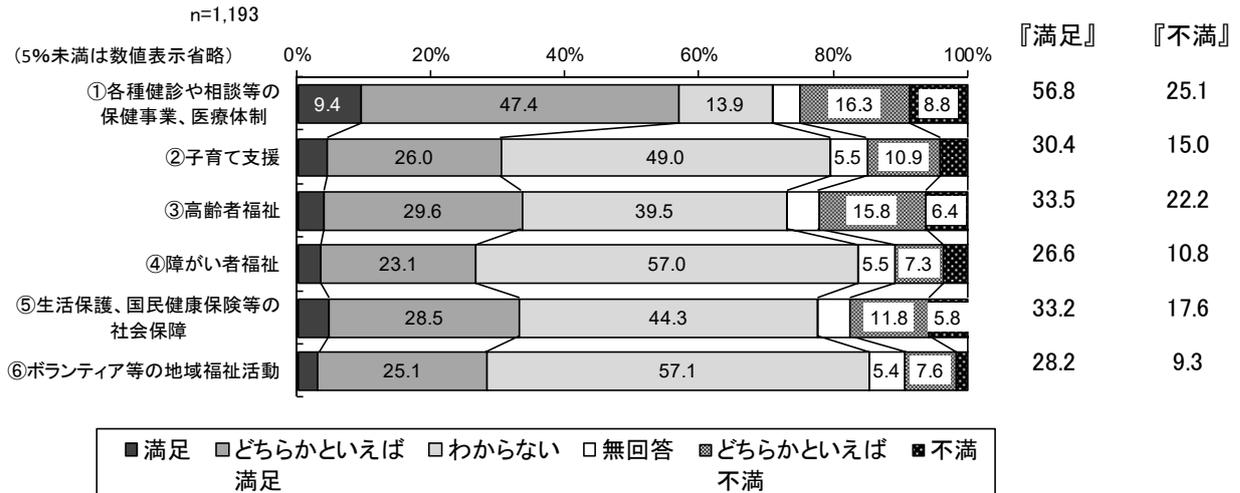
【問8(3)教育・生涯学習・コミュニティ ●重要度】



・①小中学校等の教育環境、④地区、自治会等の活動や近所づきあい、⑤地区、自治会活動や市民活動に対する支援などで『重要』の比率が高い。

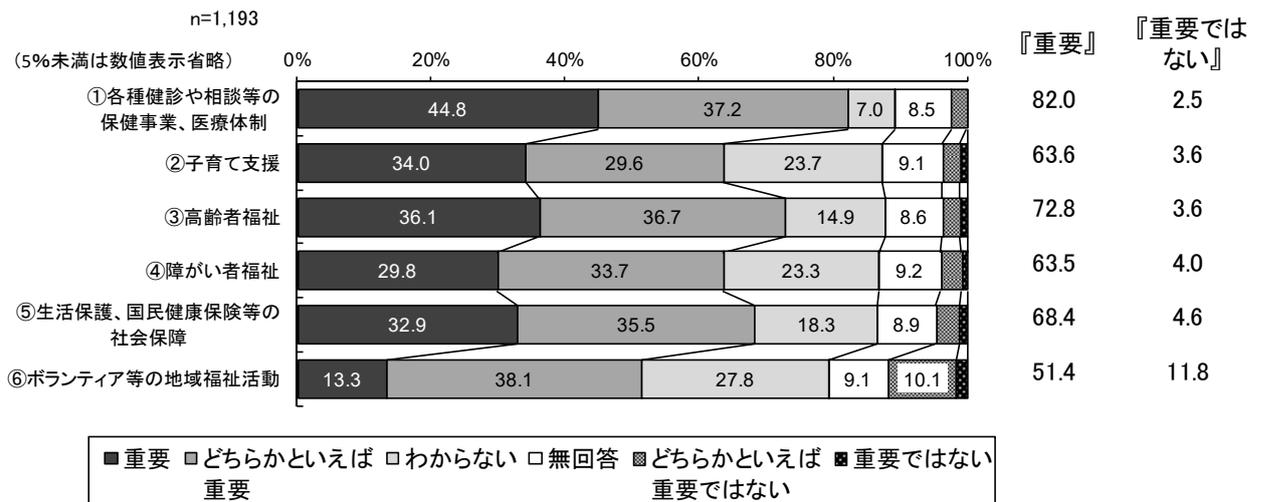
II 住民意識調査 調査結果

【問8(4)保健・医療・福祉 ◎満足度】



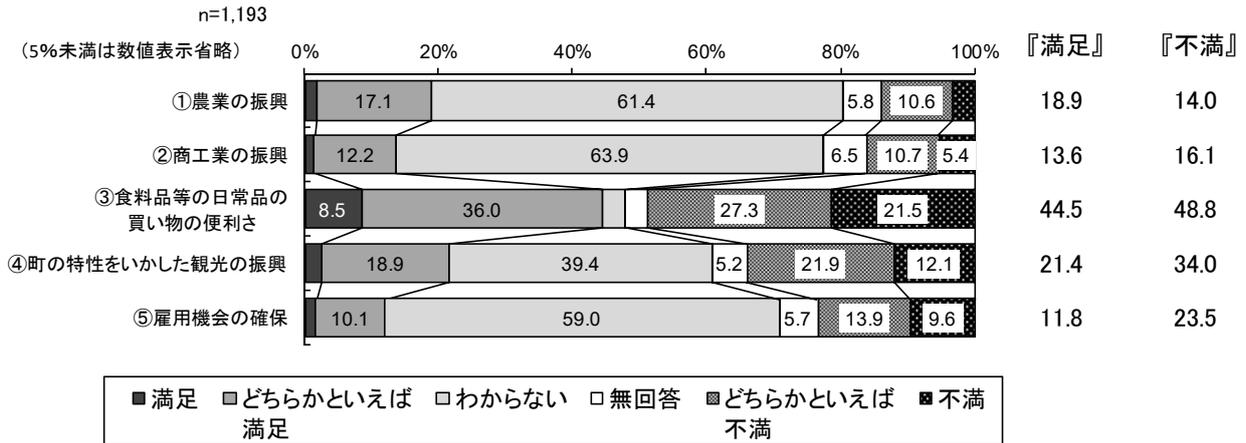
- ・④各種健診や相談等の保健事業、医療体制で『満足』の比率がやや高いものの、全体的に「わからない」の比率が高い。

【問8(4)保健・医療・福祉 ●重要度】



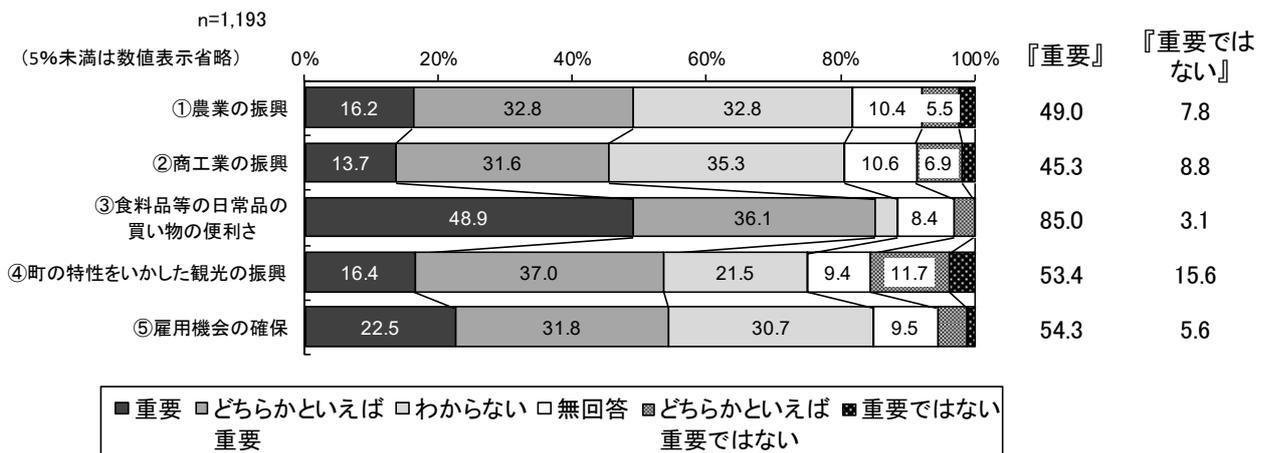
- ・①各種健診や相談等の保健事業、医療体制、③高齢者福祉、⑤生活保護、国民健康保険等の社会保障などで『重要』の比率が高い。

【問8(5) 産業 ◎満足度】



・③食料品等の日用品の買い物の便利さで『満足』の比率がやや高いものの、全体的に「わからない」の比率が高い。

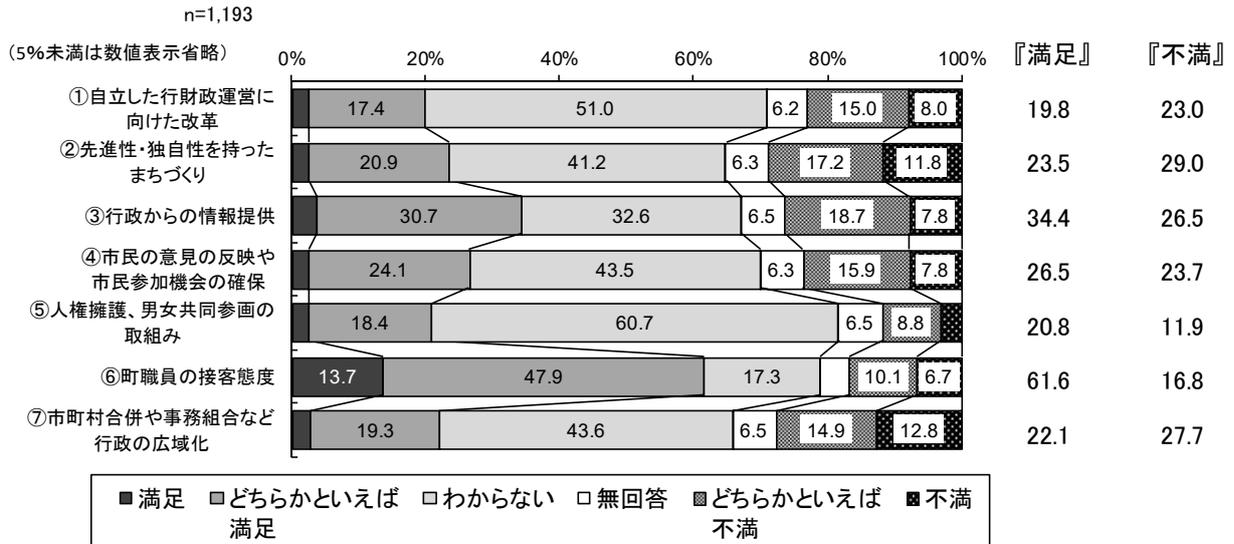
【問8(5) 産業 ●重要度】



・③食料品等の日用品の買い物の便利さで『重要』の比率が特に高く、⑤雇用機会の確保、④町の特性をいかした観光の振興などが続く。

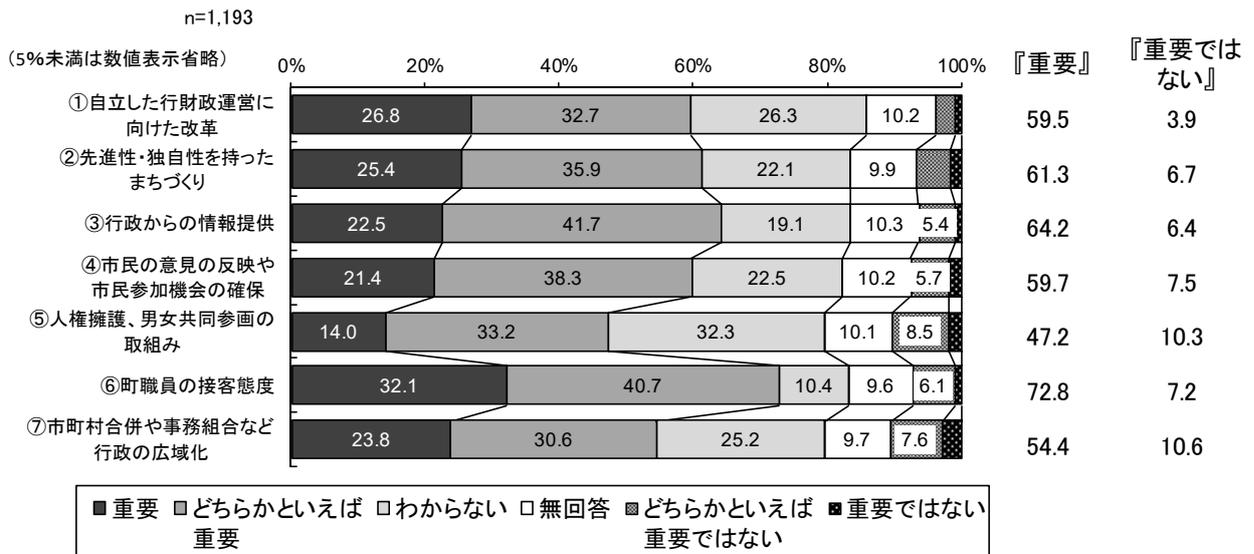
II 住民意識調査 調査結果

【問8(6)行財政運営 ◎満足度】



・⑥町職員の接客態度で『満足』の比率が高いものの、全体的に「わからない」の比率が高い。

【問8(6)行財政運営 ●重要度】



・⑥町職員の接客態度、③行政からの情報提供、②先進性・独自性を持ったまちづくりなどで『重要』の比率が高い。

(2) 満足度・重要度スコア

○満足度、重要度の評価点

問8で得られた各分野の取組みへの満足度と重要度の回答に得点をつけ、満足度、重要度の評価点を算出した。これによって、住民の満足度や重要度意識を明確に捉え、分析することができる。なお、評価点の算出方法は以下の通りである。

《算出方法》

$$\text{満足度} = \frac{\text{「満足」} \times 4 + \text{「どちらかといえば満足」} \times 3 + \text{「どちらかといえば不満」} \times 2 + \text{「不満」} \times 1}{\text{「わからない」、「無回答」を除く有効回答者数}}$$

$$\text{重要度} = \frac{\text{「重要」} \times 4 + \text{「どちらかといえば重要」} \times 3 + \text{「どちらかといえば重要ではない」} \times 2 + \text{「重要ではない」} \times 1}{\text{「どちらともいえない」、「無回答」を除く有効回答者数}}$$

○満足度

満足度スコアの高いのは、①上水道、②消防・防災体制、②町職員の接客態度、④下水道等の生活排水処理対策、④ごみの処理、⑥自然環境の豊かさと保全の取組みなどである。

これに対し、満足度スコアの低いのは、①町内循環バスの路線網・便数、②雇用機会の確保、③町の特性をいかした観光の振興、④市町村合併や事務組合など行政の広域化、⑤道路の整備（幹線道路）などである。

○重要度

重要度スコアの高いのは、①防犯や交通安全対策、②消防・防災体制、③食料品等の日用品の買い物の便利さ、④各種健診や相談等の保健事業、医療体制、⑤ごみの処理、⑥小中学校等の教育環境などである。

	満足度	重要度
1 都市基盤	道路の整備(幹線道路)	⑤ 2.25 3.18
	道路の整備(生活道路)	2.34 3.23
	鉄道の駅施設・運行ダイヤ	⑦ 2.81 3.26
	町内循環バスの路線網・便数	① 2.08 2.89
	上水道	① 2.96 ⑦ 3.44
	下水道等の生活排水処理対策	④ 2.86 ⑨ 3.41
	公園・遊歩道の整備	2.45 3.03
	市街地の街並み・景観の美しさ・快適性	2.52 2.98
	住宅地の整備	2.55 3.01
2 生活・自然環境	ごみの処理	④ 2.86 ⑤ 3.48
	地球温暖化対策	2.55 3.31
	自然環境の豊かさと保全の取組み	⑥ 2.84 3.18
	道路等の水はけ・冠水対策	2.29 3.40
	防犯や交通安全対策	2.59 ① 3.58
	消防・防災体制	② 2.87 ② 3.53
3 教育・生涯学習・コミュニティ	消費者対策(相談体制等)	2.52 3.11
	小中学校等の教育環境	⑦ 2.81 ⑥ 3.45
	生涯学習の機会・内容	2.66 2.92
	市民の生涯学習活動や市民活動に関する情報	2.70 2.86
	地区、自治会等の活動や近所づきあい	⑩ 2.76 3.03
	地区、自治会活動や市民活動に対する支援	2.66 2.95

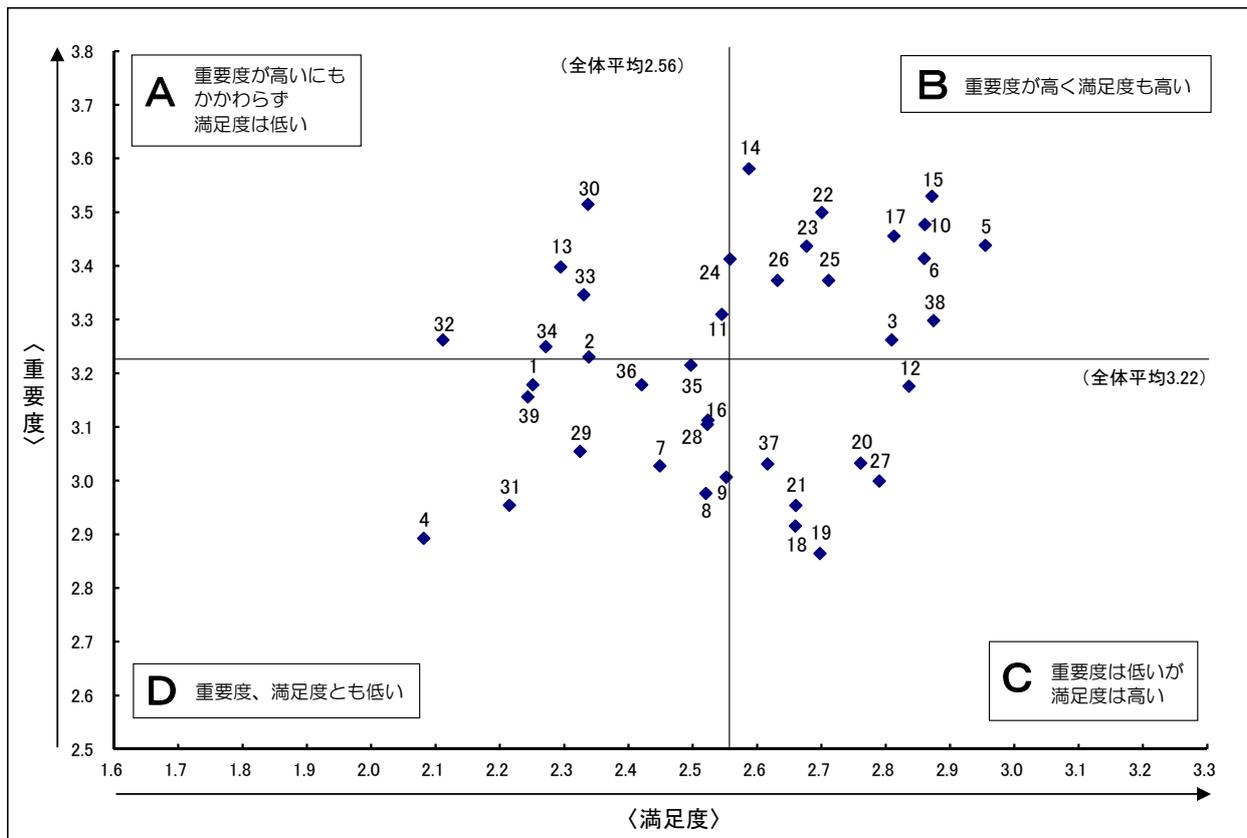
	満足度	重要度
4 保健・医療・福祉	各種健診や相談等の保健事業、医療体制	2.70 ④ 3.50
	子育て支援	2.68 ⑧ 3.44
	高齢者福祉	2.56 ⑨ 3.41
	障がい者福祉	2.71 3.37
	生活保護、国民健康保険等の社会保障	2.63 3.37
	ボランティア等の地域福祉活動	⑨ 2.79 3.00
	5 産業	農業の振興
商工業の振興		2.32 3.05
食料品等の日用品の買い物の便利さ		2.34 ③ 3.51
町の特性をいかした観光の振興		⑤ 2.21 2.95
6 行財政運営	雇用機会の確保	② 2.11 3.26
	自立した行財政運営に向けた改革	2.33 3.35
	先進性・独自性を持ったまちづくり	2.27 3.25
	行政からの情報提供	2.50 3.21
	市民の意見の反映や市民参加機会の確保	2.42 3.18
	人権擁護、男女共同参画の取組み	2.62 3.03
	町職員の接客態度	② 2.87 3.30
市町村合併や事務組合など行政の広域化	④ 2.24 3.16	

○数字は満足度・重要度の高い順位、●数字は満足度の低い順位

II 住民意識調査 調査結果

(3) 満足度、重要度の散布図

各項目を相対的に評価するため、満足度スコアを横軸、重要度スコアを縦軸にとり、平均値（満足度平均値 2.56、重要度平均値 3.22）で区切り、以下の4つの領域に分類した。



A 重要度が高いにもかかわらず満足度は低い	B 重要度が高く満足度も高い
2 道路の整備（生活道路）	3 鉄道の駅施設・運行ダイヤ
11 地球温暖化対策	5 上水道
13 道路等の水はけ・冠水対策	6 下水道等の生活排水処理対策
24 高齢者福祉	10 ごみの処理
30 食料品等の日常品の買い物の便利さ	14 防犯や交通安全対策
32 雇用機会の確保	15 消防・防災体制
33 自立した行財政運営に向けた改革	17 小中学校等の教育環境
34 先進性・独自性を持ったまちづくり	22 各種健診や相談等の保健事業、医療体制
	23 子育て支援
	25 障がい者福祉
	26 生活保護、国民健康保険等の社会保障
	38 町職員の接客態度
D 重要度、満足度とも低い	C 重要度は低いが満足度は高い
1 道路の整備（幹線道路）	12 自然環境の豊かさと保全の取組み
4 町内循環バスの路線網・便数	18 生涯学習の機会・内容
7 公園・遊歩道の整備	19 市民の生涯学習活動や市民活動に関する情報
8 市街地の街並み・景観の美しさ・快適性	20 地区、自治会等の活動や近所づきあい
9 住宅地の整備	21 地区、自治会活動や市民活動に対する支援
16 消費者対策（相談体制等）	27 ボランティア等の地域福祉活動
28 農業の振興	37 人権擁護、男女共同参画の取組み
29 商工業の振興	
31 町の特性をいかした観光の振興	
35 行政からの情報提供	
36 市民の意見の反映や市民参加機会の確保	
39 市町村合併や事務組合など行政の広域化	

〈全体〉

重要度が高いにもかかわらず満足度は低いA領域の項目は、「30 食料品等の日常の買い物の便利さ」をはじめ8項目である。

年齢別のA領域（重要度が高いにもかかわらず満足度は低い）

項目		年代別					
		20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1 都市基盤	1 道路の整備（幹線道路）		○				
	2 道路の整備（生活道路）		○		○		
	3 鉄道の駅施設・運行ダイヤ	○					
	7 公園・遊歩道の整備		○				
2 生活・自然環境	11 地球温暖化対策					○	○
	13 道路等の水はけ・冠水対策	○	○	○	○	○	○
	14 防犯や交通安全対策	○		○	○		
3 教育・生涯学習・コミュニティ		※該当なし					
4 保健・医療・福祉	22 各種健診や相談等の保健事業、医療体制		○				
	24 高齢者福祉					○	○
	26 生活保護、国民健康保険等の社会保障				○	○	
5 産業	30 食料品等の日常品の買い物の便利さ	○		○	○	○	○
	32 雇用機会の確保		○	○	○		○
6 行財政運営	33 自立した行財政運営に向けた改革		○	○	○	○	○
	34 先進性・独自性を持ったまちづくり					○	○
	35 行政からの情報提供				○		○
	36 市民の意見の反映や市民参加機会の確保				○		
	39 市町村合併や事務組合など行政の広域化						○
合計		4	7	5	9	7	9

〈年齢別〉

散布図のA領域（重要度が高いにもかかわらず満足度は低い）に位置づいた項目を年齢別にみると、すべての年代で共通してあがっている項目は、「13 道路等の水はけ・冠水対策」である。

「30 食料品等の日常の買い物の便利さ」や「33 自立した行財政運営に向けた改革」「32 雇用機会の確保」は、すべての年代ではないが、多くの年代があげている項目である。

一方、各年代であがっている特徴的な項目は、20歳代以下の「3 鉄道の駅施設・運行ダイヤ」、30歳代の「1 道路の整備（幹線道路）」「22 各種健診や相談等の保健事業、医療体制」、50歳代の「2 道路の整備（生活道路）」「36 市民の意見の反映や市民参加機会の確保」、70歳代の「39 市町村合併や事務組合など行政の広域化」などとなっている。

また、50歳代と70歳代以上はA領域に9つの項目が位置付けられており、他の年代と比較してやや多くなっている。

II 住民意識調査 調査結果

居住地域別のA領域（重要度が高いにもかかわらず満足度は低い）

項目	居住地域	東～姫宮	川端	宮東・中島	東姫宮	道佛	百間	宮代～本田	学園台	東条原～国納	大字和戸	和戸	宮代台
		1 都市基盤	1 道路の整備(幹線道路)	○		○	○		○			○	○
	2 道路の整備(生活道路)	○		○	○		○			○			
	3 鉄道の駅施設・運行ダイヤ												○
	4 町内循環バスの路線網・便数												○
	6 下水道等の生活排水処理対策	○											
	7 公園・遊歩道の整備					○							
2 生活・自然環境	11 地球温暖化対策		○	○	○				○		○	○	
	13 道路等の水はけ・冠水対策	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	14 防犯や交通安全対策		○	○		○	○			○	○		○
	16 消費者対策(相談体制等)											○	
3 教育・生涯学習・コミュニティ		※該当なし											
4 保健・医療・福祉	22 各種健診や相談等の保健事業、医療体制										○		
	23 子育て支援				○						○		
	24 高齢者福祉	○			○					○	○	○	
	26 生活保護、国民健康保険等の社会保障				○						○	○	○
5 産業	28 農業の振興			○						○			
	30 食料品等の日用品の買い物 の便利さ	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○
	32 雇用機会の確保	○		○			○	○	○	○	○	○	○
6 行財政運営	33 自立した行財政運営に向けた改革	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
	34 先進性・独自性を持ったまちづくり		○		○	○		○	○	○			○
	35 行政からの情報提供		○							○			
	36 市民の意見の反映や市民 参加機会の確保			○	○						○	○	
	39 市町村合併や事務組合など 行政の広域化		○			○				○			○
合計		8	8	8	11	6	6	5	6	12	12	8	10

〈居住地域別〉

居住地域別で散布図のA領域に位置づいた特徴的な項目は、宮代台の「3 鉄道の駅施設・運行ダイヤ」「4 町内循環バスの路線網・便数」、東～姫宮の「6 下水道等の生活排水処理対策」、道佛の「7 公園・遊歩道の整備」、和戸の「16 消費者対策(相談体制等)」、大字和戸の「22 各種健診や相談等の保健事業、医療体制」、東姫宮と大字和戸の「23 子育て支援」、宮東・中島と東条原～国納の「28 農業の振興」、川端と東条原～国納の「35 行政からの情報提供」などとなっている。

また、東条原～国納、大字和戸、東姫宮、宮代台では、A領域に位置付けられた項目が他の地域と比較してやや多くなっている。

前回（平成 26 年度）調査との比較

平成 26 年度調査	今回調査
A 重要度が高いにもかかわらず満足度は低い	
1 道路の整備(幹線道路) 13 道路等の水はけ、冠水対策 23 子育て支援 24 高齢者福祉 28 農業の振興 31 町の特性をいかした観光の振興 33 自立した行財政運営に向けた歳入確保・歳出削減 34 先進性・独自性を持ったまちづくり	2 道路の整備(生活道路) 11 地球温暖化対策 13 道路等の水はけ・冠水対策 24 高齢者福祉 30 食料品等の日用品の買い物の便利さ 32 雇用機会の確保 33 自立した行財政運営に向けた改革 34 先進性・独自性を持ったまちづくり
B 重要度が高く満足度も高い	
2 道路の整備(生活道路) 3 鉄道の駅施設・運行ダイヤ 8 市街地の街並み・景観の美しさ・快適性 12 自然環境の豊かさと保全の取り組み 14 防犯や交通安全対策 17 小中学校等の教育環境 22 各種健診や相談等の保健事業、医療体制 30 食料品等の日用品の買い物の便利さ	3 鉄道の駅施設・運行ダイヤ 5 上水道 6 下水道等の生活排水処理対策 10 ごみの処理 14 防犯や交通安全対策 15 消防・防災体制 17 小中学校等の教育環境 22 各種健診や相談等の保健事業、医療体制 23 子育て支援 25 障がい者福祉 26 生活保護、国民健康保険等の社会保障 38 町職員の接客態度
C 重要度は低い満足度は高い	
5 上水道 6 下水道等の生活排水処理対策 7 公園・遊歩道の整備 9 住宅地の整備 10 ごみの処理 15 消防・防災体制 19 市民の生涯学習活動や市民活動に関する情報 20 地区、自治会等の活動や近所づきあい 38 町職員の接客態度	12 自然環境の豊かさと保全の取り組み 18 生涯学習の機会・内容 19 市民の生涯学習活動や市民活動に関する情報 20 地区、自治会等の活動や近所づきあい 21 地区、自治会活動や市民活動に対する支援 27 ボランティア等の地域福祉活動 37 人権擁護、男女共同参画の取り組み
D 重要度、満足度とも低い	
4 町内循環バスの路線網・便数 11 地球温暖化対策 16 消費者対策(相談体制等) 18 生涯学習の機会・内容 21 地区、自治会活動や市民活動に対する支援 25 障がい者福祉 26 生活保護、国民健康保険等の社会保障 27 ボランティア等の地域福祉活動 29 商工業の振興 32 雇用機会の確保 35 行政からの情報提供 36 市民の意見の反映や市民参加機会の確保 37 人権擁護、男女共同参画の取り組み	1 道路の整備(幹線道路) 4 町内循環バスの路線網・便数 7 公園・遊歩道の整備 8 市街地の街並み・景観の美しさ・快適性 9 住宅地の整備 16 消費者対策(相談体制等) 28 農業の振興 29 商工業の振興 31 町の特性をいかした観光の振興 35 行政からの情報提供 36 市民の意見の反映や市民参加機会の確保 39 市町村合併や事務組合など行政の広域化

※前回調査とは重要度の質問形式が異なるため、単純な比較はできない。

Ⅱ 住民意識調査 調査結果

〈前回（平成 26 年度）調査との比較〉

前回調査では、重要度の質問形式が異なり、重点的に取り組む必要がある項目について5つまで選択してもらう形式としていたが、今回調査では全ての項目について重要度を評価してもらう形式とした。そのため単純な比較は難しいが、A領域にあげられている項目について比較する。

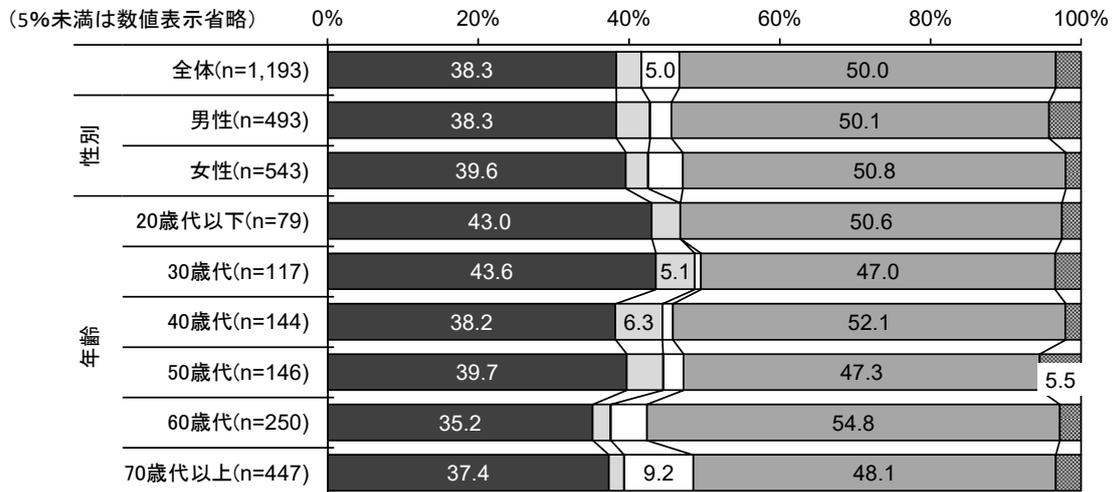
前回調査、今回調査でいずれもA領域にあげられている項目は、「道路等の水はけ、冠水対策」「高齢者福祉」「自立した行財政運営に向けた歳入確保・歳出削減（改革）」「先進性・独自性を持ったまちづくり」である。前回調査ではA領域にあげられていた「道路の整備（幹線道路）」及び「農業の振興」「町の特性をいかした観光の振興」は、今回調査ではD領域に、また、「子育て支援」はB領域となっている。

これに対し、今回調査で新たにA領域にあげられた項目は、「道路の整備（生活道路）」「地球温暖化対策」「食料品等の日常品の買い物の便利さ」「雇用機会の確保」となっている。

4 今後のまちづくりの基本的方向性について

(1) 都市開発のあり方について

問9 今後、人口減少・高齢化が進行していく中で、大規模な住宅地や商業施設、工業団地等の都市開発のあり方についてどのように考えますか。(1つに○)



■ 開発を積極的に行うことで、拡大成長型のまちづくりを進める
 □ その他 □ 無回答 □ 開発は最小にとどめ、既存施設の有効活用等による持続可能なまちづくりを進める
 ▣ 新たな開発は行わない

〈全体〉

今後の都市開発のあり方については、「開発は最小限にとどめ、既存施設の有効活用等による持続可能なまちづくりを進める」50.0%が半数を占め、「開発を積極的に行うことで、拡大成長型のまちづくりを進める」38.3%を上回る。

〈性別〉

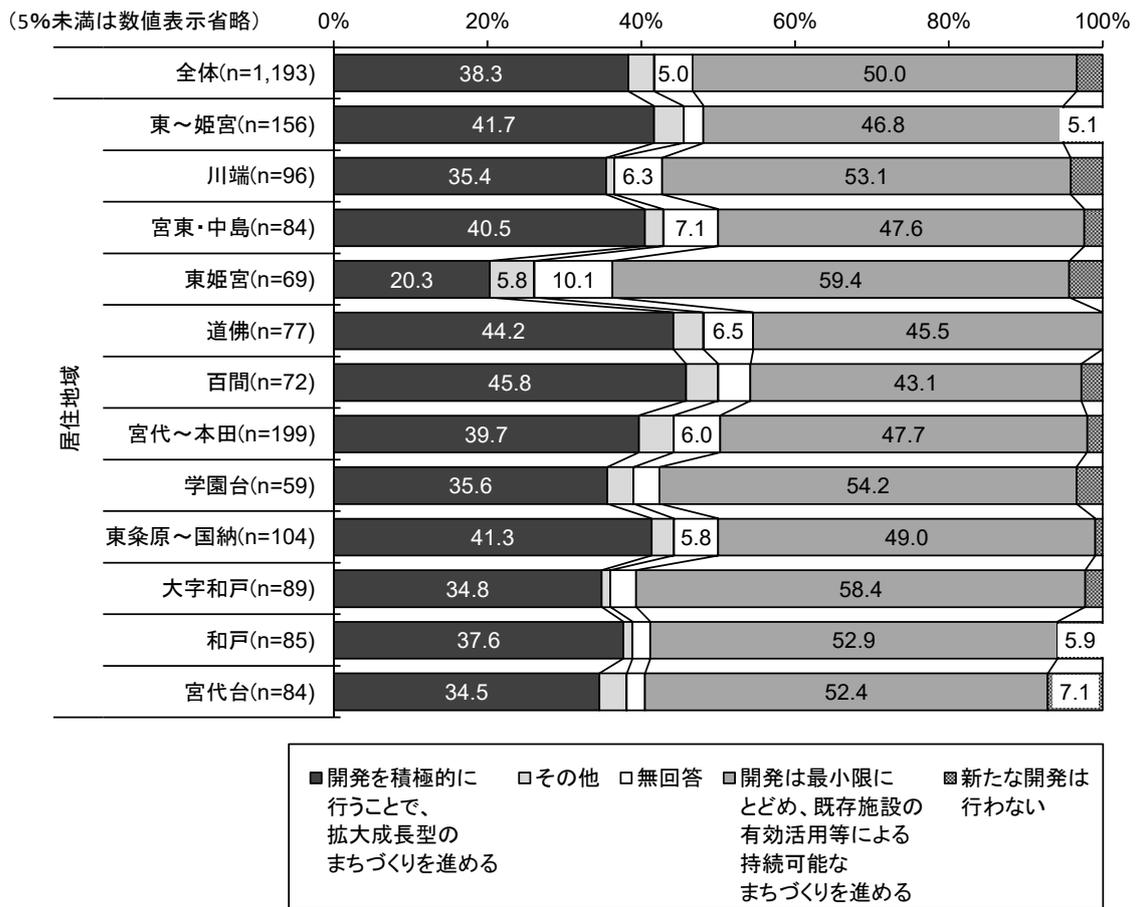
性別ではほとんど差がない。

〈年齢別〉

「開発は最小限にとどめ、既存施設の有効活用等による持続可能なまちづくりを進める」は、60歳代の54.8%、40歳代52.1%、20歳代以下50.6%と続く。

一方、「開発を積極的に行うことで、拡大成長型のまちづくりを進める」の比率は、30歳代以下で4割を超えやや高くなっている。

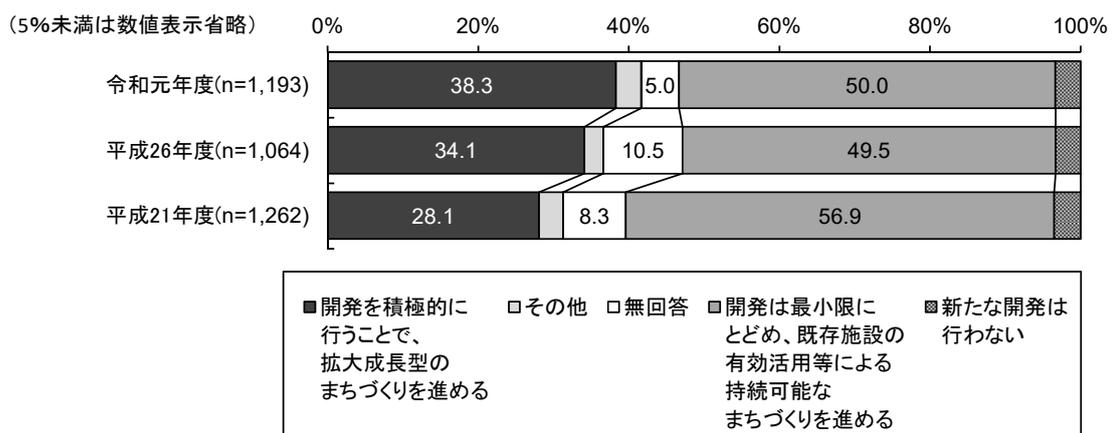
II 住民意識調査 調査結果



〈居住地域別〉

「開発は最小限にとどめ、既存施設の有効活用等による持続可能なまちづくりを進める」は、東姫宮 59.4%、大字和戸 58.4%、学園台 54.2%の順である。

一方、「開発を積極的に行うことで、拡大成長型のまちづくりを進める」は、百間 45.8%、道佛 44.2%、東～姫宮 41.7%の順である。



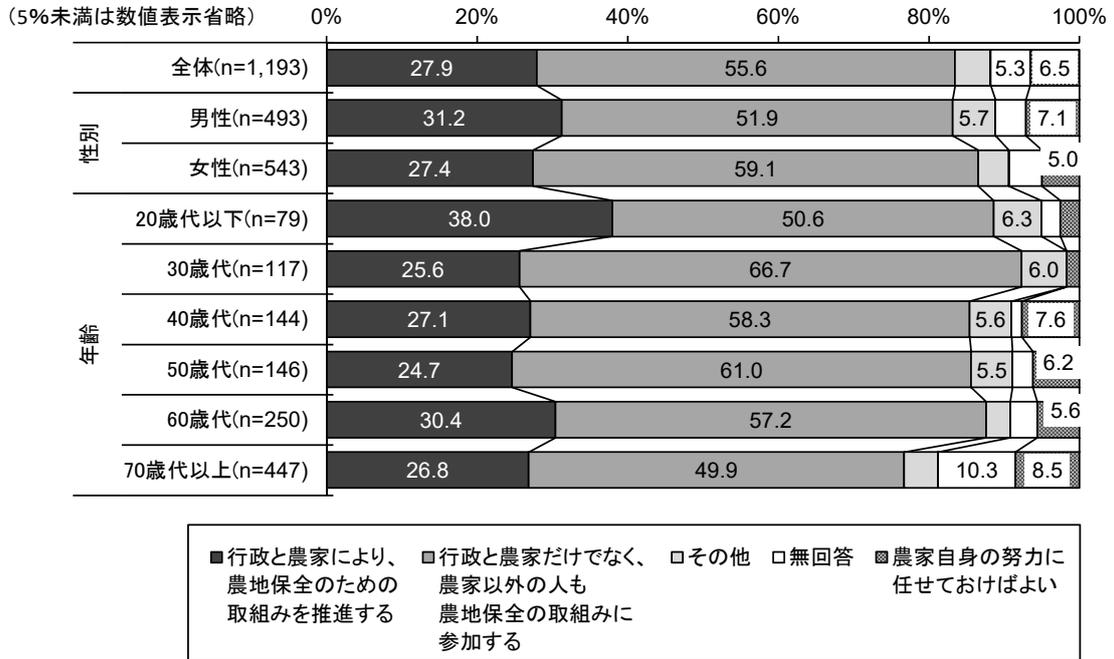
〈経年比較〉

「開発は最小限にとどめ、既存施設の有効活用等による持続可能なまちづくりを進める」の比率は、平成26年度にやや減少したものの、前回と今回調査では約5割となっている。

一方、「開発を積極的に行うことで、拡大成長型のまちづくりを進める」の比率は増加傾向にあり、今回調査では平成21年度との比較で約10ポイント上昇している。

(2) 田園景観減少への対応

問10 宮代町を象徴する田んぼや畑、屋敷林、雑木林等の田園風景については、今後、農家の後継者不足等により、さらに減少していくことが見込まれます。こうした状況に、あなたはどのように対応していくべきと思いますか。(1つに○)



〈全体〉

田園景観減少への対応については、「行政と農家だけでなく、農家以外の人も農地保全の取組みに参加する」55.6%と半数を超え、「行政と農家により、農地保全のための取組みを推進する」27.9%を大きく上回る。一方、「農家自身の努力に任せておけばよい」は6.5%と少数である。

〈性別〉

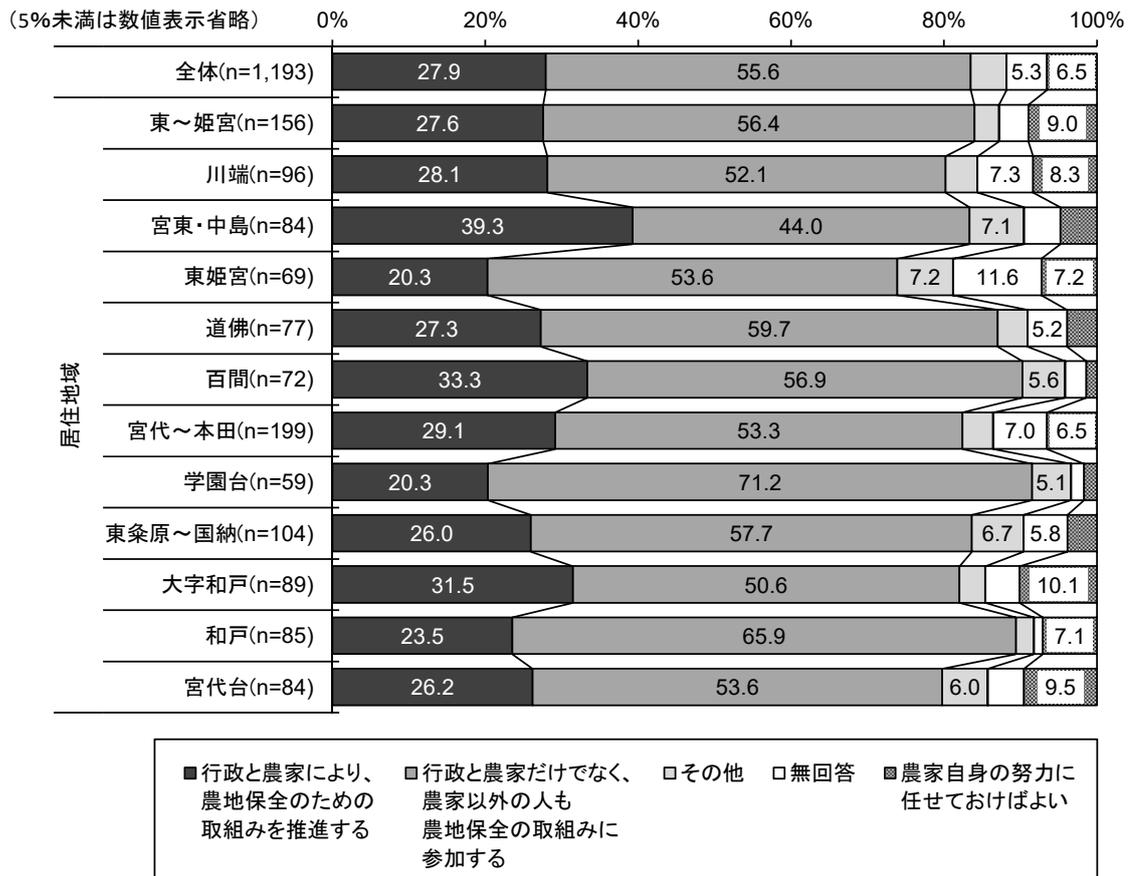
男女とも「行政と農家だけでなく、農家以外の人も農地保全の取組みに参加する」が5割を超えるものの、その比率は女性が男性を約7ポイント上回る。

〈年齢別〉

いずれの年代においても「行政と農家だけでなく、農家以外の人も農地保全の取組みに参加する」の比率が最も高く、特に30歳代と50歳代で6割を超えて高くなっている。

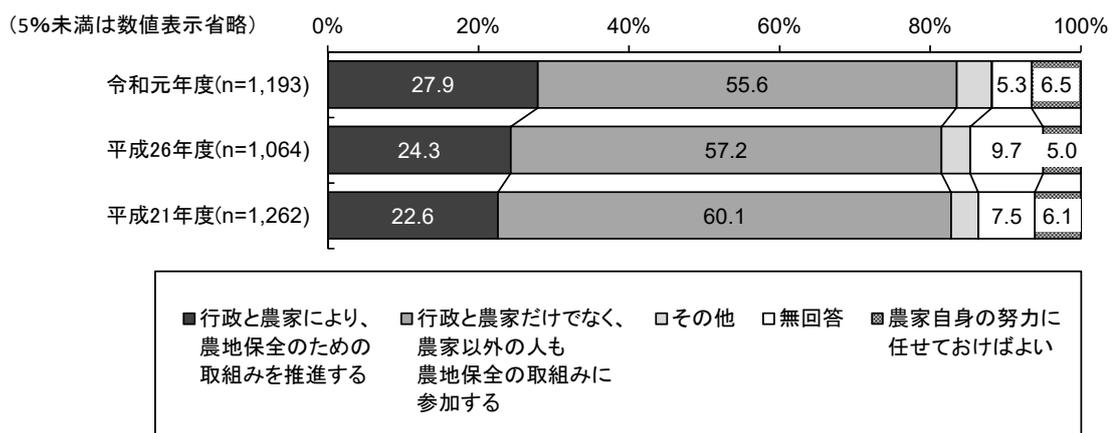
全体と比較すると、20歳代以下で「行政と農家により、農地保全のための取組みを推進する」の比率が高い。

II 住民意識調査 調査結果



〈居住地域別〉

全ての地域で「行政と農家だけでなく、農家以外の人も農地保全の取組みに参加する」の比率が最も高く、特に学園台で7割、和戸で6割台半ばと高くなっている。一方、「行政と農家により、農地保全のための取組みを推進する」の比率は、宮東・中島、百間などで高くなっている。

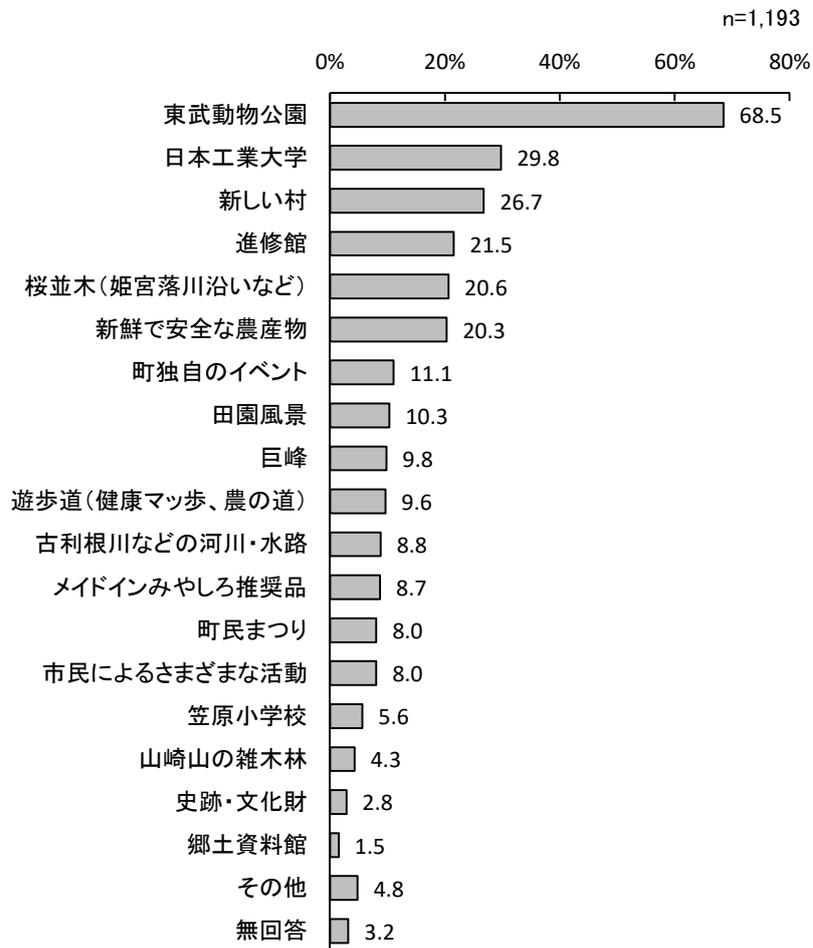


〈経年比較〉

いずれの年度においても「行政と農家だけでなく、農家以外の人も農地保全の取組みに参加する」が最も高いものの、その比率は減少傾向となっており、今回調査では平成21年度との比較で約5ポイント減少している。一方、「行政と農家により、農地保全のための取組みを推進する」の比率は増加傾向にあり、今回調査では平成21年度との比較で約5ポイント上昇している。

(3) 活用すべき資源

問11 今後、町の魅力の向上やにぎわいの創出を図っていく上で、特に重視あるいは活用すべきと思う資源（宮代町の特長・強み）は何だと思えますか。（3つに○）



〈全体〉

活用すべき資源は、「東武動物公園」が68.5%と特に高くなっている。2位以下は、「日本工業大学」29.8%、「新しい村」26.7%、「進修館」21.5%、「桜並木（姫宮落川沿いなど）」20.6%、「新鮮で安全な農産物」20.3%などである。

II 住民意識調査 調査結果

単位：%

属性	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
男性 (n=493)	東武動物公園 68.4	日本工業大学 32.3	新しい村 26.0	新鮮で安全な農産物 19.1	進修館 18.3	桜並木(姫宮落川沿いなど) 18.1	田園風景 13.0	町独自のイベント 12.0
女性 (n=543)	東武動物公園 72.7	新しい村 26.9	日本工業大学 26.7	進修館 24.7	桜並木(姫宮落川沿いなど) 24.1	新鮮で安全な農産物 21.0	巨峰 11.8	町独自のイベント 10.3
20歳代以下 (n=79)	東武動物公園 77.2	進修館 29.1	新しい村 25.3	桜並木(姫宮落川沿いなど) 20.3	日本工業大学 19.0	笠原小学校 17.7	巨峰 15.2	新鮮で安全な農産物 12.7
30歳代 (n=117)	東武動物公園 82.9	進修館/新しい村 25.6		日本工業大学 20.5	桜並木(姫宮落川沿いなど) 18.8	笠原小学校 17.9	田園風景/巨峰 13.7	
40歳代 (n=144)	東武動物公園 78.5	進修館 31.9	日本工業大学 29.9	新しい村 27.1	新鮮で安全な農産物/町独自のイベント 16.0		田園風景/桜並木(姫宮落川沿いなど) 14.6	
50歳代 (n=146)	東武動物公園 71.2	新しい村 33.6	新鮮で安全な農産物 26.0	日本工業大学 24.7	進修館 21.2	桜並木(姫宮落川沿いなど) 19.2	町独自のイベント 11.0	巨峰 10.3
60歳代 (n=250)	東武動物公園 68.8	日本工業大学 30.0	新しい村 28.8	新鮮で安全な農産物 22.4	桜並木(姫宮落川沿いなど) 22.0	進修館 16.0	遊歩道(健康マッ歩、農の道) 13.2	町独自のイベント 11.6
70歳代以上 (n=447)	東武動物公園 59.5	日本工業大学 35.8	新しい村 23.7	桜並木(姫宮落川沿いなど) 23.0	新鮮で安全な農産物 21.3	進修館 19.0	古利根川などの河川・水路/市民によるさまざまな活動 11.2	

〈性別〉

男女ともに「東武動物公園」が1位にあげられているが、上位にあげられた資源の中で、男性が女性を上回るのは「日本工業大学」「田園風景」などである。一方、女性が男性を上回るのは、「新しい村」「進修館」「桜並木(姫宮落川沿いなど)」などである。

〈年齢別〉

全ての年代で「東武動物公園」が1位にあげられているが、その比率は40歳代以下で8割前後と特に高くなっている。また、年代別にみると、各項目の順位・比率が異なり、特に30歳代以下で「笠原小学校」、40歳代以下で「進修館」、50歳代で「新鮮で安全な農産物」、60歳代以上では「日本工業大学」などの比率が高くなっている。

Ⅱ 住民意識調査 調査結果

単位：％

属性	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
東～姫宮 (n=156)	東武動物公園 70.5	新しい村 32.7	日本工業大 学 30.1	桜並木(姫宮 落川沿いなど) 20.5	新鮮で安全 な農産物 19.9	進修館 19.2	町独自のイ ベント 12.2	市民によるさ まざまな活動 10.9
川端 (n=96)	東武動物公園 65.6	日本工業大 学 28.1	新しい村 27.1	桜並木(姫宮 落川沿いなど) 26.0	進修館 21.9	新鮮で安全 な農産物 20.8	田園風景 13.5	町独自のイ ベント 10.4
宮東・中島 (n=84)	東武動物公園 73.8	新しい村 26.2	日本工業大 学 25.0	新鮮で安全 な農産物 21.4	桜並木(姫宮 落川沿いなど) 20.2	進修館／巨峰 14.3		メイドインみ やしろ推奨 品 13.1
東姫宮 (n=69)	東武動物公園 65.2	日本工業大 学 33.3	新鮮で安全 な農産物 24.6	桜並木(姫宮 落川沿いなど) 21.7	新しい村 20.3	田園風景 14.5	進修館 13.0	遊歩道(健康 マッ歩、農の 道) 11.6
道佛 (n=77)	東武動物公園 81.8	桜並木(姫宮 落川沿いなど) 31.2	新しい村 23.4	日本工業大学／進修館 20.8		新鮮で安全 な農産物 18.2	町民まつり／町独自のイ ベント 13.0	
百間 (n=72)	東武動物公園 66.7	日本工業大 学 33.3	進修館 27.8	新しい村 25.0	桜並木(姫宮 落川沿いなど) 18.1	町独自のイ ベント 18.1	古利根川などの河川・水路 ／新鮮で安全な農産物 16.7	
宮代～本田 (n=199)	東武動物公園 69.3	新しい村／桜並木(姫宮落 川沿いなど) 29.1		進修館 27.1	日本工業大 学 26.6	新鮮で安全 な農産物 14.6	笠原小学校 13.1	町独自のイ ベント 10.1
学園台 (n=59)	東武動物公園 61.0	桜並木(姫宮 落川沿いなど) 35.6	日本工業大 学 30.5	新しい村／新鮮で安全な 農産物 27.1		進修館 22.0	遊歩道(健康 マッ歩、農の 道) 15.3	笠原小学校 13.6
東桑原～国納 (n=104)	東武動物公園 64.4	日本工業大 学 35.6	新しい村 26.9	新鮮で安全 な農産物 26.0	進修館 24.0	巨峰／町独自のイベント 14.4		桜並木(姫宮 落川沿いなど)／市民に よるさまざま な活動 13.5
大字和戸 (n=89)	東武動物公園 73.0	日本工業大 学 29.2	進修館 23.6	新鮮で安全 な農産物 19.1	新しい村／町民まつり 18.0		古利根川な どの河川・水 路 14.6	巨峰 13.5
和戸 (n=85)	東武動物公園 70.6	日本工業大 学 34.1	新しい村 24.7	進修館 22.4	古利根川な どの河川・水 路 20.0	新鮮で安全 な農産物 17.6	メイドインみ やしろ推奨 品 12.9	町民まつり ／町独自の イベント 11.8
宮代台 (n=84)	東武動物公園 60.7	日本工業大 学 36.9	新しい村 31.0	新鮮で安全 な農産物 25.0	田園風景 14.3	進修館／遊歩道(健康マッ歩、農の道)／ 桜並木(姫宮落川沿いなど) 13.1		

〈居住地域別〉

全ての地域で「東武動物公園」が1位にあげられているが、その比率は道佛で8割を超え特に高くなっている。各地域で上位にあげられた特徴的な項目としては、道佛、宮代～本田、学園台の「桜並木」、和戸、宮代台の「日本工業大学」、大字和戸の「町民まつり」、宮代～本田、学園台の「笠原小学校」などで、これらの項目は他の地域と比較して高くなっている。

II 住民意識調査 調査結果

単位：%

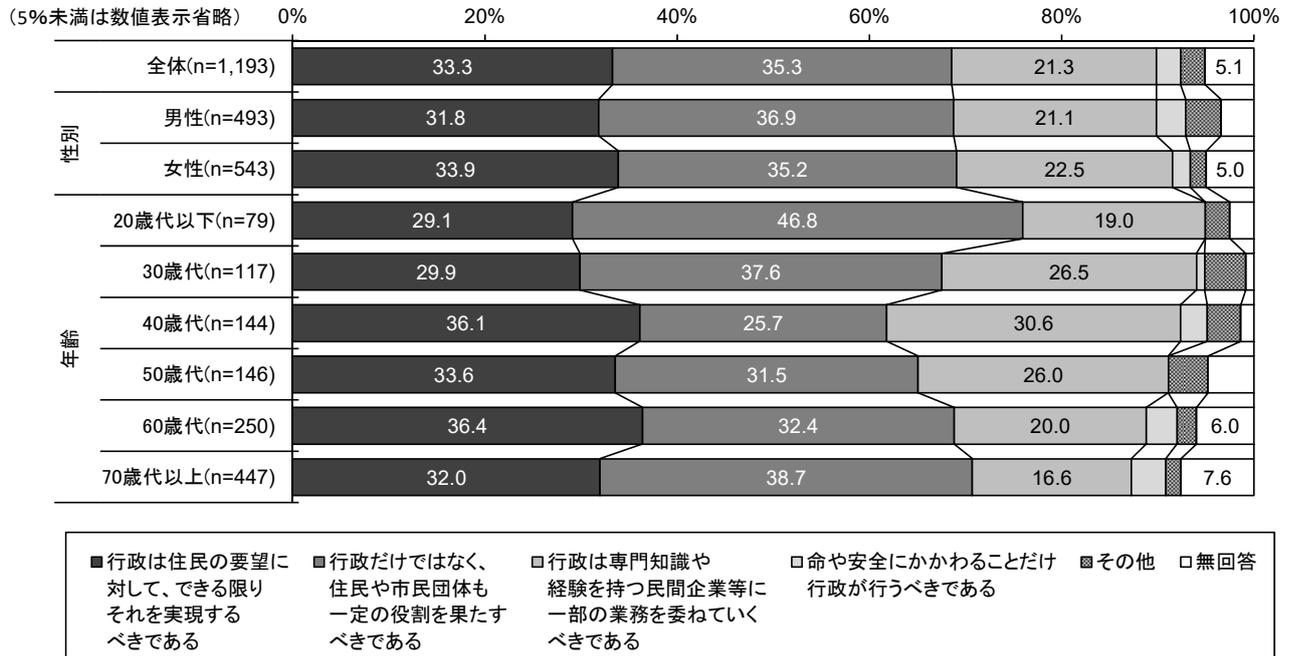
属性	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
令和元年度 (n=1,193)	東武動物公園 68.5	日本工業大学 29.8	新しい村 26.7	進修館 21.5	桜並木(姫宮 落川沿いなど) 20.6	新鮮で安全 な農産物 20.3	町独自のイ ベント 11.1	田園風景 10.3
平成 26 年度 (n=1,064)	東武動物公園 73.0	日本工業大学 34.0	新しい村 30.3	新鮮で安全 な農産物 27.4	進修館 18.2	桜並木(姫宮 落川沿いなど) 16.4	巨峰 14.8	市民によるさ まざまな活動 11.9
平成 21 年度 (n=1,262)	東武動物公園 68.0	日本工業大学 29.7	新しい村 36.1	新鮮で安全 な農産物 30.8	進修館 21.9	桜並木(姫宮 落川沿いなど) 18.9	巨峰 14.6	古利根川な どの河川・水 路 10.5

〈経年比較〉

今回の調査では一部選択肢を修正・追加したため単純な比較はできないが、「新しい村」「新鮮で安全な農産物」の比率が減少傾向にある。

(4) 今後の行政サービスのあり方

問 12 今後の行政サービスのあり方についてどう思いますか。(1つに○)



〈全体〉

今後の行政サービスのあり方については、「行政は住民の要望に対して、できる限りそれを実現するべきである」33.3%に対し、「行政だけではなく、住民や市民団体も一定の役割を果たすべきである」が35.3%、「行政は専門知識や経験を持つ民間企業等に一部の業務を委ねていくべきである」が21.3%となっている。

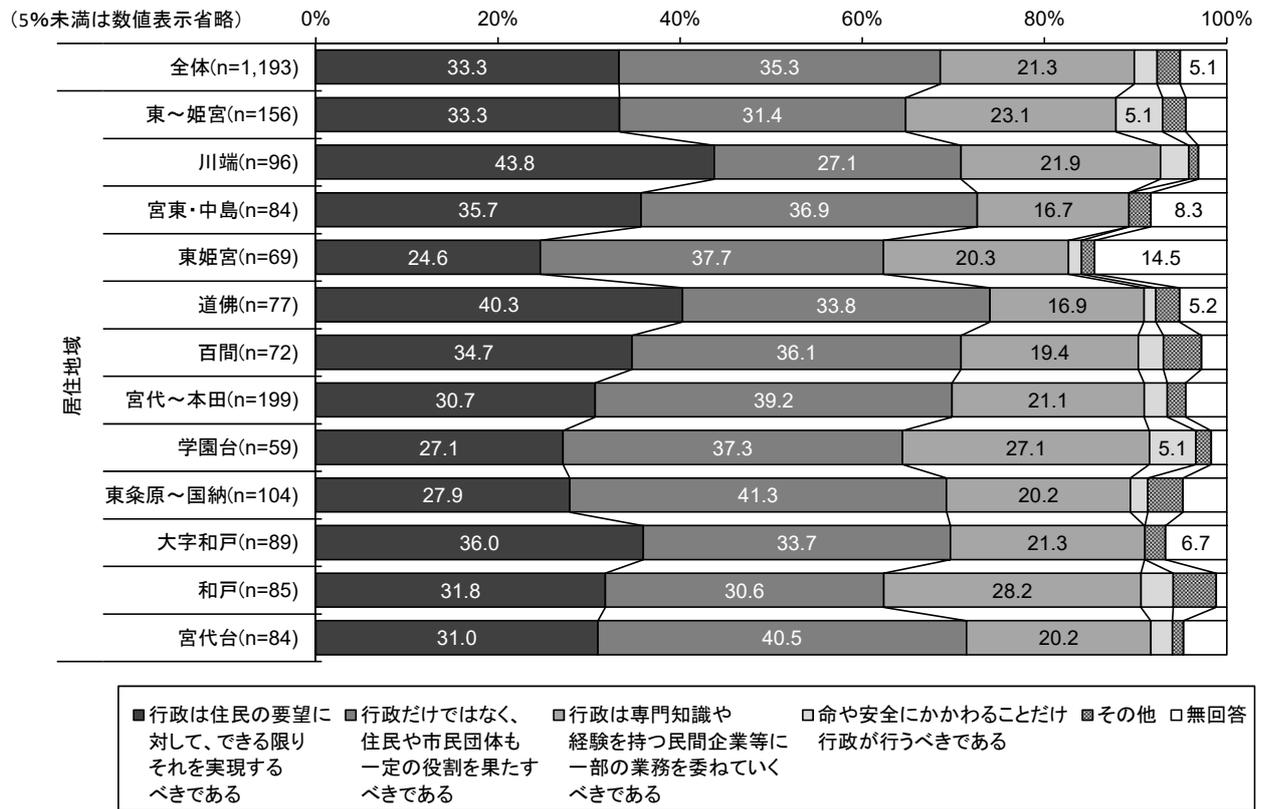
〈性別〉

性別ではほとんど差がない。

〈年齢別〉

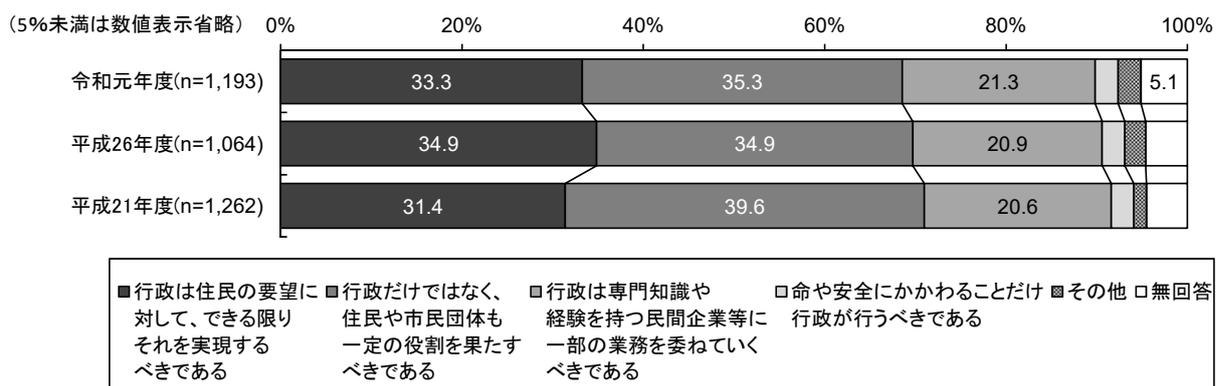
30歳代以下と70歳代以上では「行政だけではなく、住民や市民団体も一定の役割を果たすべきである」の比率が最も高く、特に20歳代以下でその比率が4割台半ばを超える。一方、40歳代から60歳代では「行政は住民の要望に対して、できる限りそれを実現するべきである」の比率が高い。また、「行政は専門知識や経験を持つ民間企業等に一部の業務を委ねていくべきである」の比率は、40歳代で約3割と高くなっている。

II 住民意識調査 調査結果



〈居住地域別〉

全体と比較して、川端、道佛では「行政は住民の要望に対して、できる限りそれを実現すべきである」の比率が高くなっているのに対し、東条原～国納、宮代台では「行政だけではなく、住民や市民団体も一定の役割を果たすべきである」の比率が高い。一方、和戸、学園台では「行政は専門知識や経験を持つ民間企業等に一部の業務を委ねていくべきである」の比率がやや高くなっている。

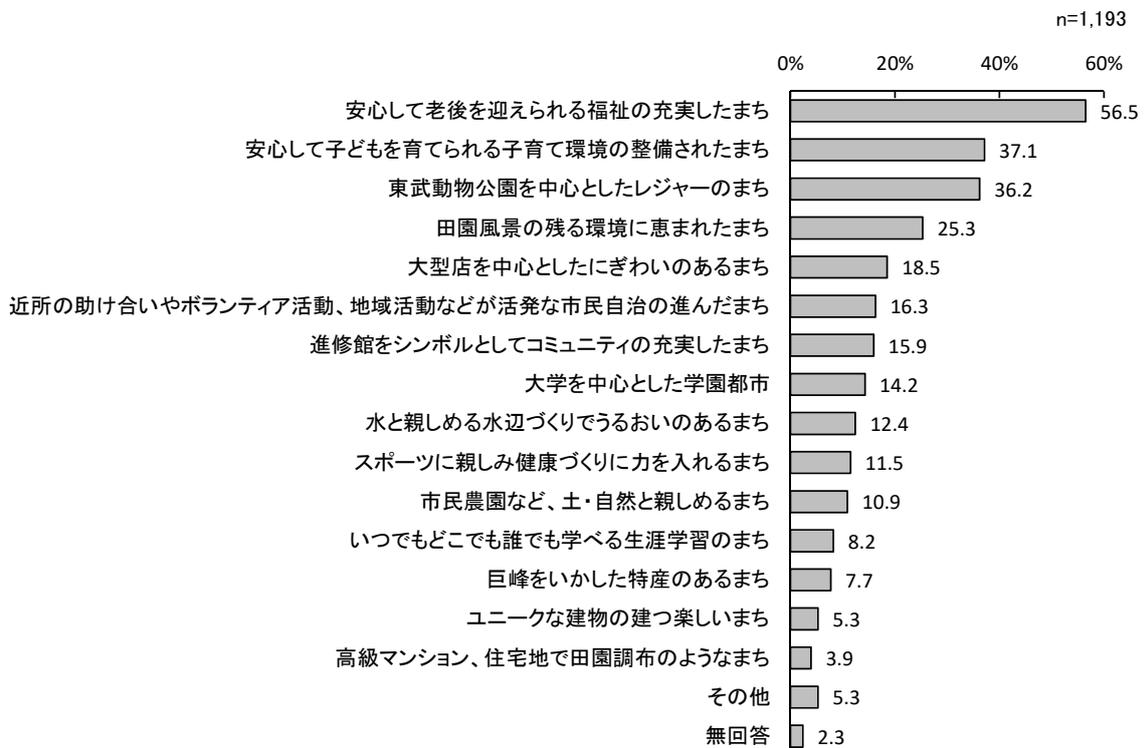


〈経年比較〉

平成 26 年度調査では、「行政は住民の要望に対して、できる限りそれを実現すべきである」と「行政だけではなく、住民や市民団体も一定の役割を果たすべきである」が同率となったものの、今回調査では「行政だけではなく、住民や市民団体も一定の役割を果たすべきである」の比率がやや増加した。ただし、今回調査の「行政だけではなく、住民や市民団体も一定の役割を果たすべきである」の比率について、平成 21 年度調査との比較では減少となっている。

(5) 目指すべきまちづくりの方向

問 13 あなたは、宮代町が今後どのようなまちづくりを目指すべきだと思いますか。
(3つに○)



〈全体〉

目指すべきまちづくりの方向については、「安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち」が 56.5%と特に高くなっている。2位以下は、「安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち」37.1%、「東武動物公園を中心としたレジャーのまち」36.2%、「田園風景の残る環境に恵まれたまち」25.3%などである。

単位：%

属性	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=493)	安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち 53.3	東武動物公園を中心としたレジャーのまち 40.0	安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち 35.5	田園風景の残る環境に恵まれたまち 27.0	大学を中心とした学園都市 17.0
女性 (n=543)	安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち 59.1	安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち 42.2	東武動物公園を中心としたレジャーのまち 34.1	田園風景の残る環境に恵まれたまち 25.4	大型店を中心としたにぎわいのあるまち 20.8

〈性別〉

男女ともに「安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち」が1位にあげられているが、上位にあげられた項目の中で、男性が女性を大きく上回るのは「東武動物公園を中心としたレジャーのまち」「大学を中心とした学園都市」などである。一方、女性が男性を上回るのは、「安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち」「安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち」などである。

II 住民意識調査 調査結果

単位：%

属性	1位	2位	3位	4位	5位
20 歳代以下 (n=79)	安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち 49.4	東武動物公園を中心としたレジャーのまち 43.0	安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち 31.6	大型店を中心としたにぎわいのあるまち 26.6	田園風景の残る環境に恵まれたまち／市民農園など、土・自然と親しめるまち 16.5
30 歳代 (n=117)	安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち 59.0	東武動物公園を中心としたレジャーのまち 46.2	安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち 36.8	田園風景の残る環境に恵まれたまち 27.4	市民農園など、土・自然と親しめるまち／大型店を中心としたにぎわいのあるまち 17.9
40 歳代 (n=144)	安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち 46.5	東武動物公園を中心としたレジャーのまち 39.6	安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち 36.8	田園風景の残る環境に恵まれたまち 28.5	進修館をシンボルとしてコミュニティの充実したまち 18.1
50 歳代 (n=146)	安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち 54.8	東武動物公園を中心としたレジャーのまち 42.5	安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち 37.7	田園風景の残る環境に恵まれたまち 25.3	大型店を中心としたにぎわいのあるまち 19.2
60 歳代 (n=250)	安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち 68.8	安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち 35.6	東武動物公園を中心としたレジャーのまち 31.6	田園風景の残る環境に恵まれたまち 29.6	近所の助け合いやボランティア活動、地域活動などが活発な市民自治の進んだまち 18.8
70 歳代以上 (n=447)	安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち 63.3	東武動物公園を中心としたレジャーのまち 32.0	安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち 29.3	田園風景の残る環境に恵まれたまち 22.4	大学を中心とした学園都市 20.4

〈年齢別〉

30 歳代以下では「安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち」が 1 位にあげられており、特に 30 歳代では約 6 割と高くなっている。40 歳代から 70 歳代以上では「安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち」が 1 位にあげられており、特に 60 歳代以上では 6 割を超える。

そのほか、全体と比較すると、50 歳代以下で「東武動物公園を中心としたレジャーのまち」、20 歳代以下で「大型店を中心としたにぎわいのあるまち」などの比率がやや高い。

Ⅱ 住民意識調査 調査結果

単位：％

属性	1位	2位	3位	4位	5位
東～姫宮 (n=156)	安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち 64.7	安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち 35.9	東武動物公園を中心としたレジャーのまち 32.7	田園風景の残る環境に恵まれたまち 22.4	大型店を中心としたにぎわいのあるまち 17.9
川端 (n=96)	安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち 57.3	東武動物公園を中心としたレジャーのまち 38.5	安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち 32.3	田園風景の残る環境に恵まれたまち 27.1	進修館をシンボルとしてコミュニティの充実したまち 18.8
宮東・中島 (n=84)	安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち 58.3	安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち 48.8	東武動物公園を中心としたレジャーのまち 36.9	田園風景の残る環境に恵まれたまち 22.6	スポーツに親しみ健康づくりに力を入れるまち／近所の助け合いやボランティア活動、地域活動などが活発な市民自治の進んだまち 17.9
東姫宮 (n=69)	安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち 56.5	東武動物公園を中心としたレジャーのまち 40.6	安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち 33.3	田園風景の残る環境に恵まれたまち 24.6	大学を中心とした学園都市 18.8
道佛 (n=77)	安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち 45.5	安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち 42.9	東武動物公園を中心としたレジャーのまち 41.6	田園風景の残る環境に恵まれたまち 36.4	水と親しめる水辺づくりでうるおいのあるまち 19.5
百間 (n=72)	安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち 56.9	安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち 45.8	東武動物公園を中心としたレジャーのまち 30.6	田園風景の残る環境に恵まれたまち 22.2	大型店を中心としたにぎわいのあるまち 22.2
宮代～本田 (n=199)	安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち 50.8	東武動物公園を中心としたレジャーのまち／安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち 35.2	田園風景の残る環境に恵まれたまち 26.6	進修館をシンボルとしてコミュニティの充実したまち 23.1	大学を中心とした学園都市 23.1
学園台 (n=59)	安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち 54.2	安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち 42.4	田園風景の残る環境に恵まれたまち 39.0	大学を中心とした学園都市／東武動物公園を中心としたレジャーのまち 27.1	
東条原～国納 (n=104)	安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち 56.7	安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち 36.5	東武動物公園を中心としたレジャーのまち 33.7	大型店を中心としたにぎわいのあるまち 26.0	大学を中心とした学園都市 23.1
大字和戸 (n=89)	安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち 66.3	東武動物公園を中心としたレジャーのまち 39.3	安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち 29.2	田園風景の残る環境に恵まれたまち 24.7	近所の助け合いやボランティア活動、地域活動などが活発な市民自治の進んだまち 19.1
和戸 (n=85)	安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち 56.5	東武動物公園を中心としたレジャーのまち 44.7	安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち 29.4	田園風景の残る環境に恵まれたまち 24.7	近所の助け合いやボランティア活動、地域活動などが活発な市民自治の進んだまち 21.2
宮代台 (n=84)	安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち 58.3	東武動物公園を中心としたレジャーのまち／安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち 38.1	田園風景の残る環境に恵まれたまち 22.6	大学を中心とした学園都市 21.4	

〈居住地域別〉

ほぼ全ての地域で「安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち」が1位にあげられており、その比率は東～姫宮と大字和戸で6割を超え特に高くなっている。「安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち」は、道佛で唯一1位にあげられており、その比率は宮東・中島、百間、学園台でも比較的高い。各地区で上位にあげられた特徴的な項目としては、和戸の「東武動物公園を中心としたレジャーのまち」、道佛の「田園風景の残る環境に恵まれたまち」、学園台の「大学を中心とした学園都市」、東条原～国納の「大型店を中心としたにぎわいのあるまち」などで、これらの項目は他の地域と比較して高くなっている。

II 住民意識調査 調査結果

単位：％

属性	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
令和元年度 (n=1,193)	安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち 56.5	安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち 37.1	東武動物公園を中心としたレジャーのまち 36.2	田園風景の残る環境に恵まれたまち 25.3	大型店を中心としたにぎわいのあるまち 18.5	近所の助け合いやボランティア活動、地域活動などが活発な市民自治の進んだまち 16.3	進修館をシンボルとしてコミュニティの充実したまち 15.9	大学を中心とした学園都市 14.2
平成 26 年度 (n=1,064)	安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち 56.0	東武動物公園を中心としたレジャーのまち 38.3	安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち 37.2	田園風景の残る環境に恵まれたまち 24.7	近所の助け合いやボランティア活動、地域活動などが活発な市民自治の進んだまち 17.7	大型店を中心とした賑わいのあるまち 17.3	進修館をシンボルとしてコミュニティの充実したまち 15.5	大学を中心とした学園都市 13.9
平成 21 年度 (n=1,262)	安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち 59.7	安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち 36.8	東武動物公園を中心としたレジャーのまち 32.3	田園風景の残る環境に恵まれたまち 28.9	近所の助け合いやボランティア活動、地域活動などが活発な市民自治の進んだまち 19.3	進修館をシンボルとしてコミュニティの充実したまち 17.3	水と親しめる水辺づくりでうるおいのあるまち 15.1	市民農園など、土・自然と親しめるまち 14.7

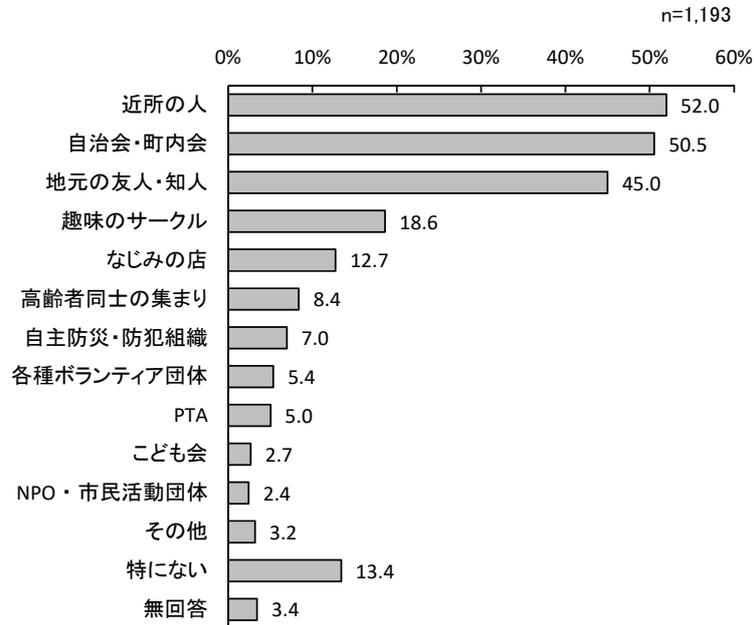
〈経年比較〉

経年で比較すると、それほど大きな変化はないものの、「大型店を中心としたにぎわいのあるまち」が微増、「近所の助け合いやボランティア活動、地域活動などが活発な市民自治の進んだまち」が微減となっている。

5 地域活動について

(1) 地域でつながりのある人、団体等

問 14 あなたが、実際に地域でつながっている人、団体等はどれですか。
(あてはまるもの全てに○)



〈全体〉

地域でつながりのある人、団体等は、「近所の人」52.0%、「自治会・町内会」50.5%、「地元の友人・知人」45.0%が5割前後と高く、「趣味のサークル」18.6%、「なじみの店」12.7%などが続く。

単位：%

属性	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	特にない
男性 (n=493)	自治会・町内会 51.5	近所の人 47.7	地元の友人・知人 41.6	趣味のサークル 18.1	なじみの店 15.2	自主防災・防犯組織 8.5	高齢者同士の集まり 6.9	各種ボランティア団体 6.1	13.6
女性 (n=543)	近所の人 57.1	自治会・町内会 49.0	地元の友人・知人 47.9	趣味のサークル 18.4	なじみの店 10.1	PTA／高齢者同士の集まり 8.1	自主防災・防犯組織 4.8		13.4

〈性別〉

男性では「自治会・町内会」、女性では「近所の人」が1位にあげられており、「近所の人」「地元の友人・知人」では女性が男性を大きく上回る。また、上位にあげられた項目の中で、男女差が比較的大きいのは「なじみの店」「自主防災・防犯組織」「PTA」などである。

II 住民意識調査 調査結果

単位：％

属性	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	特にない
20歳代以下 (n=79)	地元の友人・知人 40.5	近所の人 34.2	自治会・町内会 17.7	なじみの店 8.9	趣味のサークル 6.3	各種ボランティア団体 2.5	PTA／高齢者同士の集まり／NPO・市民活動団体／自主防災・防犯組織	1.3	30.4
30歳代 (n=117)	近所の人 56.4	地元の友人・知人 40.2	自治会・町内会 34.2	PTA 16.2	なじみの店 13.7	こども会 10.3	趣味のサークル／各種ボランティア団体	1.7	21.4
40歳代 (n=144)	近所の人 48.6	自治会・町内会 36.8	地元の友人・知人 36.1	PTA 21.5	なじみの店 15.3	こども会 11.1	趣味のサークル 4.2	NPO・市民活動団体／各種ボランティア団体 3.5	21.5
50歳代 (n=146)	近所の人 50.0	自治会・町内会 45.9	地元の友人・知人 43.8	なじみの店 15.1	趣味のサークル 8.2	自主防災・防犯組織 4.8	PTA／各種ボランティア団体 2.7		16.4
60歳代 (n=250)	自治会・町内会 65.6	近所の人 52.4	地元の友人・知人 48.8	趣味のサークル 23.2	なじみの店 10.0	自主防災・防犯組織 7.2	各種ボランティア団体 6.8	高齢者同士の集まり 5.2	10.0
70歳代以上 (n=447)	自治会・町内会 57.9	近所の人 55.9	地元の友人・知人 48.5	趣味のサークル 30.6	高齢者同士の集まり 18.8	なじみの店 13.0	自主防災・防犯組織 11.6	各種ボランティア団体 7.4	6.7

〈年齢別〉

20歳代以下では「地元の友人・知人」、30歳代から50歳代では「近所の人」、60歳代以上では「自治会・町内会」が1位にあげられており、「自治会・町内会」は70歳以上を除き、年代が上がるほど比率が高くなっている。また、若い年代ほど「特にない」の比率が高い。

そのほか、全体と比較すると、30歳代から40歳代で「PTA」「こども会」、60歳代以上で「自治会・町内会」「趣味のサークル」などの比率が高い。

単位：％

属性	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	特にない
5年未満 (n=122)	近所の人 41.0	自治会・町内会 27.0	地元の友人・知人 18.9	なじみの店 9.0	PTA 5.7	趣味のサークル 4.9	こども会 4.1	NPO・市民活動団体 1.6	37.7
5～9年 (n=79)	近所の人 58.2	自治会・町内会 44.3	地元の友人・知人 31.6	PTA 19.0	なじみの店 13.9	こども会 10.1	趣味のサークル 5.1	各種ボランティア団体 3.8	13.9
10～19年 (n=119)	近所の人 51.3	地元の友人・知人 41.2	自治会・町内会 40.3	PTA 15.1	なじみの店／趣味のサークル 10.9	こども会 5.0	高齢者同士の集まり 4.2		16.8
20年以上 (n=856)	自治会・町内会 56.1	近所の人 53.2	地元の友人・知人 50.9	趣味のサークル 22.9	なじみの店 13.7	高齢者同士の集まり 10.9	自主防災・防犯組織 9.0	各種ボランティア団体 6.5	9.6

〈居住年数別〉

20年未満では「近所の人」、20年以上では「自治会・町内会」が1位にあげられている。上位3項目について年代別にみると、「自治会・町内会」「地元の友人・知人」の比率は20年以上で最も高くなっているものの、「近所の人」の比率は5～9年で最も高くなっている。一方、「特にない」の比率は5年未満で4割近くと高い。

Ⅱ 住民意識調査 調査結果

単位：%

属性	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	特にない
東～姫宮 (n=156)	自治会・町内会 60.3	近所の人 55.1	地元の友人・知人 53.2	なじみの店／趣味のサークル 17.9	高齢者同士の集まり 10.3	自主防災・防犯組織 9.0	PTA／各種ボランティア団体 4.5	12.2	
川端 (n=96)	自治会・町内会 46.9	近所の人 41.7	地元の友人・知人 38.5	なじみの店 19.8	趣味のサークル 18.8	高齢者同士の集まり／自主防災・防犯組織 10.4	PTA 5.2	21.9	
宮東・中島 (n=84)	自治会・町内会 58.3	地元の友人・知人 53.6	近所の人 51.2	趣味のサークル 17.9	高齢者同士の集まり 11.9	自主防災・防犯組織 9.5	なじみの店 7.1	PTA／各種ボランティア団体 3.6	14.3
東姫宮 (n=69)	近所の人 55.1	自治会・町内会 53.6	地元の友人・知人 36.2	趣味のサークル 30.4	各種ボランティア団体 10.1	高齢者同士の集まり 8.7	なじみの店／自主防災・防犯組織 7.2	7.2	
道佛 (n=77)	近所の人 59.7	地元の友人・知人 39.0	自治会・町内会 29.9	趣味のサークル 11.7	なじみの店 7.8	PTA 5.2	こども会 3.9	各種ボランティア団体／自主防災・防犯組織 2.6	18.2
百間 (n=72)	自治会・町内会 50.0	近所の人 40.3	地元の友人・知人 38.9	趣味のサークル 13.9	なじみの店／PTA 9.7	各種ボランティア団体 6.9	こども会／自主防災・防犯組織 5.6	20.8	
宮代～本田 (n=199)	近所の人 50.3	地元の友人・知人 43.7	自治会・町内会 40.7	なじみの店 15.6	趣味のサークル 15.1	高齢者同士の集まり 10.6	各種ボランティア団体 6.5	PTA 6.0	16.1
学園台 (n=59)	自治会・町内会 59.3	地元の友人・知人 52.5	近所の人 50.8	趣味のサークル 27.1	PTA／高齢者同士の集まり 8.5	なじみの店 6.8	こども会／各種ボランティア団体 5.1	10.2	
東条原～国納 (n=104)	近所の人 58.7	地元の友人・知人 54.8	自治会・町内会 50.0	趣味のサークル 16.3	自主防災・防犯組織 12.5	なじみの店 11.5	高齢者同士の集まり 9.6	PTA 6.7	6.7
大字和戸 (n=89)	近所の人 57.3	自治会・町内会 53.9	地元の友人・知人 40.4	趣味のサークル 16.9	なじみの店 10.1	自主防災・防犯組織 7.9	各種ボランティア団体 5.6	高齢者同士の集まり 4.5	5.6
和戸 (n=85)	近所の人 51.8	自治会・町内会 45.9	地元の友人・知人 36.5	趣味のサークル 18.8	なじみの店 12.9	自主防災・防犯組織 7.1	PTA／高齢者同士の集まり 4.7	15.3	
宮代台 (n=84)	自治会・町内会 67.9	近所の人 52.4	地元の友人・知人 51.2	趣味のサークル 27.4	なじみの店 14.3	高齢者同士の集まり 9.5	自主防災・防犯組織 8.3	各種ボランティア団体 7.1	8.3

〈居住地域別〉

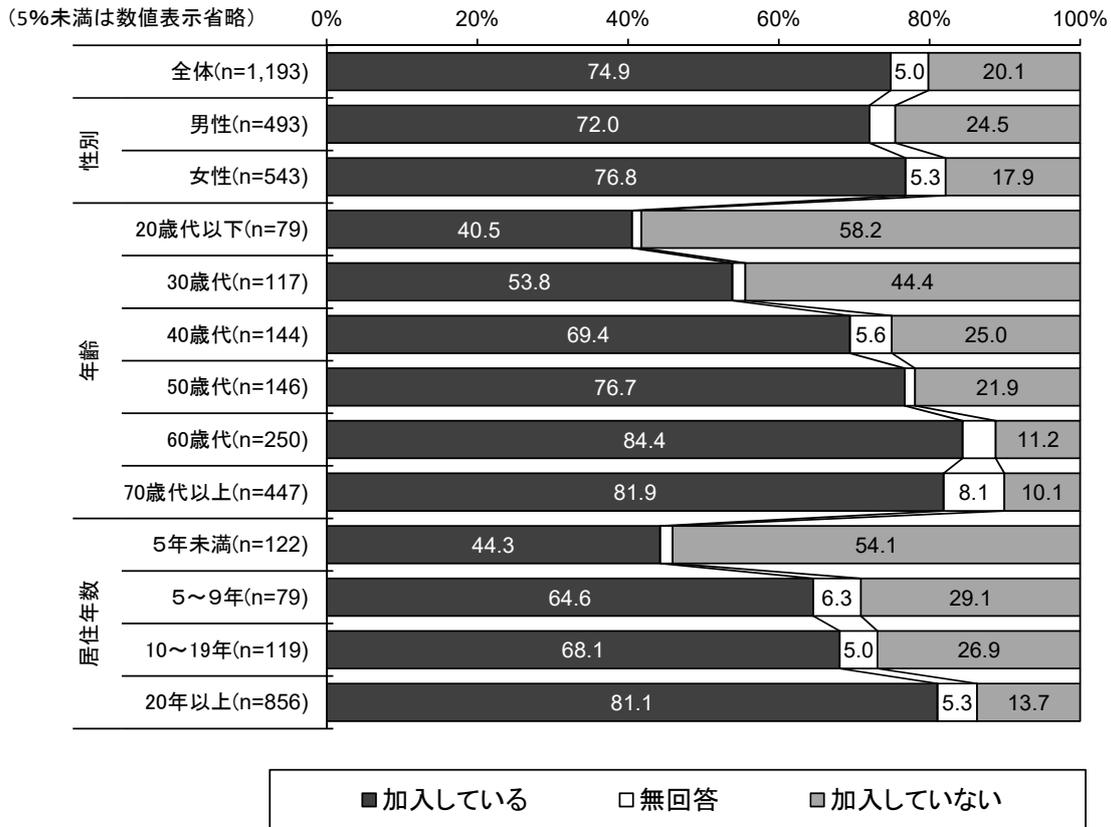
全ての地域で「近所の人」または「自治会・町内会」のいずれかが1位にあげられており、中でも道佛、東条原～国納、大字和戸で「近所の人」、東～姫宮、宮東・中島、学園台、宮代台で「自治会・町内会」の比率が高くなっている。「自治会・町内会」の比率は、いずれの地域でも概ね4割以上となっているものの、道佛では約3割と低くなっている。また、川端、百間、道佛では「特にない」の比率がやや高い。

そのほか、全体と比較すると、東姫宮、学園台、宮代台で「趣味のサークル」、川端で「なじみの店」、東条原～国納で「自主防災・防犯組織」、東姫宮で「各種ボランティア団体」の比率がやや高い。

II 住民意識調査 調査結果

(2) 自治会・町内会の加入状況

問 15 あなたは、自治会・町内会に加入していますか。(1つに○)



〈全体〉

自治会・町内会の加入状況は、「加入している」74.9%に対し、「加入していない」20.1%である。

〈性別〉

「加入している」の比率は女性が男性を約5ポイント上回り、「加入していない」の比率についても男性の方が高い。

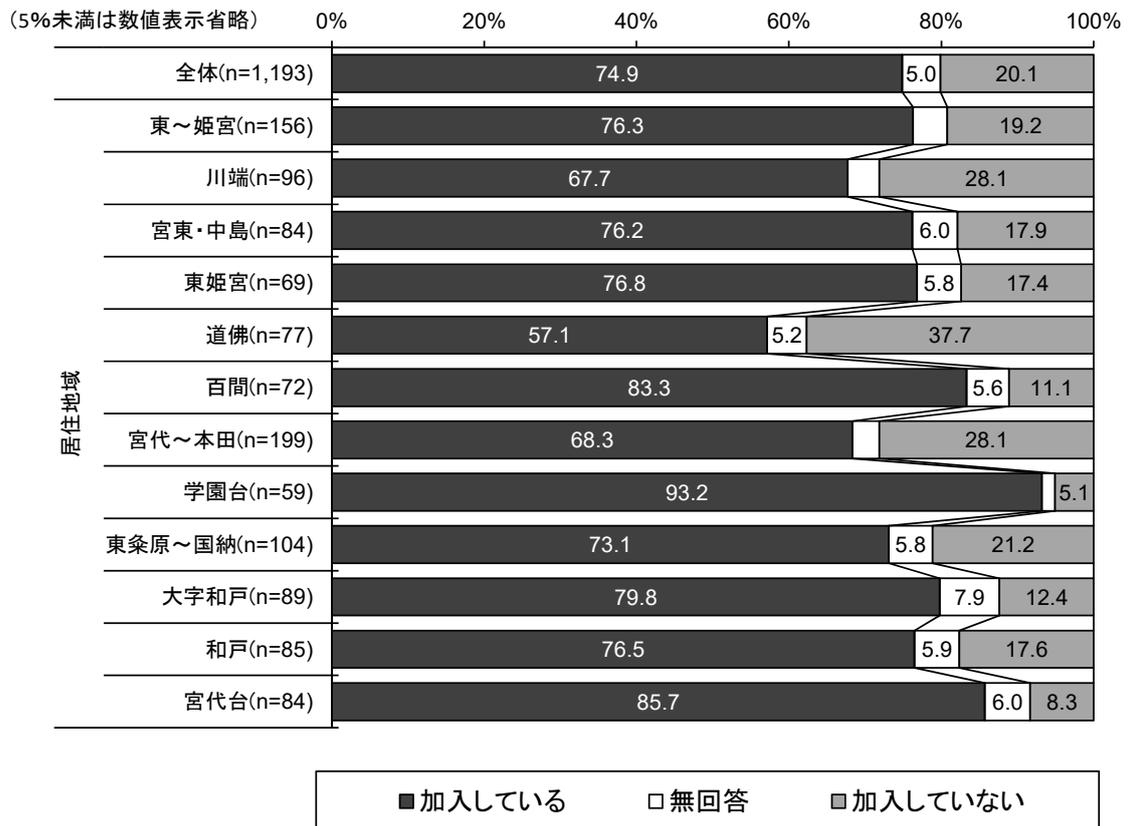
〈年齢別〉

「加入している」の比率は、70歳代以上を除き、年代が上がるほど高く、60歳代以上では8割を超える。一方、20歳代以下では「加入していない」が6割近く、30歳代でも4割台半ばの方が「加入していない」と回答している。

〈居住年数別〉

「加入している」の比率は、居住年数が長いほど高く、20年以上では8割を超える。一方、5年未満では「加入していない」が「加入している」を上回り、5割台半ばとなっている。

Ⅱ 住民意識調査 調査結果



〈居住地域別〉

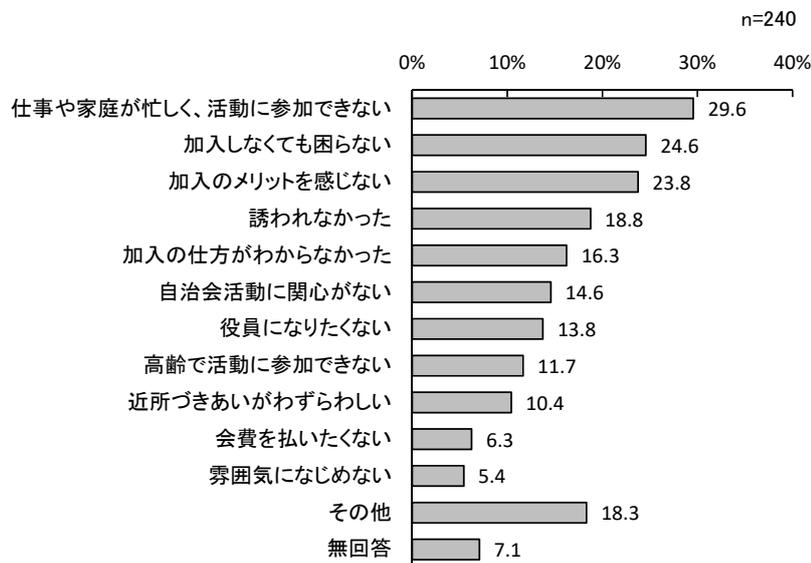
全ての地域で「加入している」が「加入していない」を上回り、特に学園台、宮代台、百間、大字和戸で加入率が高い。一方、道佛、川端、宮代～本田では加入率が低くなっている。

II 住民意識調査 調査結果

(3) 自治会・町内会に加入していない理由

問 15 で「2. 加入していない」と回答した方にうかがいます

問 16 あなたが、自治会・町内会に加入していない理由は何ですか。(3つまで○)



※その他として、「アパートだから」「親が加入している」「引っ越してきたばかりだから」などの回答があげられている。

〈全体〉

自治会・町内会に加入していない理由は、「仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない」29.6%、「加入しなくても困らない」24.6%、「加入のメリットを感じない」23.8%が上位にあげられ、「誘われなかった」18.8%、「加入の仕方がわからなかった」16.3%などが続く。

単位：%

属性	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=121)	仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない 38.0	加入のメリットを感じない／加入しなくても困らない 28.1		誘われなかった 22.3	加入の仕方がわからなかった 14.9
女性 (n=97)	仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない 22.7	加入の仕方がわからなかった 20.6	加入しなくても困らない 19.6	加入のメリットを感じない 17.5	近所づきあいがわずらわしい／誘われなかった 15.5

〈性別〉

男女ともに「仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない」が1位にあげられているが、その比率は男性が女性を大きく上回る。また、上位にあげられた項目の中で、男性が女性を上回るのは「加入のメリットを感じない」「加入しなくても困らない」「誘われなかった」などである。一方、女性が男性を上回るのは、「加入の仕方がわからなかった」「近所づきあいがわずらわしい」などである。

Ⅱ 住民意識調査 調査結果

単位：%

属性	1位	2位	3位	4位	5位
20歳代以下 (n=46)	仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない 32.6	誘われなかった 21.7	加入のメリットを感じない 19.6	加入しなくても困らない／自治会活動に関心がない 17.4	
30歳代 (n=52)	仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない 38.5	加入の仕方がわからなかった 30.8	誘われなかった 25.0	加入しなくても困らない 19.2	自治会活動に関心がない 17.3
40歳代 (n=36)	仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない 44.4	加入のメリットを感じない 30.6	加入しなくても困らない 27.8	加入の仕方がわからなかった 22.2	誘われなかった 19.4
50歳代 (n=32)	加入のメリットを感じない／加入しなくても困らない 31.3	仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない 28.1	誘われなかった 18.8	加入の仕方がわからなかった／自治会活動に関心がない 9.4	
60歳代 (n=28)	加入のメリットを感じない／加入しなくても困らない／役員になりたくない 28.6	仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない 21.4	高年齢で活動に参加できない／誘われなかった 17.9		
70歳代以上 (n=45)	高齢で活動に参加できない 48.9	加入のメリットを感じない／加入しなくても困らない 28.9	役員になりたくない 24.4	自治会活動に関心がない 15.6	

〈年齢別〉

属性別の回答者数が少ないため単純に比較はできないが、40歳代以下では「仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない」、50歳代から60歳代では「加入のメリットを感じない」「加入しなくても困らない」、70歳代以上では「高齢で活動に参加できない」が1位にあげられている。また、60歳代以上では「役員になりたくない」の比率も高い。

そのほか、全体と比較すると、30歳代以下で「自治会活動に関心がない」の比率がやや高い。

単位：%

属性	1位	2位	3位	4位	5位
5年未満 (n=66)	誘われなかった 34.8	仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない 31.8	加入の仕方がわからなかった 30.3	加入しなくても困らない 16.7	自治会活動に関心がない 15.2
5～9年 (n=23)	加入しなくても困らない 26.1	加入のメリットを感じない 21.7	加入の仕方がわからなかった／誘われなかった 21.7	仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない／会費を払いたくない 17.4	
10～19年 (n=32)	仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない 34.4	加入しなくても困らない 25.0	加入のメリットを感じない 21.9	誘われなかった 15.6	近所づきあいがわずらわしい 12.5
20年以上 (n=117)	加入のメリットを感じない 30.8	仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない 29.9	加入しなくても困らない 29.1	高齢で活動に参加できない 19.7	役員になりたくない 18.8

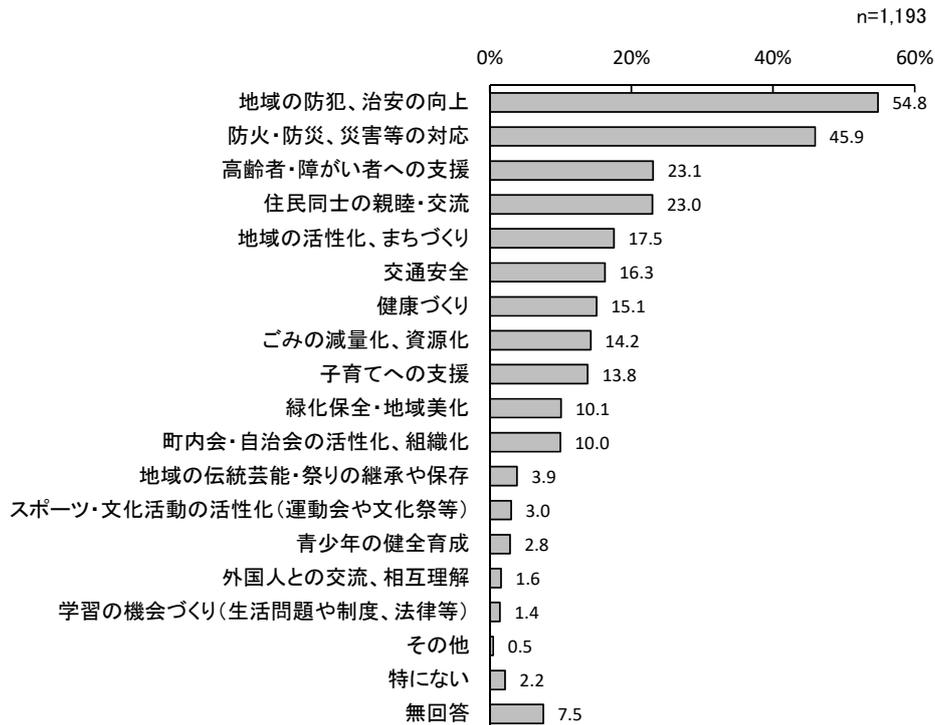
〈居住年数別〉

回答者数が少ない属性があるため単純に比較はできないが、5年未満では「誘われなかった」、5～9年では「加入しなくても困らない」、10～19年では「仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない」、20年以上では「加入のメリットを感じない」が1位にあげられている。また、居住年数が短いほど「誘われなかった」「加入の仕方がわからなかった」の比率が高く、居住年数が長いほど「加入のメリットを感じない」の比率が高いといった傾向がみられる。

II 住民意識調査 調査結果

(4) 重要だと思う地域活動

問17 あなたが、重要だと思う地域活動は何ですか。(3つまで○)



〈全体〉

重要だと思う地域活動は、「地域の防犯、治安の向上」54.8%、「防火・防災、災害等の対応」45.9%が5割前後と高く、「高齢者・障がい者への支援」23.1%、「住民同士の親睦・交流」23.0%などが続く。

単位：%

属性	1位	2位	3位	4位	5位	特にない
男性 (n=493)	地域の防犯、治安の向上 55.6	防火・防災、災害等の対応 47.5	住民同士の親睦・交流 23.5	高齢者・障がい者への支援 20.3	地域の活性化、まちづくり 18.5	1.8
女性 (n=543)	地域の防犯、治安の向上 55.6	防火・防災、災害等の対応 45.5	高齢者・障がい者への支援 23.9	住民同士の親睦・交流 21.2	地域の活性化、まちづくり 18.4	2.0
20歳代以下 (n=79)	地域の防犯、治安の向上 46.8	防火・防災、災害等の対応 32.9	子育てへの支援 29.1	交通安全 26.6	地域の活性化、まちづくり 22.8	15.2
30歳代 (n=117)	地域の防犯、治安の向上 51.3	防火・防災、災害等の対応 46.2	子育てへの支援 38.5	交通安全 26.5	地域の活性化、まちづくり 20.5	12.0
40歳代 (n=144)	地域の防犯、治安の向上 58.3	防火・防災、災害等の対応 46.5	交通安全 26.4	子育てへの支援 21.5	高齢者・障がい者への支援 20.1	7.6
50歳代 (n=146)	地域の防犯、治安の向上 54.8	防火・防災、災害等の対応 47.9	高齢者・障がい者への支援 27.4	地域の活性化、まちづくり 19.2	ごみの減量化、資源化 17.8	6.8
60歳代 (n=250)	地域の防犯、治安の向上 60.8	防火・防災、災害等の対応 47.2	住民同士の親睦・交流 32.4	高齢者・障がい者への支援 24.0	地域の活性化、まちづくり 22.0	4.0
70歳代以上 (n=447)	地域の防犯、治安の向上 52.6	防火・防災、災害等の対応 46.5	住民同士の親睦・交流 28.6	高齢者・障がい者への支援 26.8	健康づくり 24.2	7.4

〈性別〉

性別では一部順位の変動はあるものの、大きな差はない。

〈年齢別〉

全ての年代で「地域の防犯、治安の向上」が1位、「防火・防災、災害等の対応」が2位にあげられている。3位以下では、40歳代以下で「子育てへの支援」「交通安全」、50歳代で「高齢者・障がい者への支援」、60歳代以上で「住民同士の親睦・交流」などの比率が高くなっている。一方、「特にない」の比率は30歳代以下でやや高い。

単位：%

属性	1位	2位	3位	4位	5位	特にない
東～姫宮 (n=156)	地域の防犯、治安の向上 54.5	防火・防災、災害等の対応 49.4	住民同士の親睦・交流 28.8	健康づくり／地域の活性化、まちづくり 18.6		5.8
川端 (n=96)	地域の防犯、治安の向上／防火・防災、災害等の対応 53.1		高齢者・障がい者への支援 26.0	住民同士の親睦・交流 21.9	交通安全 19.8	6.3
宮東・中島 (n=84)	地域の防犯、治安の向上 52.4	防火・防災、災害等の対応 42.9	住民同士の親睦・交流 23.8	高齢者・障がい者への支援 19.0	交通安全／健康づくり 17.9	9.5
東姫宮 (n=69)	防火・防災、災害等の対応 56.5	地域の防犯、治安の向上 53.6	住民同士の親睦・交流 31.9	高齢者・障がい者への支援 27.5	健康づくり／ごみの減量化、資源化 20.3	10.1
道佛 (n=77)	防火・防災、災害等の対応 50.6	地域の防犯、治安の向上 48.1	交通安全 26.0	子育てへの支援 24.7	住民同士の親睦・交流 20.8	9.1
百間 (n=72)	地域の防犯、治安の向上 59.7	防火・防災、災害等の対応 48.6	高齢者・障がい者への支援 26.4	交通安全 25.0	住民同士の親睦・交流 23.6	1.4
宮代～本田 (n=199)	地域の防犯、治安の向上 56.3	防火・防災、災害等の対応 44.2	高齢者・障がい者への支援 24.6	地域の活性化、まちづくり 19.1	子育てへの支援 18.6	9.5
学園台 (n=59)	地域の防犯、治安の向上 74.6	防火・防災、災害等の対応 57.6	高齢者・障がい者への支援 22.0	健康づくり 16.9	地域の活性化、まちづくり 16.9	3.4
東条原～国納 (n=104)	地域の防犯、治安の向上 56.7	防火・防災、災害等の対応 43.3	住民同士の親睦・交流 26.9	高齢者・障がい者への支援 25.0	地域の活性化、まちづくり 18.3	7.7
大字和戸 (n=89)	地域の防犯、治安の向上 48.3	防火・防災、災害等の対応 32.6	高齢者・障がい者への支援／住民同士の親睦・交流 28.1		町内会・自治会の活性化、組織化 19.1	9.0
和戸 (n=85)	地域の防犯、治安の向上 44.7	防火・防災、災害等の対応 34.1	高齢者・障がい者への支援 27.1	住民同士の親睦・交流 24.7	地域の活性化、まちづくり 21.2	8.2
宮代台 (n=84)	地域の防犯、治安の向上 59.5	防火・防災、災害等の対応 46.4	高齢者・障がい者への支援 23.8	地域の活性化、まちづくり 21.4	交通安全 19.0	7.1

〈居住地域別〉

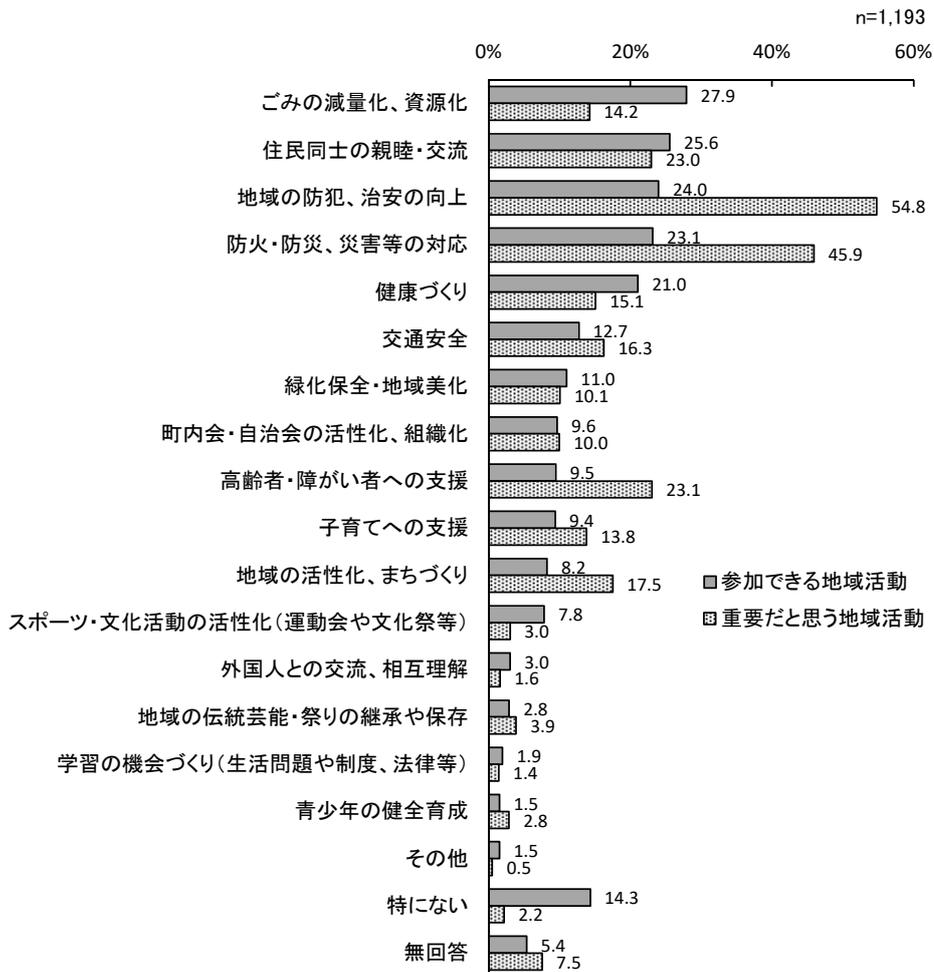
全ての地域で「地域の防犯、治安の向上」または「防火・防災、災害等の対応」のいずれかが1位にあげられており、中でも学園台、百間、宮代台で「地域の防犯、治安の向上」、学園台、東姫宮、道佛で「防火・防災、災害等の対応」の比率が高くなっている。一方、「特にない」の比率は、東姫宮、宮東・中島、宮代～本田などでやや高い。

そのほか、全体と比較すると、東～姫宮、東姫宮、大字和戸で「住民同士の親睦・交流」、道佛、百間で「交通安全」、道佛で「子育てへの支援」、大字和戸で「町内会・自治会の活性化、組織化」の比率がやや高い。

II 住民意識調査 調査結果

(5) 参加できる地域活動

問 18 あなたが、参加できる地域活動は何ですか。(3つまで○)



〈全体〉

参加できる地域活動は、「ごみの減量化、資源化」27.9%、「住民同士の親睦・交流」25.6%、「地域の防犯、治安の向上」24.0%、「防火・防災、災害等の対応」23.1%、「健康づくり」21.0%などが上位にあげられたのに対し、「特にない」は14.3%である。

重要だと思ふ地域活動として上位にあげられた「地域の防犯、治安の向上」「防火・防災、災害等の対応」は、参加できる地域活動としても上位にあげられたものの、「高齢者・障がい者への支援」「地域の活性化、まちづくり」は、参加できる地域活動の中では下位にとどまる。

Ⅱ 住民意識調査 調査結果

単位：%

属性	1位	2位	3位	4位	5位	特にない
男性 (n=493)	地域の防犯、治安の向上 30.0	防火・防災、災害等の対応 28.4	住民同士の親睦・交流 25.6	ごみの減量化、資源化 24.7	健康づくり 17.2	14.4
女性 (n=543)	ごみの減量化、資源化 31.9	住民同士の親睦・交流 24.1	健康づくり 22.3	地域の防犯、治安の向上 19.0	防火・防災、災害等の対応 18.6	15.7
20歳代以下 (n=79)	ごみの減量化、資源化／スポーツ・文化活動の活性化(運動会や文化祭等) 22.8		交通安全 20.3	健康づくり／子育てへの支援 16.5		24.1
30歳代 (n=117)	子育てへの支援 29.1	ごみの減量化、資源化 28.2	地域の防犯、治安の向上 24.8	防火・防災、災害等の対応 22.2	交通安全 19.7	19.7
40歳代 (n=144)	ごみの減量化、資源化 29.2	交通安全 20.8	地域の防犯、治安の向上 20.1	防火・防災、災害等の対応／住民同士の親睦・交流 19.4		18.8
50歳代 (n=146)	ごみの減量化、資源化 32.9	防火・防災、災害等の対応 26.7	地域の防犯、治安の向上 21.2	住民同士の親睦・交流 17.1	健康づくり 15.1	19.9
60歳代 (n=250)	住民同士の親睦・交流 31.6	ごみの減量化、資源化 30.8	地域の防犯、治安の向上 25.6	健康づくり 24.8	防火・防災、災害等の対応 20.8	11.6
70歳代以上 (n=447)	住民同士の親睦・交流 32.4	健康づくり 27.7	防火・防災、災害等の対応 26.6	地域の防犯、治安の向上 26.4	ごみの減量化、資源化 24.6	9.8

〈性別〉

男性では「地域の防犯、治安の向上」、女性では「ごみの減量化、資源化」が1位にあげられており、「地域の防犯、治安の向上」「防火・防災、災害等の対応」では男性が女性を、「ごみの減量化、資源化」では女性が男性を大きく上回る。

〈年齢別〉

20歳代以下と40歳代から50歳代で「ごみの減量化、資源化」、30歳代で「子育てへの支援」、60歳代以上で「住民同士の親睦・交流」が1位にあげられている。20歳代以下では「スポーツ・文化活動の活性化(運動会や文化祭等)」も同率1位となっているものの、全ての項目で回答率が低い傾向がみられ、「特にない」の比率は2割を超える。

そのほか、全体と比較して、40歳代以下で「交通安全」、70歳代以上で「健康づくり」などの比率が高くなっている。

II 住民意識調査 調査結果

単位：%

属性	1位	2位	3位	4位	5位	特にない
東～姫宮 (n=156)	住民同士の親睦・交流 32.7	ごみの減量化、資源化 32.1	防火・防災、災害等の対応 29.5	健康づくり 25.0	地域の防犯、治安の向上 20.5	14.1
川端 (n=96)	防火・防災、災害等の対応／ごみの減量化、資源化 26.0	地域の防犯、治安の向上 22.9	住民同士の親睦・交流 20.8	緑化保全・地域美化 16.7		20.8
宮東・中島 (n=84)	住民同士の親睦・交流 38.1	ごみの減量化、資源化 28.6	地域の防犯、治安の向上 27.4	健康づくり 26.2	防火・防災、災害等の対応 23.8	11.9
東姫宮 (n=69)	住民同士の親睦・交流 37.7	ごみの減量化、資源化 30.4	地域の防犯、治安の向上 26.1	健康づくり 24.6	防火・防災、災害等の対応 23.2	8.7
道佛 (n=77)	ごみの減量化、資源化 26.0	地域の防犯、治安の向上 24.7	防火・防災、災害等の対応／住民同士の親睦・交流 23.4	子育てへの支援 22.1		15.6
百間 (n=72)	ごみの減量化、資源化 27.8	住民同士の親睦・交流 26.4	防火・防災、災害等の対応 20.8	健康づくり 19.4	地域の防犯、治安の向上 18.1	16.7
宮代～本田 (n=199)	ごみの減量化、資源化 29.1	地域の防犯、治安の向上 24.1	住民同士の親睦・交流 23.1	防火・防災、災害等の対応 20.1	健康づくり 14.6	19.6
学園台 (n=59)	地域の防犯、治安の向上／ごみの減量化、資源化 35.6	防火・防災、災害等の対応 33.9	健康づくり 27.1	住民同士の親睦・交流 16.9		6.8
東条原～国納 (n=104)	住民同士の親睦・交流 27.9	健康づくり／ごみの減量化、資源化 26.9	地域の防犯、治安の向上 25.0	防火・防災、災害等の対応 21.2		10.6
大字和戸 (n=89)	健康づくり 28.1	地域の防犯、治安の向上 25.8	ごみの減量化、資源化 24.7	住民同士の親睦・交流 19.1	町内会・自治会の活性化、組織化 16.9	11.2
和戸 (n=85)	地域の防犯、治安の向上／防火・防災、災害等の対応 22.4	住民同士の親睦・交流／ごみの減量化、資源化 18.8	健康づくり 15.3			14.1
宮代台 (n=84)	ごみの減量化、資源化 27.4	地域の防犯、治安の向上／防火・防災、災害等の対応／交通安全 22.6	健康づくり 21.4			13.1

〈居住地域別〉

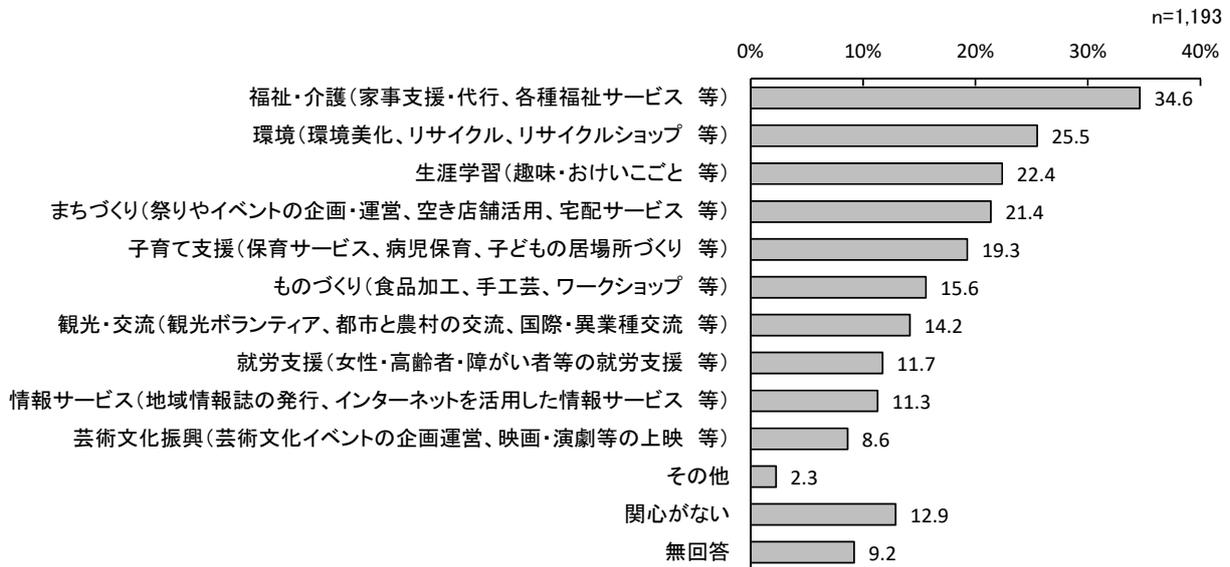
地域別で1位にあげられた項目の中では、東～姫宮、宮東・中島、東姫宮の「住民同士の親睦・交流」、学園台の「地域の防犯、治安の向上」「ごみの減量化、資源化」、大字和戸の「健康づくり」の比率が高くなっている。一方、「特にない」の比率は、川端、宮代～本田などでやや高い。

そのほか、全体と比較すると、道佛で「子育てへの支援」、大字和戸で「町内会・自治会の活性化、組織化」、宮代台で「交通安全」の比率がやや高い。

6 地域での働き方について

(1) コミュニティビジネスへの関心

問 19 地域の生活課題の解決の担い手として、「コミュニティビジネス」が広がりつつありますが、あなたは、どのような分野の「コミュニティビジネス」に関心がありますか。(3つまで○)



〈全体〉

関心があるコミュニティビジネスは、「福祉・介護」34.6%、「環境」25.5%、「生涯学習」22.4%、「まちづくり」21.4%、「子育て支援」19.3%などである。

単位：%

属性	1位	2位	3位	4位	5位	関心がない
男性 (n=493)	福祉・介護 34.3	環境 30.0	まちづくり 26.8	観光・交流 20.1	生涯学習 19.3	13.4
女性 (n=543)	福祉・介護 34.4	生涯学習 26.5	子育て支援 23.9	環境 21.5	ものづくり 19.7	13.1
20歳代以下 (n=79)	まちづくり／子育て支援 30.4		観光・交流 29.1	福祉・介護 21.5	情報サービス 17.7	19.0
30歳代 (n=117)	子育て支援 49.6	まちづくり 30.8	生涯学習 22.2	福祉・介護／情報サービス／ものづくり 19.7		8.5
40歳代 (n=144)	まちづくり 27.8	ものづくり／子育て支援 26.4		福祉・介護 25.0	生涯学習 22.9	16.7
50歳代 (n=146)	福祉・介護 42.5	観光・交流 23.3	環境 22.6	まちづくり 21.9	子育て支援 20.5	15.1
60歳代 (n=250)	福祉・介護 44.8	環境 35.6	生涯学習 27.2	まちづくり 19.6	ものづくり 16.4	13.6
70歳代以上 (n=447)	福祉・介護 34.9	環境 28.0	生涯学習 22.6	まちづくり 15.9	就労支援 11.0	11.0

〈性別〉

男女ともに「福祉・介護」が1位にあげられているものの、2位以下の順位は大きく異なる。上位にあげられた項目の中で、男性が女性を上回るのは「環境」「まちづくり」「観光・交流」などである。一方、女性が男性を上回るのは、「生涯学習」「子育て支援」「ものづくり」などである。

II 住民意識調査 調査結果

〈年齢別〉

特に40歳代以下で「子育て支援」「まちづくり」、50歳代から60歳代で「福祉・介護」の比率が高くなっている。「関心がない」の比率は、20歳代以下で最も高く、30歳代で最も低い。

そのほか、全体と比較して、20歳代以下と50歳代で「観光・交流」、40歳代で「ものづくり」、60歳代で「環境」などの比率が高くなっている。

単位：%

属性	1位	2位	3位	4位	5位	関心がない
東～姫宮 (n=156)	福祉・介護 42.3	環境 32.7	生涯学習 21.8	まちづくり 20.5	子育て支援 16.7	16.0
川端 (n=96)	環境 36.5	福祉・介護 34.4	子育て支援 19.8	まちづくり 17.7	観光・交流／生涯学習 15.6	12.5
宮東・中島 (n=84)	環境 35.7	福祉・介護 28.6	まちづくり／生涯学習 22.6		ものづくり 20.2	16.7
東姫宮 (n=69)	福祉・介護／生涯学習 30.4		環境 23.2	観光・交流 15.9	情報サービス 13.0	13.0
道佛 (n=77)	子育て支援 40.3	まちづくり 29.9	ものづくり／生涯学習 26.0		福祉・介護 23.4	10.4
百間 (n=72)	福祉・介護 43.1	環境 26.4	まちづくり／子育て支援 25.0		生涯学習 19.4	12.5
宮代～本田 (n=199)	福祉・介護 27.1	まちづくり 23.6	生涯学習 22.1	子育て支援 20.1	ものづくり 18.1	12.6
学園台 (n=59)	福祉・介護／環境／生涯学習 30.5			子育て支援 22.0	情報サービス 20.3	13.6
東桑原～国納 (n=104)	福祉・介護 35.6	まちづくり 30.8	子育て支援 20.2	環境／生涯学習 19.2		12.5
大字和戸 (n=89)	福祉・介護 40.4	環境／生涯学習 25.8		まちづくり 18.0	ものづくり 15.7	10.1
和戸 (n=85)	福祉・介護 40.0	環境 25.9	生涯学習 22.4	まちづくり 20.0	就労支援 18.8	11.8
宮代台 (n=84)	福祉・介護 39.3	環境 28.6	生涯学習 16.7	情報サービス 14.3	まちづくり／就労支援 13.1	14.3

〈居住地域別〉

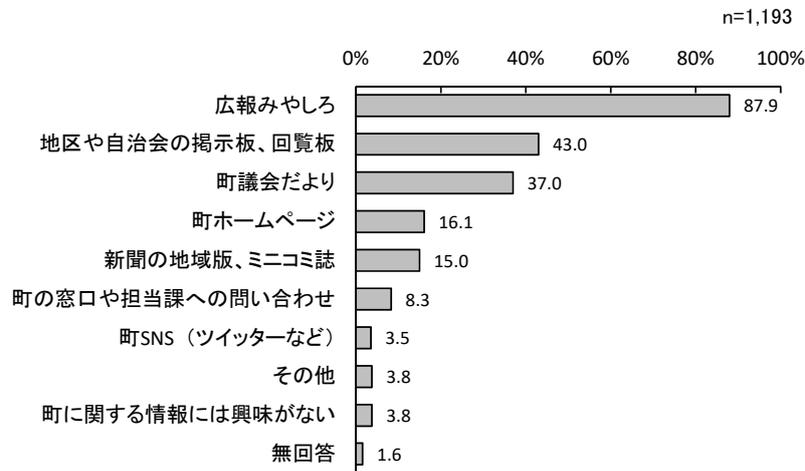
地域別で1位にあげられた項目の中では、東～姫宮、百間、大字和戸、和戸の「福祉・介護」、川端、宮東・中島の「環境」、道佛の「子育て支援」、東姫宮、学園台の「生涯学習」の比率が高くなっている。

そのほか、全体と比較すると、道佛、東桑原～国納で「まちづくり」、道佛で「ものづくり」、百間で「子育て支援」、学園台で「情報サービス」、和戸で「就労支援」の比率がやや高い。

7 町からの情報提供について

(1) 町に関する情報の入手先

問 20 あなたは、宮代町に関する情報を主にどこから得ていますか。
(あてはまるもの全てに○)



〈全体〉

町に関する情報の入手先は、「広報みやしろ」87.9%、「地区や自治会の掲示板、回覧板」43.0%、「町議会だより」37.0%、「町のホームページ」16.1%、「新聞の地域版、ミニコミ誌」15.0%などである。

単位：%

属性	1位	2位	3位	4位	5位	興味がない
男性 (n=493)	広報みやしろ 85.4	町議会だより 41.0	地区や自治会の 掲示板、回覧板 40.8	町ホームページ 19.1	新聞の地域版、ミ ニコミ誌 16.0	5.3
女性 (n=543)	広報みやしろ 89.3	地区や自治会の 掲示板、回覧板 45.5	町議会だより 32.8	町ホームページ 14.9	新聞の地域版、ミ ニコミ誌 12.5	2.8
20歳代以下 (n=79)	広報みやしろ 55.7	地区や自治会の 掲示板、回覧板 20.3	町ホームページ 19.0	町議会だより 7.6	町SNS(ツイッター など) 7.6	20.3
30歳代 (n=117)	広報みやしろ 76.1	地区や自治会の 掲示板、回覧板 32.5	町ホームページ 23.9	町議会だより 16.2	町SNS(ツイッター など) 11.1	6.8
40歳代 (n=144)	広報みやしろ 84.0	地区や自治会の 掲示板、回覧板 32.6	町議会だより 21.5	町ホームページ 21.5	町SNS(ツイッター など) 9.7	6.9
50歳代 (n=146)	広報みやしろ 86.3	地区や自治会の 掲示板、回覧板 39.0	町議会だより 33.6	町ホームページ 23.3	新聞の地域版、ミ ニコミ誌 11.0	4.8
60歳代 (n=250)	広報みやしろ 93.6	地区や自治会の 掲示板、回覧板 52.0	町議会だより 47.2	新聞の地域版、ミ ニコミ誌 17.2	町ホームページ 14.8	1.2
70歳代以上 (n=447)	広報みやしろ 95.1	地区や自治会の 掲示板、回覧板 49.7	町議会だより 48.5	新聞の地域版、ミ ニコミ誌 22.1	町の窓口や担当 課への問い合わせ 11.4	0.2

II 住民意識調査 調査結果

〈性別〉

男女ともに「広報みやしろ」が1位にあげられており、上位にあげられた項目の中で、男性が女性を上回るのは「町議会だより」「町ホームページ」「新聞の地域版、ミニコミ誌」などである。一方、女性が男性を上回るのは「広報みやしろ」「地区や自治会の掲示板、回覧板」である。

〈年齢別〉

全ての年代で「広報みやしろ」が1位にあげられており、その比率は60歳代以上で9割を超える。また、全体の上位3項目については、年代が上がるほどその比率が高まる傾向がみられる。一方、「町に関する情報には興味がない」の比率は、20歳代以下で約2割と特に高くなっている。

そのほか、全体と比較して、30歳代と50歳代で「町ホームページ」、30歳代と40歳代で「町SNS（ツイッターなど）」の比率がやや高い。

単位：%

属性	1位	2位	3位	4位	5位	興味がない
5年未満 (n=122)	広報みやしろ 67.2	町ホームページ 27.9	地区や自治会の 掲示板、回覧板 27.9	町議会だより 11.5	新聞の地域版、ミ ニコミ誌 11.5	10.7
5～9年 (n=79)	広報みやしろ 73.4	地区や自治会の 掲示板、回覧板 39.2	町議会だより 19.0	町ホームページ 16.5	新聞の地域版、ミ ニコミ誌 13.9	7.6
10～19年 (n=119)	広報みやしろ 84.0	地区や自治会の 掲示板、回覧板 38.7	町議会だより 25.2	町ホームページ 16.8	新聞の地域版、ミ ニコミ誌 5.9	2.5
20年以上 (n=856)	広報みやしろ 92.6	地区や自治会の 掲示板、回覧板 46.4	町議会だより 44.6	新聞の地域版、ミ ニコミ誌 17.1	町ホームページ 14.0	2.7

〈居住年数別〉

年齢別と同様に、全体の上位3項目については、居住年数が長いほどその比率が高まる傾向がみられる。一方、居住年数の短い5年未満では、「町ホームページ」の比率が特に高く、「町に関する情報には興味がない」の比率もやや高くなっている。

Ⅱ 住民意識調査 調査結果

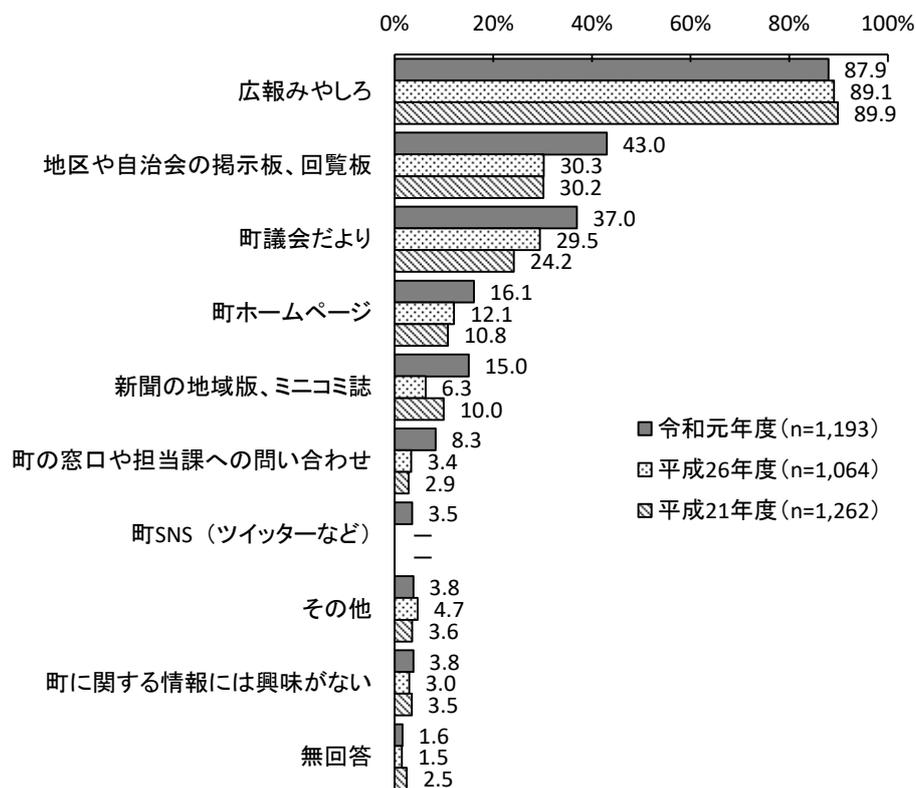
単位：%

属性	1位	2位	3位	4位	5位	興味がない
東～姫宮 (n=156)	広報みやしろ 85.3	地区や自治会の 掲示板、回覧板 45.5	町議会だより 42.9	町ホームページ 17.3	新聞の地域版、ミニ コミ誌 16.7	6.4
川端 (n=96)	広報みやしろ 87.5	地区や自治会の 掲示板、回覧板 37.5	町議会だより 32.3	新聞の地域版、ミ ニコミ誌 19.8	町ホームページ 12.5	2.1
宮東・中島 (n=84)	広報みやしろ 88.1	地区や自治会の 掲示板、回覧板 46.4	町議会だより 42.9	町ホームページ 16.7	新聞の地域版、ミニ コミ誌 13.1	2.4
東姫宮 (n=69)	広報みやしろ 95.7	地区や自治会の 掲示板、回覧板 43.5	町議会だより 33.3	新聞の地域版、ミ ニコミ誌 20.3	町ホームページ／町 の窓口や担当課への 問い合わせ 13.0	1.4
道佛 (n=77)	広報みやしろ 76.6	地区や自治会の 掲示板、回覧板 31.2	町議会だより 22.1	町ホームページ 18.2	町の窓口や担当課へ の問い合わせ／新聞 の地域版、ミニコミ誌 10.4	9.1
百間 (n=72)	広報みやしろ 90.3	地区や自治会の 掲示板、回覧板 50.0	町議会だより 38.9	町ホームページ 19.4	新聞の地域版、ミニ コミ誌 13.9	2.8
宮代～本田 (n=199)	広報みやしろ 82.9	町議会だより 30.7	地区や自治会の 掲示板、回覧板 30.2	町ホームページ 22.6	新聞の地域版、ミニ コミ誌 11.1	5.0
学園台 (n=59)	広報みやしろ 93.2	地区や自治会の 掲示板、回覧板 59.3	町議会だより 49.2	町ホームページ 20.3	新聞の地域版、ミニ コミ誌 20.3	0.0
東条原～国納 (n=104)	広報みやしろ 90.4	地区や自治会の 掲示板、回覧板 52.9	町議会だより 47.1	新聞の地域版、ミ ニコミ誌 10.6	町の窓口や担当課へ の問い合わせ 9.6	3.8
大字和戸 (n=89)	広報みやしろ 92.1	地区や自治会の 掲示板、回覧板 41.6	町議会だより 36.0	町ホームページ 14.6	新聞の地域版、ミニ コミ誌 14.6	0.0
和戸 (n=85)	広報みやしろ 89.4	地区や自治会の 掲示板、回覧板 42.4	町議会だより 32.9	新聞の地域版、ミ ニコミ誌 12.9	町ホームページ／町 の窓口や担当課への 問い合わせ 5.9	3.5
宮代台 (n=84)	広報みやしろ 94.0	地区や自治会の 掲示板、回覧板 59.5	町議会だより 41.7	新聞の地域版、ミ ニコミ誌 22.6	町ホームページ 16.7	4.8

〈居住地域別〉

全ての地域で「広報みやしろ」が1位にあげられており、特に東姫宮、学園台、宮代台などでその比率が9割を超えて高くなっているが、道佛では唯一7割台と低くなっている。また、ほぼすべての地域で「地区や自治会の掲示板、回覧板」が4割以上の比率を占めて2位にあげられているが、宮代～本田、道佛では約3割と低くなっている。「町に関する情報には興味がない」の比率をみると、道佛でやや高くなっている。

II 住民意識調査 調査結果



〈経年比較〉

今回の調査では「町 SNS (ツイッターなど)」の選択肢を追加し、回答できる項目数の制限をなくした（「2つに○」から「あてはまるもの全てに○」）ため単純な比較はできないが、上位にあげられた項目の順に大きな変化はみられない。

8 町の将来像について

(1) 町の将来像について

問 21 将来の宮代町の姿について、簡単な標語やキャッチフレーズで表現してください。また、その標語、キャッチフレーズについてのあなたの願いや、お考え等があればお書きください。

町の将来像について、1,193人中367人から提案があった。寄せられた標語・キャッチフレーズの年代別の内容は以下の通りである。

10代(回答数8件)

安心のまち みやしろ
 人材の育成による地域活性化
 季節を感じる自然豊かな町みやしろ
 埼玉の田園調布
 A free city full of greenery～笑顔の輪を広げる～
 ありそうでない町、宮代
 がんばれ宮代
 Smile Community Town

老若男女に優しい街
 懐かしさと新しさのある町宮代町
 ずっとキラキラ輝ける街みやしろ
 田園未来都市みやしろ
 どの世代もゆったり過ごせる町
 皆で作ろう、宮代マーケット！皆で行こう、みやしろマーケット！
 古き良き町
 世界のどこにもない自然共生で持続可能な町
 子どもにやさしいまち

20代(回答数19件)

いろいろなのがすこしだけあるぞ！みやしろ！
 さわやかな風吹く緑豊かな自然残る宮代町
 ペットと暮らせる街
 古き良き宮代町
 人と人が繋がる町 宮代
 緑あふれるクリーンな街！宮代！
 自然や動物が身近な町
 笑う町民！輝く宮代！
 自然との共存
 きらきら輝く子供をみんなで支えよう！育てよう！
 自然いっぱい宮代町！
 大人も子供も過ごしやすい町
 駅から広がるにぎわいのまち
 緑のまち、宮代
 自然がたくさん宮代町
 若者が空気を創る宮代町
 みんながにこにこHOT 宮代
 みんなと一緒に頑張ろう宮代！
 安心安全の町 宮代町

誰もが安全安心に暮らせる町
 人と自然が共生する町
 助け合い笑顔生まれる共生社会
 つながろう人と人、自然がやさしく輝くまちで
 世代を超えて住みやすい町
 過ごしやすい町 宮代町
 ここにいるよ宮代町
 玉手箱の町
 緑豊かな宮代町！
 懐かしい風景がある町
 安心・安全・きらきら輝^{ひか}る町
 駅ビルで活性化、便利になった宮代
 どうぶつニコニコ こどもニコニコ みんなニコニコ宮代町！
 おもしろみやしろ
 ちょうど良い町
 花のあふれる宮代
 かがやけ宮代ーやさしさ大切、みんなで守ろう
 緑と水辺そして人。誰もがかがやく宮代町
 自然豊かな宮代町で！子育ても！老後も！
 緑豊かな町 宮代

30代(回答数42件)

安全な環境で、みんなのおかげで感謝します
 世代を超えて誰もが住みやすい宮代町
 住んだら良いトコ 宮代
 緑あるビジネスパーク
 住みやすい町 おもしろい町

エコな町みやしろ町
 明るい町づくり
 笑顔あふれる町
 あいさつで えがおまんかい 宮代町
 足がない、老人孤独死、過疎化する
 自然豊か、ウェルカム、ていねい

II 住民意識調査 調査結果

いつでもどこでも 笑顔があふれる町
大人になっても宮代町に住み続けよう！

40代(回答数 52件)

①宮代は MIYASHIRO へ。②人の輪で時代を繋ぐ宮代町

安全安心がどこにでもある街
宮代の 町民誰も ハナレンジャー(離れん)
いろいろな年代の人たちとのつながりがある町
パワースポットの町。宮される町。宮代パワースポット。
公平な町、みやしろ
子育てや高齢者に優しい宮代、スマホ自転車をなくそう！
自然豊かな住みやすい町
障がい者と健常者との共存
街と田舎
文化香る田園の町
きやっせ宮代
トロの住む町宮代
未来につなぐ町民参加の町づくり
やさしい宮代
家族の町
だれひとり取り残されないまち
緑と共に悠久の時を刻む宮代町を目指して
未来の明るいみやしろ
住めばみやしろ
子供から高齢者までが充実した生活が送れる町
近所の人とほどよくつながるすみよいまち
コンパクトさがちょうど良い。古き良き新しい宮代町。
『緑かがやくコンパクトシティ』が気に入っているので、思い浮かびません。
安心して子育てできる町！宮代町
自然豊かで幅広い世代の共生
寄りそえる町、宮代
みどりあふれる、やすらぎの町。しき(四季)を感じられる、ろまん(ロマン)あふれる里。
豊かな街
ほどほどに田舎ほどほどに都会
生活に便利な田舎暮らし
高齢者に一番優しい町
駅へ降りた時から「ただいま」と言える安全で、人の暮らしの見える町
3世代が穏やかに笑顔で暮らせる宮代町
みんなで安心のまちづくり
人も自然も。いきいき宮代。
みんなが穏やかに暮らせる町
○みんなに○やさしい○しあわせいっぱい○ろーか
るタウン

住みたくなる町
緑とともにのびのび生きよう 宮代町
宮代でココロもカラダも大きくなあれ♪
「ホタルの町・宮代」
輝け宮代！
幸福度 No.1 の町へ 宮代
安心な町づくり
発展性のある町づくり
子供とお年寄りの笑顔を守る町
住むのにちょうどいい宮代町
住んでよかった宮代町
使えるじゃん みやしろ！
世代を問わずつながりのある町
安全・安心に暮らせる街「宮代」

50代(回答数 51件)

自然豊かな安らぎの町
未来都市 Miyashiro
自然と共生する街
住みよい街
田と街の折衷
人に優しい平和を愛する町
残そうよ 今の宮代 未来に向けて
緑と水の宮代町
ふるさと宮代町
情報が少なく分らない
農ある街づくり
”自然体の町”宮代
生き物と共存する町
和み憩うまちみやしろ
豊かな自然と美しい街並み みやしろ
安心・安全・ゆとりの宮代
子供が集まるまち、宮代
小さくても大きなチャンスのある町
「ZOO っとパートナー」宮代
輝け県内 No,1
合併して「市」へ
巨峰作り「明るく元気に前向きに」
住んでここち良い街、安心して暮らせる街
水とみどりの町みやしろ
自然あふれる宮代
自然と友達になれる町
ナチュラル ミヤシロ！
発展は春日部にまかせて今の宮代を残してほしい
姫宮なな子
やっぱ。宮代だべ！
のどかだから住み良い宮代町
スマイルライフ

安心と安全な生活
 医療充実
 税収入による財源確保と住民のための生活の質の向上を図る
 豊かな自然の中で安心して子どもを育てられる町
 自然と住みやすさ
 安心して暮らせる宮代町
 ずっと住みたい町
 生き生き暮らせる町、宮代
 0才から100才まで！笑顔あふれる宮代！
 老若男女みな仲良く！
 埼玉のウブドゥを目指せ！！
 「やっぱ宮代でしょ！」
 高齢者、障がい者にやさしい町
 美しい宮代町へ
 一日楽しく過ごせる町(大人も子どもも)
 それぞれの花を咲かせよう、この町で。
 住民一人一人を大切にする町→宮代
 ”自然の中で豊かな生活を送れる空間” 宮代町
 安心して暮らせるまち

60代(回答数 79件)

笑顔で挨拶
 小さくてもきらりと輝く町
 “生きるを再発見”宮代
 若者が住みたい町 宮代
 町から市へ
 まだまだある田舎の原風景
 各世代の安心を実現する街
 静かな老後を過ごす町
 元気に育つ子供たちの宮代町
 自然や川の風景が残る街
 桜並木と川のある街
 生きがいを感じ活気あふれるまち
 子育てしやすい町
 人が集う町「宮代」
 竪穴式住宅の残る水の街、宮代
 町民幸福度県一位の町
 笑顔と挨拶の町 宮代
 町民優先のコンパクトシティ
 ・(大家族のような町)昔の子供、今の子供、未来の子供が伸び伸び
 ・動物もいる、バッタもいる、蛙もいる町(日本のガラパゴス)
 ・3駅あり、4季あり、5感あり(自然は買えないが、自然に帰ることはできる)
 フレッシュタウン
 明るい農村

水と緑に癒やされる文化都市 宮代！
 感謝を忘れず、見くばり、気くばり、思いやりのある町
 はなっ子みやしろ さくらの子
 動物公園、毎日歩いて行ける私の縄張り
 安心して住める町
 やさしい町宮代
 幸福感が見える町づくり
 久喜と春日部の間に宮代町あり
 宮代町を皆さんで作ろう
 自然豊かな農地、森林、保全
 笑顔で語り合う仲間達がいる
 緑豊かな町
 安心、安全、安易な生活
 自然あふれる町宮代
 緑豊かなくらしの町
 緑と笑顔があふれる豊かな街 緑と笑顔が広がる住み良い街へ
 壊すな環境 緑を守れ
 長寿の生きやすさ、子供の元気な姿が、見られる町
 自然とともに生きる町・宮代
 人に優しい美しく、環境の整った町
 風が通る緑の街、宮代
 人がやさしい宮代
 親も子も育つ町
 声をかけあえるやさしいまち
 いきいき暮らす住み良い街
 未来が明るい宮代町
 空気がおいしい宮代町へようこそ
 宮代最高！！
 一人一人が生き生きと輝くまち宮代
 宮代って！
 星と桜のきれいな宮代
 しんちゃんの隣の町が宮代町です
 見はらしの良い町
 元気のある町 宮代
 緑豊かな田園都市
 住みやすく働きやすい宮代
 農と文化の町、宮代
 医師が少ない どうするの
 輝け！水と緑の宮代で
 とんりのあなたと助け合う心
 子育てするなら宮代でしょ！
 住みたくなる町 No.1 ミヤシロ
 日工大とコラボした町づくり
 自然にとけ込む町それが宮代町
 自然が美しい町
 好奇心を持って元気な高齢者になろう！
 優しい心で町づくり

II 住民意識調査 調査結果

自然が豊かでみんなにやさしい町
ちっちゃくてもあったかい町
町民と和と知恵で町おこし！
自然が豊かで全ての世代にとって住み良い町
子育て環境の良さと住民がたすけあえる環境を！
0才～100才まで安心して暮らせる町
自然豊かなふるさと造り
宮代 イイネ
がんばれ宮代

70代以上（回答数 112件）

翔んで埼玉、弾んで宮代
子供アミューズメントパーク宮代！
穏やかな宮代
緑豊かな宮代に安心して暮らせる環境を！
安心の町
自然と先進農業の町
明るく元気な宮代町
清々しい風の街、野鳥と遊ぶ里
美しい町
若返る町、宮代
自然豊かな清潔な町
住みやすい町
安心安全水害のない町
来てレインボー宮代
自然を生かした地域作り
安心安全で住みやすい町
住み良い環境の充実した町
キラリと光る宮代町
皆でつくろう！住みよい宮代町を
みんな にこにこ たすけあい
東京の中心に近いベッドタウン宮代
①町内にパチンコ屋、レストランのない素朴な町
②埼玉東部に位置する郡の町
③ガラパゴスな町
「ほっと」する町
身の丈を高く太くする
新しい町づくりは関心を持つこと、さあ新しい宮代を作ろう！
明るいきれいな宮代町
宮代町、道路と共に発展しよう。
自然豊かで明るく未来ある宮代町をつくろう
生かせ 生かそう 宮代の自然と立地
緑あふれる町宮代
こつぶ（小粒）な町 大きな希望 でっかい未来のできる町 宮代
問題、苦情、早めに対応 宮代町
手をつなぎ行動する町

住民が生き生きと生活できるコンパクトシティ
みんなが やさしく しあわせの ろうご
子どもから高齢者まで安心して暮らせるまち
安心・安全に対し誇れる町
年若いでも安心して暮らせる町、みやしろ
高齢者福祉と少子化対策
大粒で食べて美味しい巨峰ぶどう、小粒でも住みや
すさ充実宮代町。
ハイセンスな街づくり
自然を大切に作る緑の宮代町
住み良い暮らしよい平和な宮代町
ユニークな町づくり
“お住まいは”と聞かれて「宮代町」と胸を張って言える町
都会に近い田舎町
緑と健康の町
健康で自然豊かな町づくり
災害の少ない町
誰にでもやさしい楽しい町づくり
声かけて 宮代
子どもにやさしい町、それはみんなにやさしい町！
町の歴史を知ろう
宮代町は陸の孤島
水と緑豊かな住みよい町
人にやさしい思いやりのある街
貴方の住む町良い町。
住みやすい地域づくり
いいじゃん！宮代
こまち（小町）みやしろ ららみやしろ あまり古い遺産
はないけれど、ユニークな新しい村など 未来型の明
るい町の方 進修館 デザインはいいけれどちょっ
と暗い感じなのでもう少し明るい感じに
安心して住める町
都心に電車一本、豊かな自然 みやしろまち
住んで良かった宮代町
木下闇翁も媪も打ち集う
“隣近所助けあう町”
①「おはよう」の挨拶一つで心晴れ晴れ②挨拶は安く
て良く利くサブプリです。
女性の味方 優しい町
豊かな自然と教育環境のコラボレーション
皆で子育て 皆で見守り 皆で介護
潤いのある町みやしろ 子どもと一緒にどうぞ
100年安心宮代町！！
自然豊かな明るい町で元気に育て宮代っ子
のびゆく宮代
用足しは全て賄える循環バス
元気はつらつ宮代人！
桜と水の町

故郷に帰りたくなる自然の豊かな町
 宮代の村 町 さくら 大切に！
 人間のくらし
 支え合う心と体
 自然環境を有する都市化
 他町との合併
 元気！みやしろ
 住んでよし、心おだやか、福祉のサービス
 丁度いい 笑顔で暮らす 町づくり
 いいまち宮代
 ①宮代町のワイン②宮代の野菜(宮代のブドウ)等
 住みたい町宮代
 お〜いと呼べば何でしょうと
 南埼玉郡宮代町を埼玉県〇〇〇市を望みたい
 はばたけ宮代
 住みたい町そこは宮代
 ここが私のふる里といえる町
 地味な町
 夢と希望が語り合える緑のまち
 ・一歩ずつ皆の力で歩む宮代 ・住み良い宮代、笑
 顔の宮代
 都会の匂いのするシャレた田舎
 福祉・環境・宮代町
 めぐまれた水と農に加えるパワー
 子供にやさしい町、待機児童ゼロの町
 自然と学園都市の宮代
 サンフレッシュ宮代(令和)
 笑顔生き生きピュアタウン
 緑の町宮代
 おいしい空気ときれいな夜空の町
 歩道のある安全の町づくり
 自然と健康にしたしむ町 宮代
 いつまでも住みたい町へ宮代
 発展の町宮代

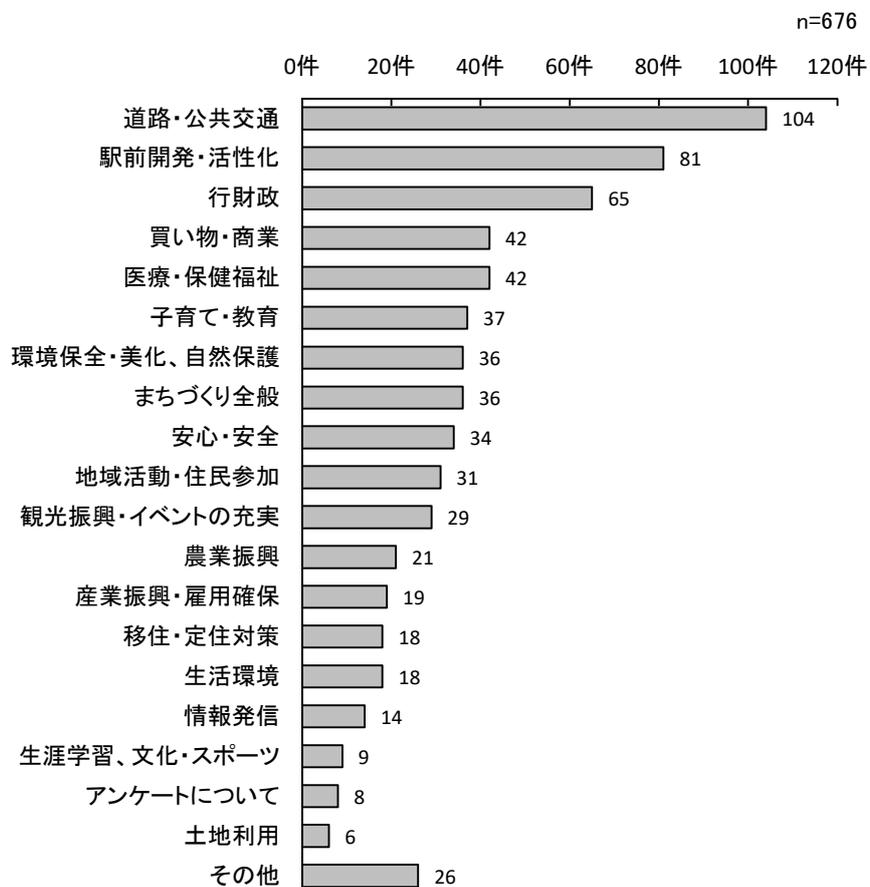
年代不明（回答数 4 件）

「水の町」宮代
 田舎、のんびり、緑のみやしろ
 新しいステージに進化する
 とれたて野菜のまち

II 住民意識調査 調査結果

9 自由回答

○最後になりましたが、宮代町のまちづくりについて、アイデアやご意見がありましたら、ご自由に記入してください。



宮代町のまちづくりについて自由に記入していただいたところ、回答があったのは 1,193 人中 479 人で、アンケート回答者数の 40.2% となった。複数の内容に関して記入されたものを内容別に分類すると、記入総数は 676 件となる。

内容別に最も意見が多く寄せられたのは「道路・公共交通」に関連するもので、次いで「駅前開発・活性化」「行財政」「買い物・商業」「医療・保健福祉」などの順となっている。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

◎転入者住民意識調査 調査項目一覧

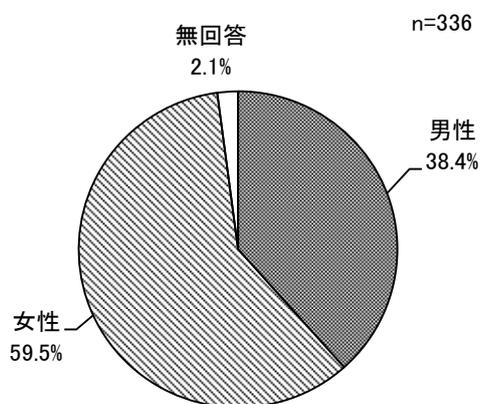
問 1	性別	} 回答者の属性等
問 2	転入時の年齢	
問 3	転入時の職業	
問 4	転入時の通勤・通学先	
問 5	転入時の家族構成	
問 6	転入時に家族に就学前・就学中の方がいたか	
問 7	回答者・家族の就学状況	
問 8	転入時の住まい	
問 9	転入前の住まい	
問 10 - 1	転入前の住宅の所有形態	
問 10 - 2	転入後の住宅の所有形態	
問 11	転入のきっかけ	
問 12	宮代町以外で転入先として検討した市区町村	
問 13	転入先の決め手	
問 14	以前から宮代町のことを知っていたか	
問 15	どのような経緯で宮代町を知ったか	
問 16	宮代町について知っていたこと	
問 17	住まい・転入先を探した時の情報源	
問 18	町に住んでみた感想	
問 19	自治会・町内会の加入状況	
問 20	自治会・町内会に加入していない主な理由	
問 21	今後の定住意向	
問 21-1	住み続けたい理由	
問 21-2	移転したい理由	
問 22	町の将来像について（記述式）	
	自由回答（記述式）	

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

1 回答者の属性等

(1) 性別

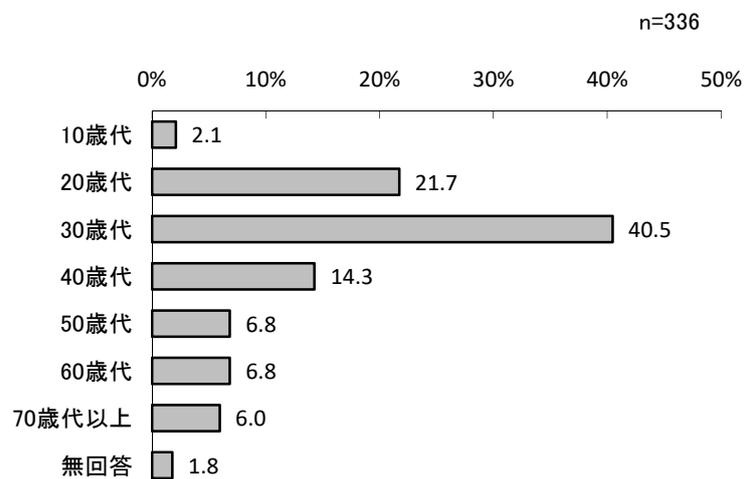
問1 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)



- ・「男性」38.4%に対し、「女性」59.5%となっている。

(2) 転入時の年齢

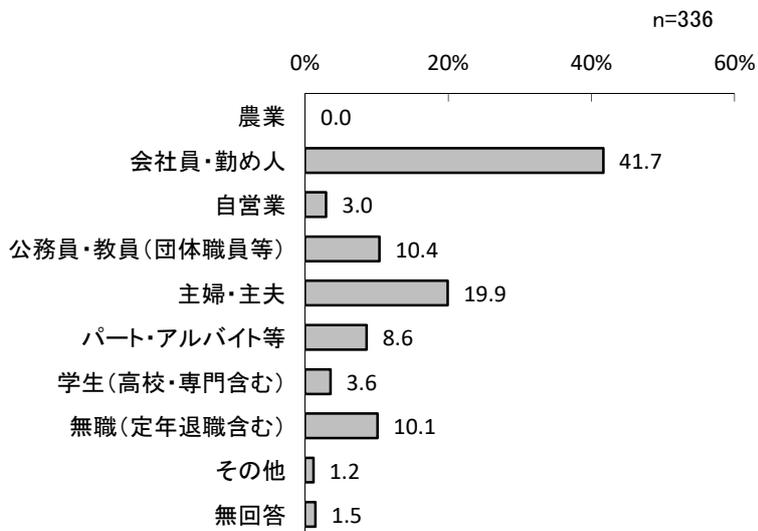
問2 転入された時の、あなたの年齢は何歳ですか。(1つに○)



- ・「30歳代」40.5%、「20歳代」21.7%、「40歳代」14.3%の順である。

(3) 転入時の職業

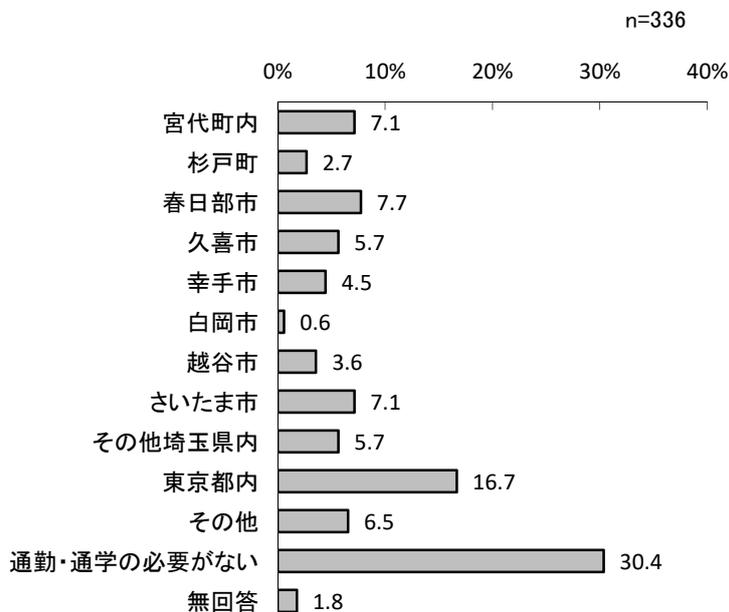
問3 転入された時の、あなたの職業は次のうちどれですか。(1つに○)



・「会社員・勤め人」41.7%、「主婦・主夫」19.9%、「公務員・教員(団体職員等)」10.4%、「無職(定年退職含む)」10.1%の順である。

(4) 転入時の通勤・通学先

問4 転入された時の、あなたの通勤・通学先はどこですか。(1つに○)

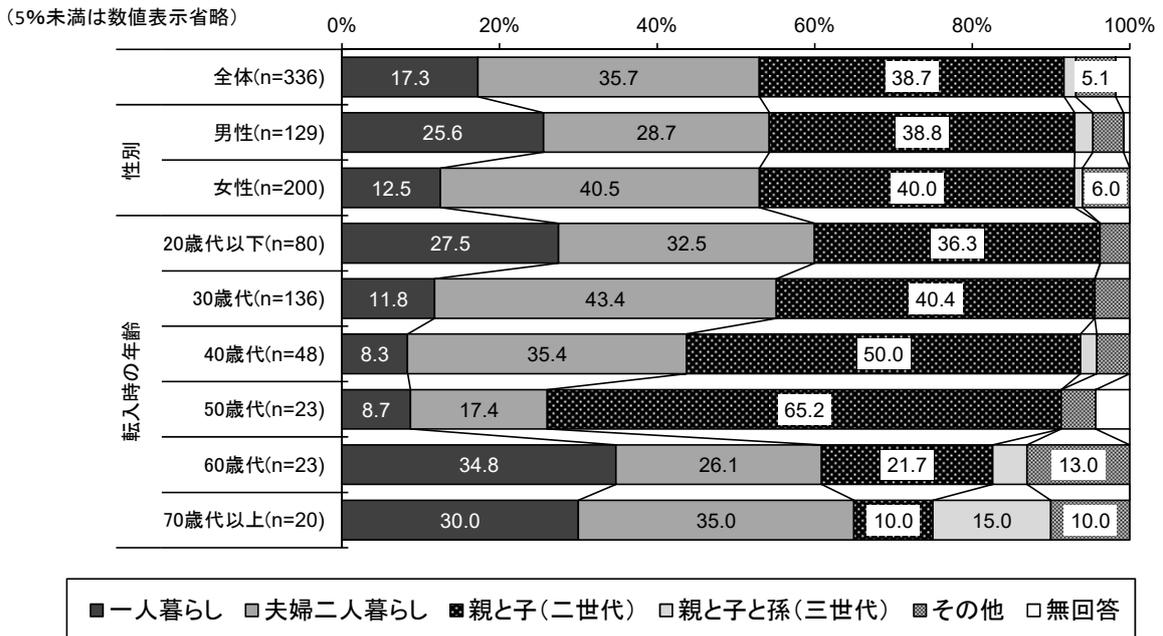


・「通勤・通学の必要がない」30.4%、「東京都内」16.7%、「春日部市」7.7%、「宮代町内」及び「さいたま市」7.1%などの順である。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

(5) 転入時の家族構成

問5 転入された時の家族構成は、次のうちどれにあてはまりますか。(1つに○)



〈全体〉

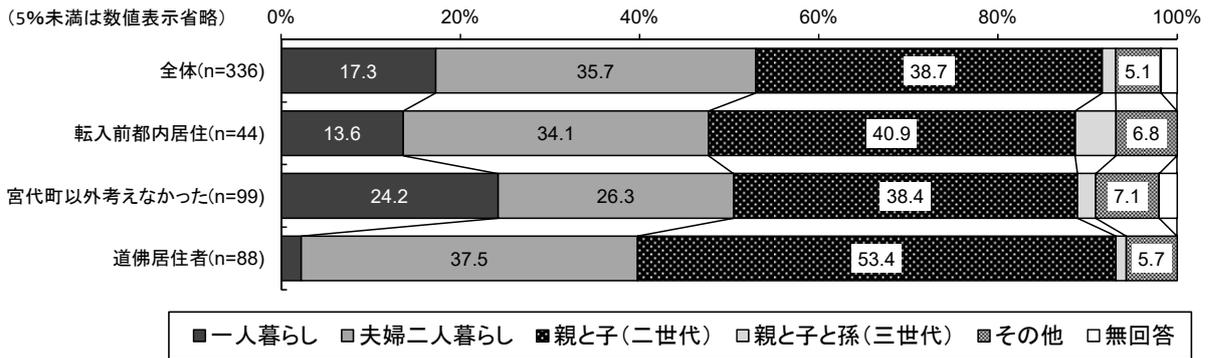
転入時の家族構成は、「親と子(二世帯)」38.7%、「夫婦二人暮らし」35.7%、「一人暮らし」17.3%の順である。

〈性別〉

男性は「一人暮らし」、女性は「夫婦二人暮らし」の比率が高い。

〈年齢別〉

回答者数が少ない属性があるため単純に比較はできないが、60歳代以上と20歳代以下では「一人暮らし」、30歳代では「夫婦二人暮らし」、40歳代から50歳代では「親と子(二世帯)」の比率が高い。



〈転入前に都内居住〉

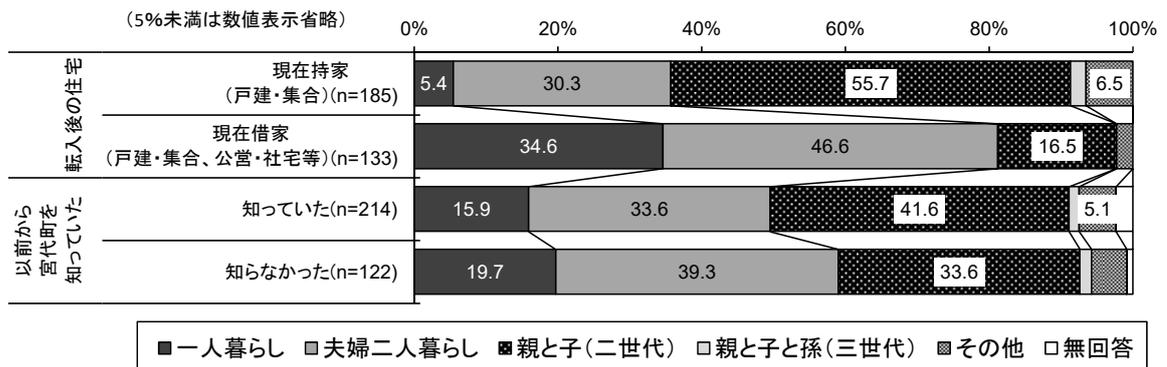
転入前、都内に居住していた方は「一人暮らし」の比率がやや低い。

〈宮代町以外考えなかった〉

転入の際、宮代町以外を考えなかった方は「一人暮らし」の比率が高い。

〈道佛居住者〉

転入後、道佛地区に居住している方は「親と子（二世帯）」の比率が特に高い。



〈転入後の住宅〉

転入後の住宅の所有形態別では、現在持家の方は「親と子（二世帯）」、現在借家の方は「一人暮らし」または「夫婦二人暮らし」の比率が高い。

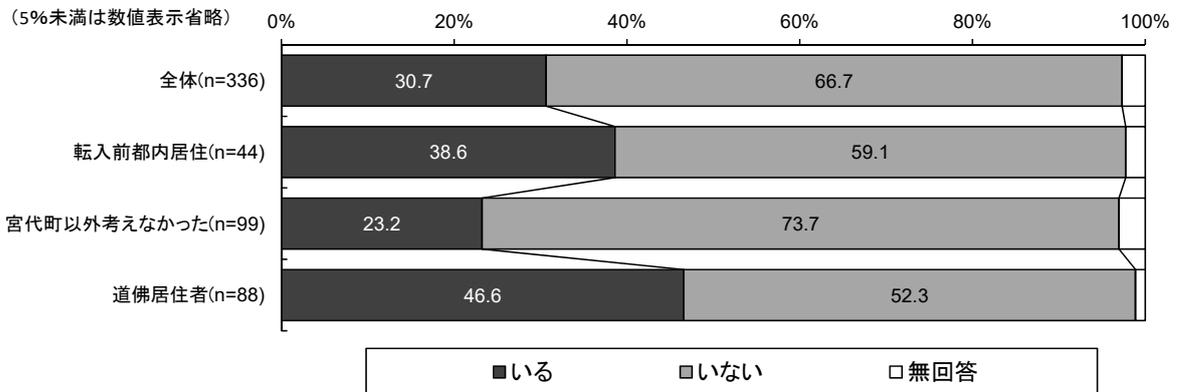
〈以前から宮代町を知っていた〉

以前から宮代町を知っていたかどうかでは、以前から宮代町を知っていた方は「親と子（二世帯）」の比率が高い。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

(6) 転入時に家族に就学前・就学中の方がいたか

問6 転入された時に、ご家族にあなたを含めて就学前または就学中の方はいましたか。
(1つに○)



〈全体〉

転入時に家族に就学前・就学中の方がいたかどうかでは、「いる」30.7%に対し、「いない」66.7%となっている。

〈転入前に都内居住〉

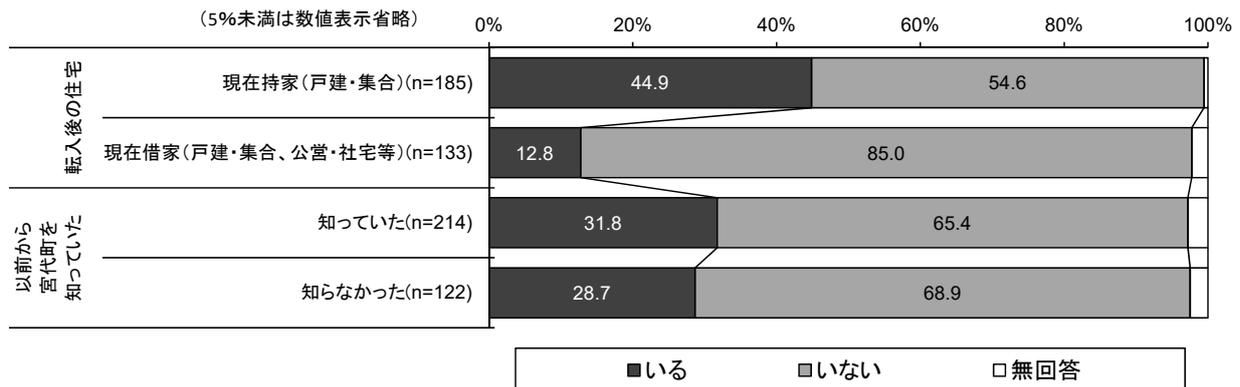
転入前、都内に居住していた方は「いる」の比率が高い。

〈宮代町以外考えなかった〉

転入の際、宮代町以外を考えなかった方は「いない」の比率が高い。

〈道佛居住者〉

転入後、道佛地区に居住している方は「いる」の比率が高い。



〈転入後の住宅〉

転入後の住宅の所有形態別では、現在持家の方は「いる」、現在借家の方は「いない」の比率が高い。

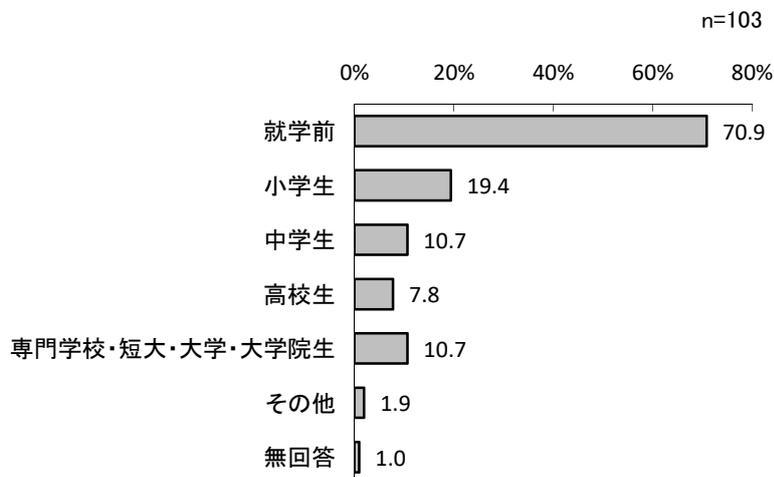
〈以前から宮代町を知っていた〉

以前から宮代町を知っていたかどうかでは、それほど大きな差はない。

(7) 回答者・家族の就学状況

問6で「1. いる」と回答した方にかがいます

問7 該当する方が転入された時の就学状況は、次のうちどれにあてはまりますか。
(あてはまるもの全てに○)



〈全体〉

回答者・家族の就学状況は、「就学前」70.9%、「小学生」19.4%、「中学生」及び「専門学校・短大・大学・大学院生」10.7%、「高校生」7.8%となっている。

単位: %

属性	1位	2位	3位	4位	5位
転入前都内居住 (n=17)	就学前 70.6	小学生 29.4	中学生 23.5	高校生／専門学校・短大・大学・大学院生 5.9	
宮代町以外 考えなかった (n=23)	就学前 47.8	小学生 26.1	中学生 26.1	高校生／専門学校・短大・大学・大学院生 17.4	
道佛居住者 (n=41)	就学前 82.9	小学生 17.1	中学生 7.3	専門学校・短大・大学・大学院生 4.9	高校生 2.4

〈転入前に都内居住〉

回答者数が少ないため単純に比較はできないが、転入前、都内に居住していた方は「小学生」「中学生」の比率が高い。

〈宮代町以外考えなかった〉

回答者数が少ないため単純に比較はできないが、転入の際、宮代町以外を考えなかった方は「就学前」の比率が低い。

〈道佛居住者〉

転入後、道佛地区に居住している方は「就学前」の比率が高い。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

単位：％

属性	1位	2位	3位	4位	5位
現在持家 (n=83)	就学前 77.1	小学生 20.5	中学生 9.6	専門学校・短大・大 学・大学院生 7.2	高校生 6.0
現在借家 (n=17)	就学前 47.1	専門学校・短大・大 学・大学院生 23.5	高校生 17.6	小学生 11.8	中学生 11.8
知っていた (n=68)	就学前 70.6	小学生 17.6	専門学校・短大・大 学・大学院生 13.2	中学生 11.8	高校生 7.4
知らなかった (n=35)	就学前 71.4	小学生 22.9	中学生 8.6	高校生 8.6	専門学校・短大・大 学・大学院生 5.7

〈転入後の住宅〉

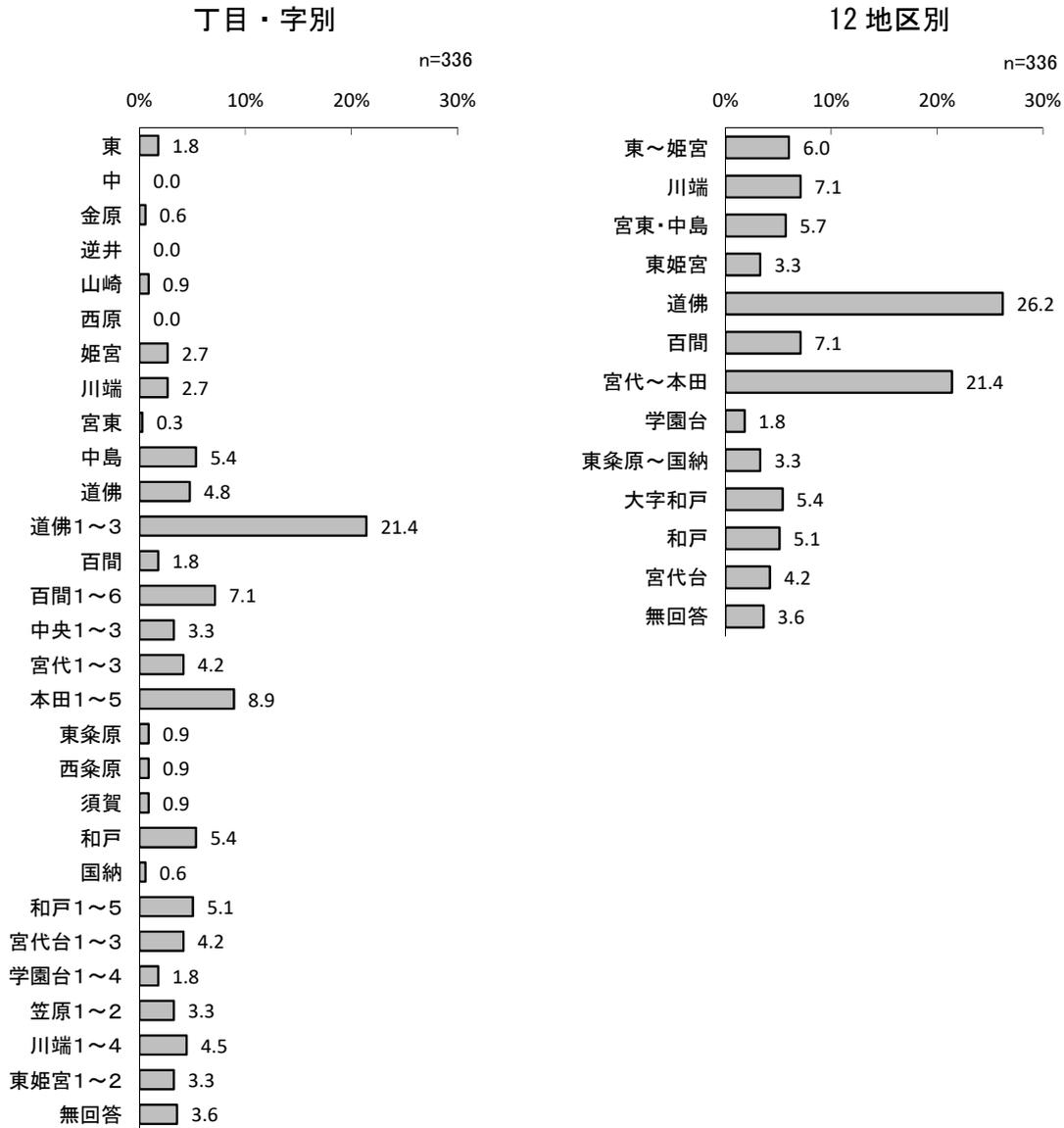
回答者数が少ないため単純に比較はできないが、転入後の住宅の所有形態別では、現在持家の方は「就学前」の比率がやや高い。

〈以前から宮代町を知っていた〉

以前から宮代町を知っていたかどうかでは、それほど大きな差はない。

(8) 転入時の居住地域

問8 転入された時のあなたのお住まいはどこですか。(1つに○)

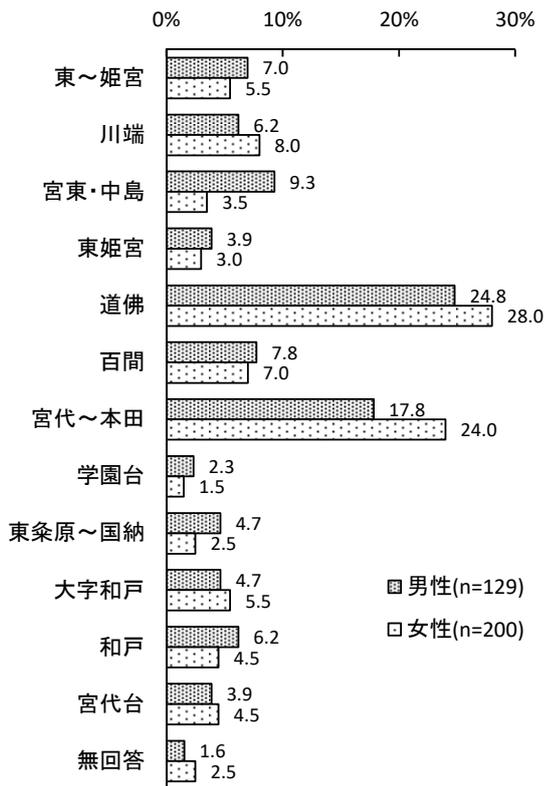


〈全体〉

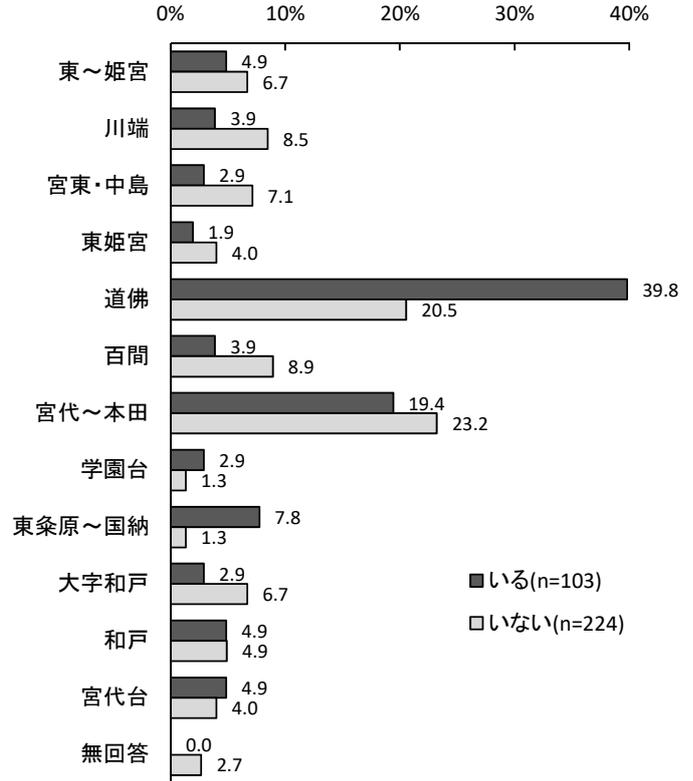
「道佛1～3」21.4%、「本田1～5」8.9%、「百間1～6」7.1%などの順となっている。12地区別では、「道佛」26.2%、「宮代～本田」21.4%、「川端」及び「百間」7.1%などの順である。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

性別



就学前・就学中の家族の有無別



〈性別〉

男女ともに「道佛」「宮代～本田」の比率が高く、両地区とも女性の比率が男性よりも高い。

〈就学前・就学中の家族の有無別〉

本人も含め、就学前・就学中の家族が「いる」方の比率は、「道佛」「宮代～本田」「東桑原～国納」の順で高くなっている。ただし、「宮代～本田」では「いない」方の比率も高い。

単位:%

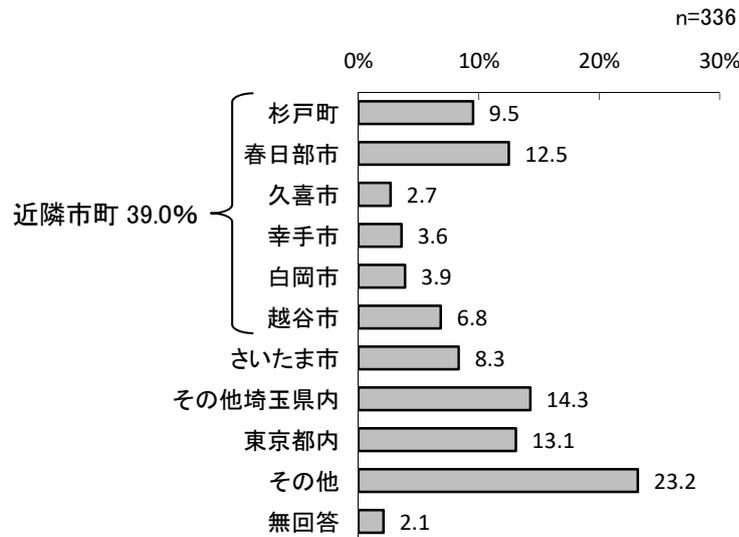
属性 \ 居住地域	東～姫宮	川端	宮東・中島	東姫宮	道佛	百間	宮代～本田	学園台	東桑原～国納	大字和戸	和戸	宮代台	無回答
20歳代以下(n=80)	8.8	10.0	5.0	3.8	23.8	5.0	28.8	3.8	1.3	6.3	2.5	1.3	0.0
30歳代(n=136)	2.9	5.9	6.6	2.9	33.8	8.8	19.9	0.7	2.9	3.7	7.4	3.7	0.7
40歳代(n=48)	6.3	4.2	8.3	2.1	22.9	8.3	22.9	4.2	6.3	2.1	6.3	6.3	0.0
50歳代(n=23)	8.7	0.0	0.0	4.3	30.4	17.4	4.3	0.0	4.3	17.4	0.0	8.7	4.3
60歳代(n=23)	8.7	13.0	4.3	0.0	13.0	0.0	26.1	0.0	4.3	8.7	8.7	4.3	8.7
70歳代以上(n=20)	10.0	10.0	5.0	10.0	10.0	0.0	20.0	0.0	5.0	5.0	0.0	10.0	15.0

〈年齢別〉

回答者数が少ない属性があるため単純に比較はできないが、20歳代以下や60歳代以上では「宮代～本田」、30歳代から50歳代では「道佛」の比率が高い。

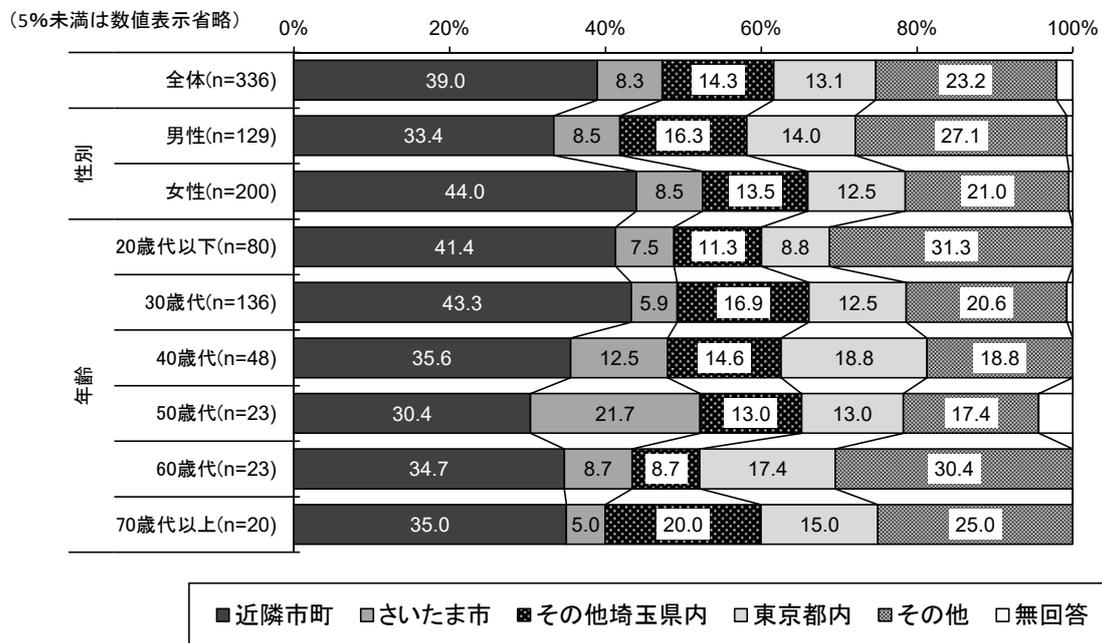
(9) 転入前の居住地

問9 転入される前は、あなたはどちらにお住まいでしたか。(1つに○)



〈全体〉

転入前の居住地は、「その他」(※千葉県、神奈川県、茨城県、群馬県等) 23.2%、「その他埼玉県内」14.3%、「東京都内」13.1%、「春日部市」12.5%などの順となっている。杉戸町から越谷市までの近隣・沿線市町をあわせた比率は39.0%である。



〈性別〉

男性は「その他」「その他埼玉県内」「東京都内」、女性は「近隣市町」の比率が高い。

〈年齢別〉

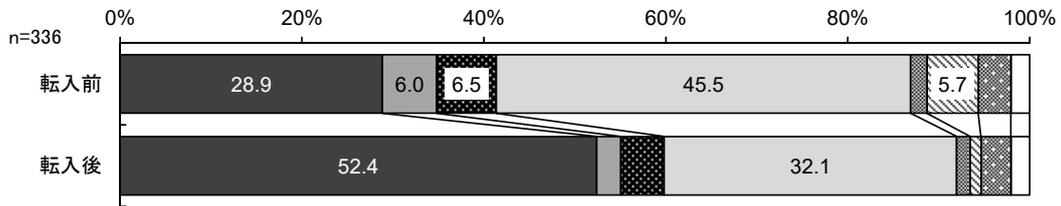
回答者数が少ない属性があるため単純に比較はできないが、30歳代以下では「近隣市町」の比率が高い。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

(10) 転入前後の住宅の所有形態

問 10 転入される前と後の、あなたの住宅の所有形態は、次のうちどれですか。
(各1つに○)

(5%未満は数値表示省略)

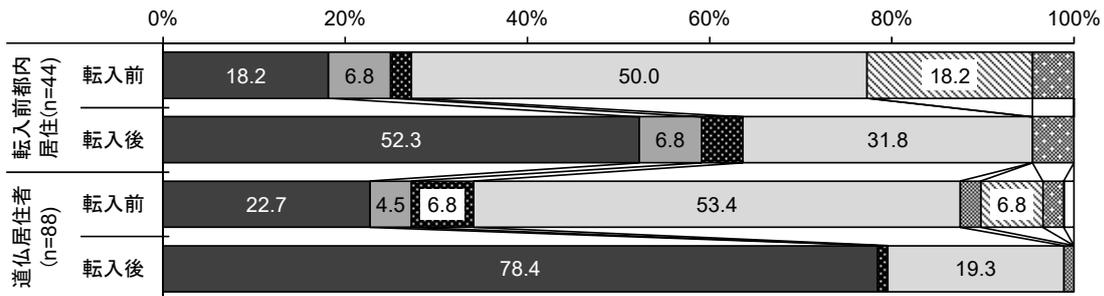


■ 持ち家 (一戸建て) ■ 持ち家 (集合住宅) ■ 借家 (一戸建て) □ 借家 (集合住宅) ■ 公営住宅 ■ 寮・社宅等 ■ その他 □ 無回答

〈全体〉

転入前後の住宅の所有形態を比較すると、「借家 (集合住宅)」が転入前の45.5%から、転入後は32.1%と減少し、「持ち家 (一戸建て)」が28.9%から52.4%と大幅に増加している。

(5%未満は数値表示省略)



■ 持ち家 (一戸建て) ■ 持ち家 (集合住宅) ■ 借家 (一戸建て) □ 借家 (集合住宅) ■ 公営住宅 ■ 寮・社宅等 ■ その他 □ 無回答

〈転入前に都内居住〉

転入前、都内に居住していた方とそれ以外の方を比較すると、都内に居住していた方は「借家 (集合住宅)」の減少率、「持ち家 (一戸建て)」の増加率がともに全体よりも高い。

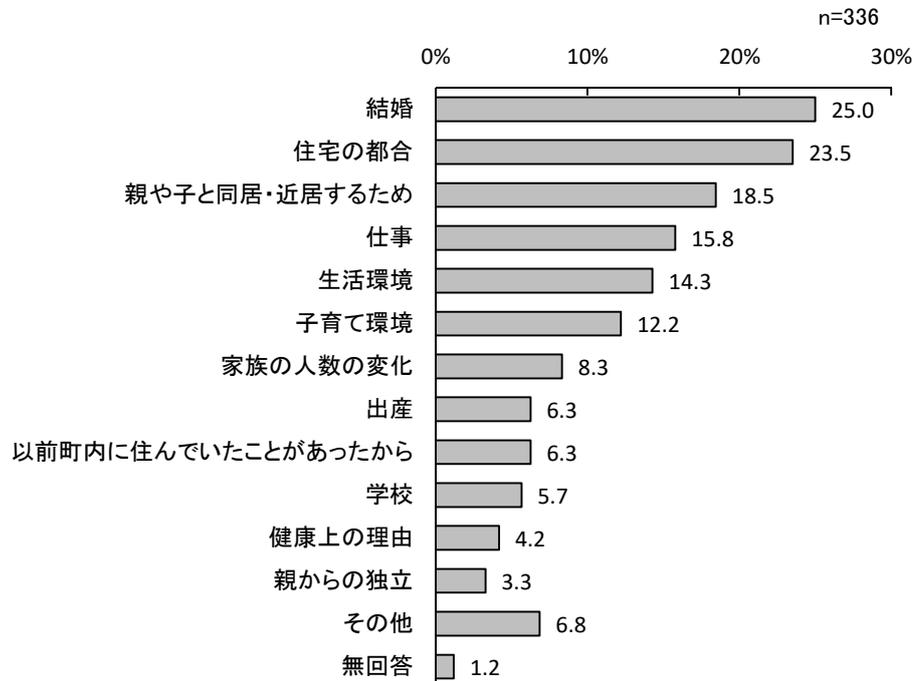
〈道佛居住者〉

転入後、道佛地区に居住している方とそれ以外の方を比較すると、道佛居住者は「借家 (集合住宅)」の減少率、「持ち家 (一戸建て)」の増加率がともに全体よりも高い。

2 転入のきっかけ・理由等について

(1) 転入のきっかけ

問11 転入のきっかけは、次のうちどれになりますか。(あてはまるもの全てに○)



※その他として、「離婚」「夫の仕事」「子との同居」などの回答があげられている。

〈全体〉

転入のきっかけは、「結婚」25.0%、「住宅の都合」23.5%、「親や子と同居・近居するため」18.5%、「仕事」15.8%、「生活環境」14.3%、「子育て環境」12.2%などである。

単位: %

属性	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=129)	親や子と同居・近居するため／住宅の都合 22.5	結婚 18.6	仕事 17.8	生活環境 14.0	
女性 (n=200)	結婚 29.0	住宅の都合 24.5	親や子と同居・近居するため 16.0	生活環境 14.5	仕事 13.5

〈性別〉

男性では「親や子と同居・近居するため」「住宅の都合」、女性では「結婚」が1位にあげられており、男性が女性を上回るのは「親や子と同居・近居するため」「仕事」、女性が男性を上回るのは「結婚」などである。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

単位：%

属性	1位	2位	3位	4位	5位
20歳代以下 (n=80)	結婚 32.5	住宅の都合 23.8	仕事 22.5	学校 11.3	出産／子育て環境 10.0
30歳代 (n=136)	結婚 35.3	住宅の都合 27.9	子育て環境 19.9	仕事 16.2	親や子と同居・近居 するため 14.7
40歳代 (n=48)	親や子と同居・近居 するため 29.2	仕事／結婚 18.8	生活環境 16.7	住宅の都合 14.6	
50歳代 (n=23)	親や子と同居・近居 するため 34.8	住宅の都合 30.4	生活環境 26.1	以前町内に住んで いたことがあったか ら 8.7	仕事／家族の人数 の変化 4.3
60歳代 (n=23)	家族の人数の変化 26.1	親や子と同居・近居 するため 21.7	住宅の都合 17.4	生活環境／健康上の理由 13.0	
70歳代以上 (n=20)	親や子と同居・近居 するため 35.0	健康上の理由 20.0	家族の人数の変化／生活環境／住宅の都合 15.0		

〈年齢別〉

回答者数が少ない属性があるため単純に比較はできないが、30歳代以下で「結婚」の比率が高い。一方、40歳代以上では「親や子と同居・近居するため」の比率が高い傾向がみられる。

単位：%

属性	1位	2位	3位	4位	5位	
の就学前・就学中 の家族の有無	いる (n=103)	住宅の都合 37.9	子育て環境 32.0	親や子と同居・近居 するため 25.2	生活環境 21.4	学校 15.5
	いない (n=224)	結婚 33.9	仕事 17.4	住宅の都合 17.0	親や子と同居・近居 するため 15.2	生活環境 11.2

〈就学前・就学中の家族の有無別〉

本人も含め、就学前・就学中の家族の有無で比較すると、就学前・就学中の家族が「いる」方では、「住宅の都合」「子育て環境」「親や子と同居・近居するため」が上位にあげられている。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

単位：％

属性	1位	2位	3位	4位	5位
転入前都内居住 (n=44)	結婚 29.5	親や子と同居・近居 するため 27.3	子育て環境 25.0	住宅の都合 18.2	生活環境 15.9
宮代町以外考え なかった(n=99)	親や子と同居・近居 するため 25.3	結婚 23.2	仕事／住宅の都合 15.2		以前町内に住んで いたことがあったか ら 11.1
道佛居住者 (n=88)	結婚／子育て環境／住宅の都合 25.0			生活環境／親や子と同居・近居するため 20.5	

〈転入前に都内居住〉

転入前、都内に居住していた方は、全体と比較して「親や子と同居・近居するため」「子育て環境」の比率が高い。

〈宮代町以外考えなかった〉

転入の際、宮代町以外を考えなかった方は、全体と比較して「親や子と同居・近居するため」の比率が高い。

〈道佛居住者〉

転入後、道佛地区に居住している方は、全体と比較して「子育て環境」「生活環境」の比率が高い。

単位：％

属性	1位	2位	3位	4位	5位
現在持家 (n=185)	住宅の都合 31.4	親や子と同居・近居 するため 25.9	生活環境 20.0	子育て環境 18.4	結婚 17.3
現在借家 (n=133)	結婚 37.6	仕事 20.3	住宅の都合 12.8	学校／親からの独立 7.5	
宮代町を知っていた (n=214)	親や子と同居・近 居するため 23.8	住宅の都合 23.4	結婚 20.6	生活環境 14.0	仕事 13.1
宮代町を知らなかった (n=122)	結婚 32.8	住宅の都合 23.8	仕事 20.5	生活環境 14.8	子育て環境 13.9

〈転入後の住宅〉

転入後の住宅の所有形態別では、現在持家の方は「住宅の都合」「親や子と同居・近居するため」の比率がやや高い。

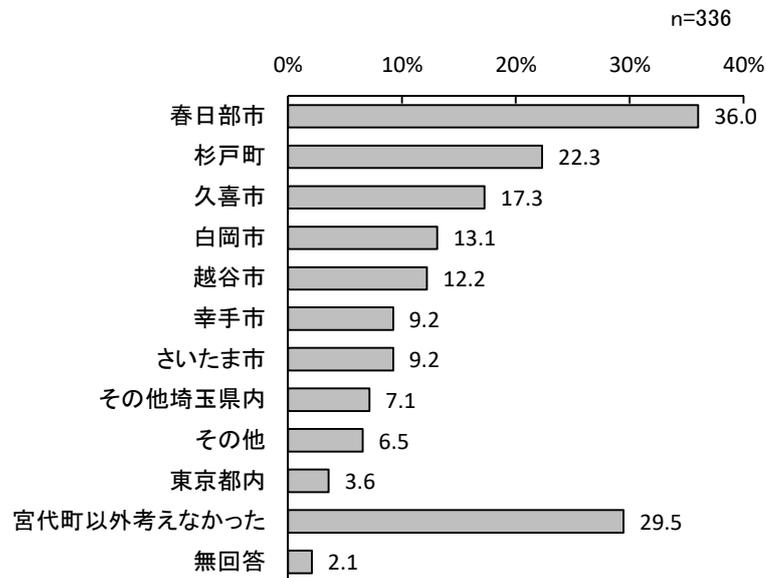
〈以前から宮代町を知っていた〉

以前から宮代町を知っていた方は、「親や子と同居・近居するため」の比率が高い。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

(2) 宮代町以外で転入先として検討した市区町村

問 12 転入先について、宮代町以外で検討した市区町村はどちらですか。
(あてはまるもの全てに○)



〈全体〉

宮代町以外で転入先として検討した市区町村は、「春日部市」36.0%、「杉戸町」22.3%、「久喜市」17.3%、「白岡市」13.1%、「越谷市」12.2%などの順であるのに対し、「宮代町以外考えなかった」は29.5%となっている。

単位：%

属性	1位	2位	3位	4位	5位	宮代町以外考えなかった
男性 (n=129)	春日部市 34.9	杉戸町 24.0	久喜市 18.6	白岡市 18.6	越谷市 14.0	27.1
女性 (n=200)	春日部市 37.0	杉戸町 21.5	久喜市 17.0	越谷市 11.5	白岡市 10.0	30.5

〈性別〉

性別では、一部順位の変動はあるものの大きな差はない。

「宮代町以外考えなかった」の比率は女性が男性をやや上回る。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

単位：％

属性	1位	2位	3位	4位	5位	宮代町以外 考えなかった
20歳代以下 (n=80)	春日部市 35.0	杉戸町 28.8	久喜市 20.0	白岡市 12.5	幸手市 11.3	27.5
30歳代 (n=136)	春日部市 40.4	杉戸町／久喜市 22.8		白岡市 17.6	越谷市 15.4	26.5
40歳代 (n=48)	春日部市 35.4	杉戸町 22.9	さいたま市 16.7	久喜市 14.6	白岡市／越谷市 12.5	33.3
50歳代 (n=23)	春日部市 34.8	白岡市 13.0	久喜市／越谷市／さいたま市／その他 8.7			39.1
60歳代 (n=23)	春日部市 39.1	杉戸町 26.1	越谷市／さいたま市／東京都内 17.4			21.7
70歳代以上 (n=20)	春日部市 15.0	杉戸町／その他 10.0		幸手市／越谷市／その他埼玉県内 5.0		45.0

〈年齢別〉

回答者数が少ない属性があるため単純に比較はできないが、30歳代で「春日部市」の比率がやや高い。

単位：％

属性		1位	2位	3位	4位	5位	宮代町以外 考えなかった
学就 の 中 学 の 有 無 の 前 ・ 就 学 中 の 家 族 の 有 無	いる (n=103)	春日部市 39.8	杉戸町 29.1	久喜市 21.4	白岡市 21.4	越谷市 13.6	22.3
	いない (n=224)	春日部市 34.8	杉戸町 19.6	久喜市 15.6	越谷市 11.2	白岡市 9.8	32.6

〈就学前・就学中の家族の有無別〉

本人も含め、就学前・就学中の家族の有無で比較すると、就学前・就学中の家族が「いる」方は「いない」方より「宮代町以外考えなかった」の比率が低く、他市区町村を検討した比率が高い。

単位：％

属性	1位	2位	3位	4位	5位	宮代町以外 考えなかった
転入前都内居住 (n=44)	春日部市 20.5	越谷市 18.2	杉戸町／東京都内／その他 15.9			38.6
道佛居住者 (n=88)	春日部市 46.6	杉戸町 27.3	白岡市 23.9	久喜市 22.7	幸手市／越谷市 17.0	17.0

〈転入前に都内居住〉

転入前、都内に居住していた方は、全体と比較して「宮代町以外考えなかった」の比率が高い。

〈道佛居住者〉

転入後、道佛地区に居住している方は、全体と比較して「宮代町以外考えなかった」の比率が低く、「春日部市」「杉戸町」など近隣市町を検討した比率が高い。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

単位：％

属性	1位	2位	3位	4位	5位	宮代町以外 考えなかった
現在持家 (n=185)	春日部市 38.4	杉戸町 22.7	久喜市 19.5	白岡市 17.3	越谷市 15.1	23.2
現在借家 (n=133)	春日部市 35.3	杉戸町 23.3	久喜市 16.5	越谷市 9.8	白岡市 9.0	34.6
宮代町を知っていた (n=214)	春日部市 30.8	杉戸町 25.7	白岡市 14.0	久喜市 13.6	幸手市 9.8	37.4
宮代町を知らなかった (n=122)	春日部市 45.1	久喜市 23.8	越谷市 18.0	杉戸町 16.4	さいたま市 12.3	15.6

〈転入後の住宅〉

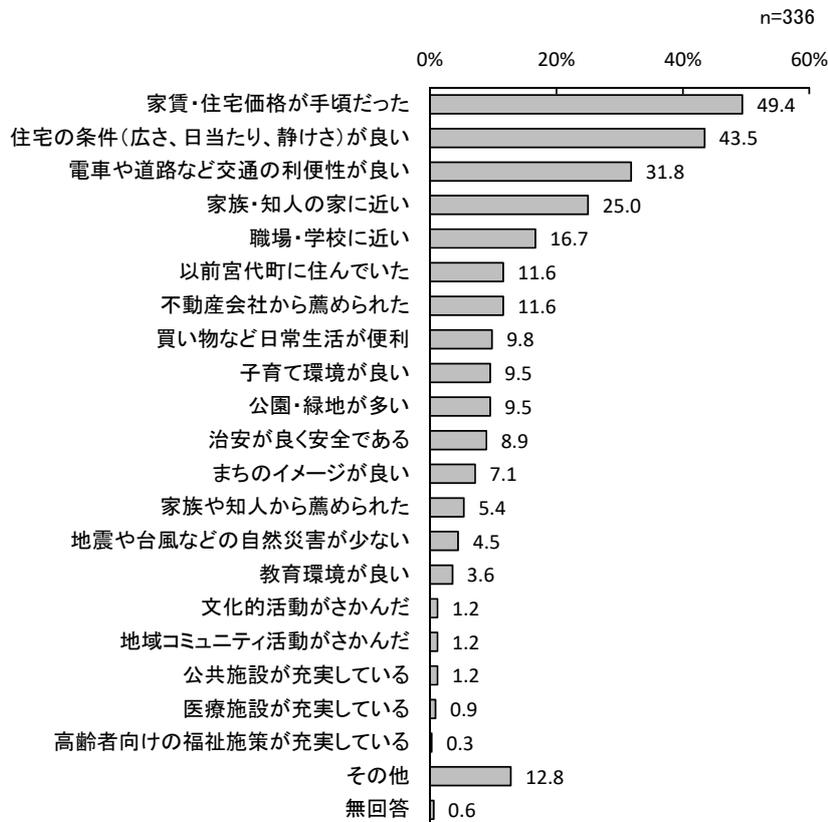
転入後の住宅の所有形態別では、現在持家の方は「宮代町以外考えなかった」の比率が低く、近隣市町を検討した比率が高い。

〈以前から宮代町を知っていた〉

以前から宮代町を知っていた方は、「宮代町以外考えなかった」の比率が高い。

(3) 転入先の決め手

問 13 転入先を検討した際に、決め手となったことはどのようなことですか。
(あてはまるもの全てに○)



※その他として、「自分・配偶者の実家がある」「夫の仕事」「親・子との同居」「笠原小に通わせたい」「東武動物公園」などの回答があげられている。

〈全体〉

転入先の決め手となったことは、「家賃・住宅価格が手頃だった」49.4%、「住宅の条件（広さ、日当たり、静けさ）が良い」43.5%、「電車や道路など交通の利便性が良い」31.8%、「家族・知人の家に近い」25.0%などの順である。

単位：%

属性	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=129)	家賃・住宅価格が手頃だった 55.8	住宅の条件(広さ、日当たり、静けさ)が良い 51.9	電車や道路など交通の利便性が良い 31.0	家族・知人の家に近い 20.2	職場・学校に近い 14.7
女性 (n=200)	家賃・住宅価格が手頃だった 44.5	住宅の条件(広さ、日当たり、静けさ)が良い 38.0	電車や道路など交通の利便性が良い 32.5	家族・知人の家に近い 28.5	職場・学校に近い 18.0

〈性別〉

性別では、上位にあげられた項目の順位に大きな差はないが、「家賃・住宅価格が手頃だった」「住宅の条件（広さ、日当たり、静けさ）が良い」で男性が女性を大きく上回り、「家族・知人の家に近い」で女性が男性を上回る。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

単位：％

属性	1位	2位	3位	4位	5位
20歳代以下 (n=80)	家賃・住宅価格が手頃だった 55.0	住宅の条件(広さ、日当たり、静けさ)が良い 47.5	電車や道路など交通の利便性が良い 38.8	家族・知人の家に近い 27.5	職場・学校に近い 27.5
30歳代 (n=136)	家賃・住宅価格が手頃だった 53.7	住宅の条件(広さ、日当たり、静けさ)が良い 44.1	電車や道路など交通の利便性が良い 33.8	家族・知人の家に近い 28.7	買い物など日常生活が便利／不動産会社から薦められた 15.4
40歳代 (n=48)	住宅の条件(広さ、日当たり、静けさ)が良い 45.8	家賃・住宅価格が手頃だった 41.7	家族・知人の家に近い 27.1	電車や道路など交通の利便性が良い 22.9	以前宮代町に住んでいた 20.8
50歳代 (n=23)	家賃・住宅価格が手頃だった 39.1	住宅の条件(広さ、日当たり、静けさ)が良い 34.8	電車や道路など交通の利便性が良い／以前宮代町に住んでいた／家族・知人の家に近い／職場・学校に近い		17.4
60歳代 (n=23)	住宅の条件(広さ、日当たり、静けさ)が良い 52.2	家賃・住宅価格が手頃だった 43.5	電車や道路など交通の利便性が良い 34.8	地震や台風などの自然災害が少ない／まちなイメージが良い／家族・知人の家に近い 17.4	
70歳代以上 (n=20)	家賃・住宅価格が手頃だった 30.0	電車や道路など交通の利便性が良い 20.0	住宅の条件(広さ、日当たり、静けさ)が良い／家族や知人から薦められた		地震や台風などの自然災害が少ない／家族・知人の家に近い 15.0 10.0

〈年齢別〉

回答者数が少ない属性があるため単純に比較はできないが、30歳代以下で「家賃・住宅価格が手頃だった」の比率がやや高い。また、20歳代以下では「電車や道路など交通の利便性が良い」「職場・学校に近い」の比率も高くなっている。

単位：％

属性		1位	2位	3位	4位	5位
就学前・就学中の家族の有無	いる (n=103)	住宅の条件(広さ、日当たり、静けさ)が良い 52.4	家賃・住宅価格が手頃だった 42.7	電車や道路など交通の利便性が良い／家族・知人の家に近い 26.2		不動産会社から薦められた 17.5
	いない (n=224)	家賃・住宅価格が手頃だった 52.2	住宅の条件(広さ、日当たり、静けさ)が良い 40.2	電車や道路など交通の利便性が良い 33.9	家族・知人の家に近い 25.4	職場・学校に近い 18.3

〈就学前・就学中の家族の有無別〉

本人も含め、就学前・就学中の家族の有無で比較すると、就学前・就学中の家族が「いる」方は「住宅の条件(広さ、日当たり、静けさ)が良い」、「いない」方は「家賃・住宅価格が手頃だった」の比率が高い。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

単位：％

属性	1位	2位	3位	4位	5位
転入前都内居住 (n=44)	電車や道路など交通の利便性が良い／ 家賃・住宅価格が手頃だった 40.9	住宅の条件(広さ、 日当たり、静けさ) が良い 38.6	家族・知人の家に 近い 27.3	職場・学校に近い 15.9	
宮代町以外 考えなかった(n=99)	家族・知人の家に 近い 36.4	家賃・住宅価格が 手頃だった 26.3	電車や道路など交通の利便性が良い／ 以前宮代町に住んでいた 22.2	住宅の条件(広さ、 日当たり、静けさ) が良い 19.2	
道佛居住者 (n=88)	住宅の条件(広さ、 日当たり、静けさ) が良い 55.7	家賃・住宅価格が 手頃だった 53.4	電車や道路など交 通の利便性が良い 25.0	子育て環境が良い 20.5	公園・緑地が多い ／家族・知人の家に 近い 19.3

〈転入前に都内居住〉

転入前、都内に居住していた方は、全体と比較して「電車や道路など交通の利便性が良い」の比率が高い。

〈宮代町以外考えなかった〉

転入の際、宮代町以外を考えなかった方は、全体と比較して「家族・知人の家に近い」「以前宮代町に住んでいた」の比率が高い。

〈道佛居住者〉

転入後、道佛地区に居住している方は、全体と比較して「住宅の条件(広さ、日当たり、静けさ)が良い」「子育て環境が良い」「公園・緑地が多い」の比率が高い。

単位：％

属性	1位	2位	3位	4位	5位
現在持家 (n=185)	住宅の条件(広さ、 日当たり、静けさ) が良い 51.4	家賃・住宅価格が 手頃だった 46.5	電車や道路など交 通の利便性が良い 27.6	家族・知人の家に 近い 24.9	不動産会社から薦 められた 14.6
現在借家 (n=133)	家賃・住宅価格が 手頃だった 56.4	電車や道路など交 通の利便性が良い 39.1	住宅の条件(広さ、 日当たり、静けさ) が良い 35.3	家族・知人の家に 近い 24.8	職場・学校に近い 24.1
宮代町を知っていた (n=214)	家賃・住宅価格が 手頃だった 44.4	住宅の条件(広さ、 日当たり、静けさ) が良い 41.6	家族・知人の家に 近い 31.3	電車や道路など交 通の利便性が良い 29.0	以前宮代町に住ん でいた 18.2
宮代町を知らなかった (n=122)	家賃・住宅価格が 手頃だった 58.2	住宅の条件(広さ、 日当たり、静けさ) が良い 46.7	電車や道路など交 通の利便性が良い 36.9	職場・学校に近い 20.5	不動産会社から薦 められた 15.6

〈転入後の住宅〉

転入後の住宅の所有形態別では、現在持家の方は「住宅の条件(広さ、日当たり、静けさ)が良い」の比率が高く、現在借家の方は「家賃・住宅価格が手頃だった」「電車や道路など交通の利便性が良い」「職場・学校に近い」の比率が高い。

〈以前から宮代町を知っていた〉

以前から宮代町を知っていた方は、「家族・知人の家に近い」「以前宮代町に住んでいた」の比率が高く、知らなかった方は「家賃・住宅価格が手頃だった」「電車や道路など交通の利便性が良い」の比率が高い。

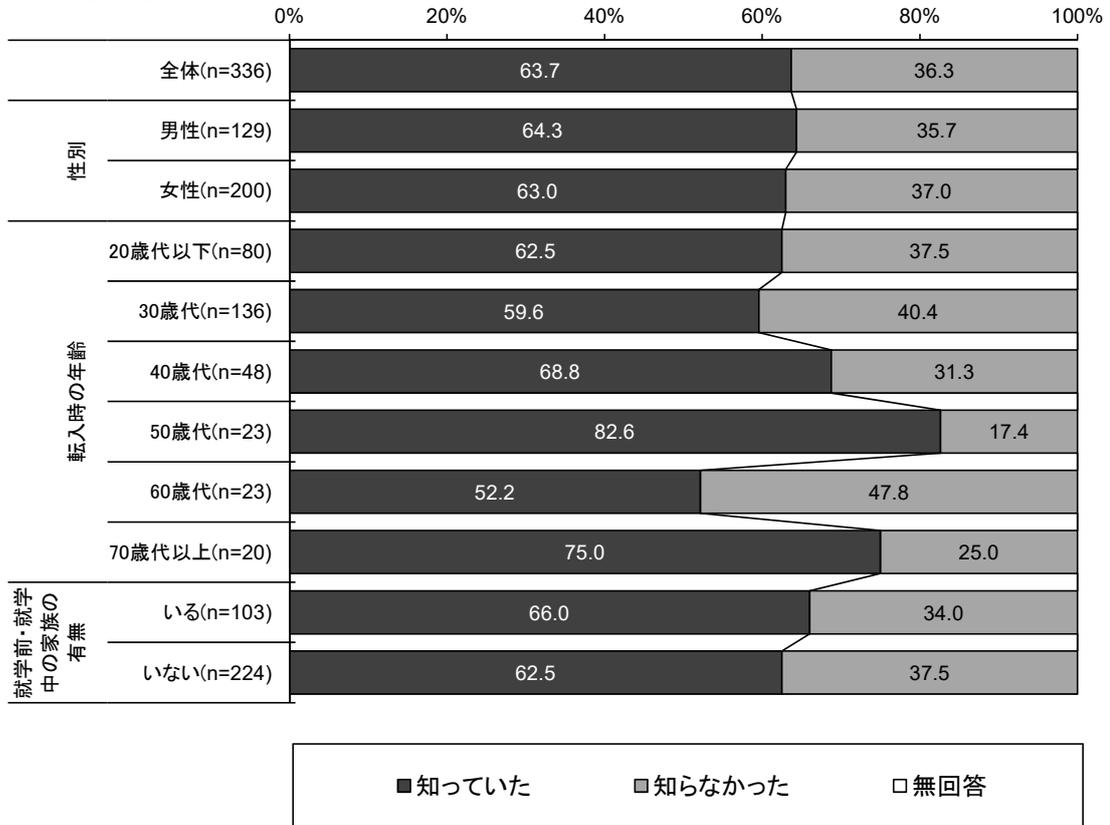
Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

3 町の情報等について

(1) 以前から宮代町のことを知っていたか

問 14 あなたは、以前から宮代町のことを知っていましたか。(1つに○)

(5%未満は数値表示省略)



〈全体〉

以前から宮代町のことを知っていたかどうかは、「知っていた」63.7%に対し、「知らなかった」36.3%となっている。

〈性別〉

性別ではほとんど差がない。

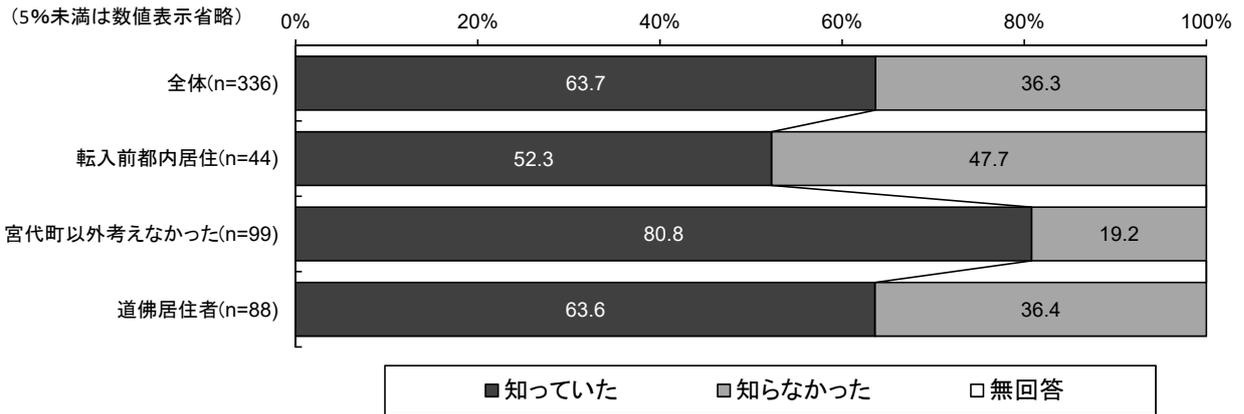
〈年齢別〉

回答者数が少ない属性があるため単純に比較はできないが、60歳代を除く40歳代以上で「知っていた」の比率が高い。

〈就学前・就学中の家族の有無別〉

本人も含む就学前・就学中の家族の有無別では、ほとんど差がない。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果



〈転入前に都内居住〉

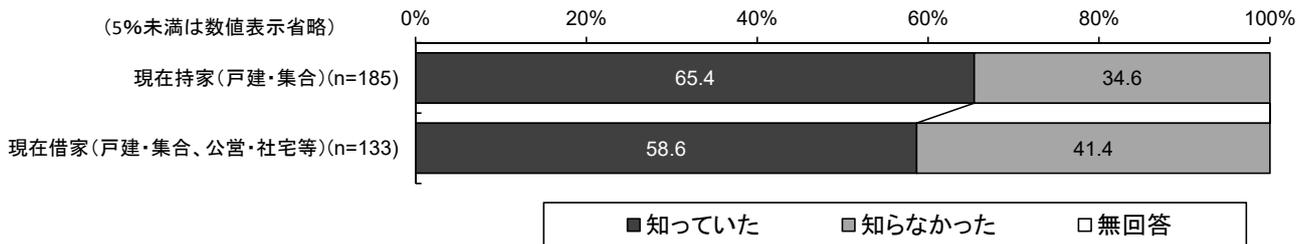
転入前、都内に居住していた方は、全体と比較して「知らなかった」の比率が高い。

〈宮代町以外考えなかった〉

転入の際、宮代町以外を考えなかった方は、全体と比較して「知っていた」の比率が高い。

〈道佛居住者〉

転入後、道佛地区に居住している方は、全体との比較ではほとんど差がない。



〈転入後の住宅〉

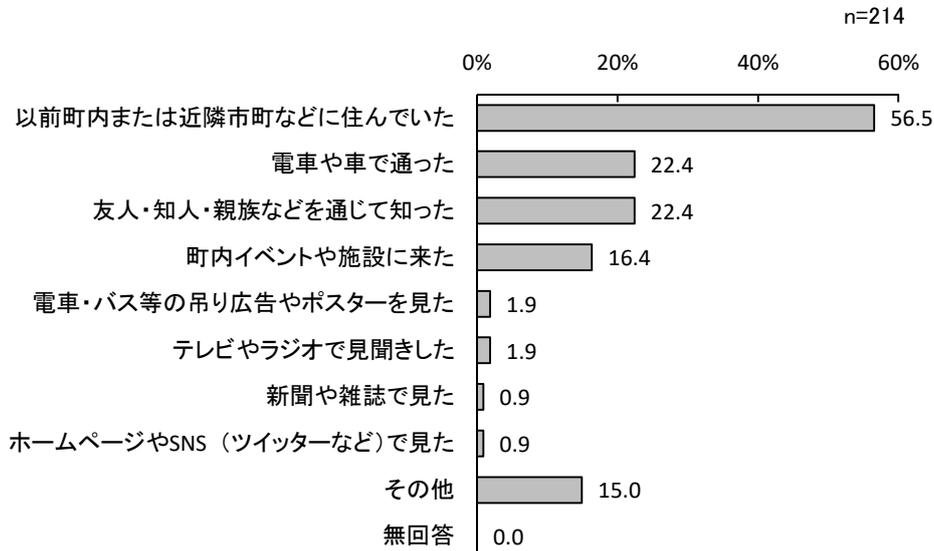
転入後の住宅の所有形態別では、現在持家の方は「知っていた」、現在借家の方は「知らなかった」の比率が高い。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

(2) どのような経緯で宮代町を知ったか

問 15、16 は、問 14 で「1. 知っていた」と回答した方にうかがいます

問 15 転入以前から宮代町のことを知っていたとのことですが、どのような経緯で宮代町のことを知りましたか。(あてはまるもの全てに○)



※その他として、「東武動物公園に行ったことがある」「仕事で知った」「宮代高校に通っていた」「日本工業大学に通っていた」などの回答があげられている。

〈全体〉

どのような経緯で宮代町を知ったかは、「以前町内または近隣市町などに住んでいた」56.5%が特に高く、「電車や車で通った」及び「友人・知人・親族などを通じて知った」22.4%、「町内イベントや施設に来た」16.4%などの順である。

単位: %

属性	1位	2位	3位	4位
男性 (n=83)	以前町内または近隣市町などに住んでいた 48.2	友人・知人・親族などを通じて知った 28.9	電車や車で通った 26.5	町内イベントや施設に来た 14.5
女性 (n=126)	以前町内または近隣市町などに住んでいた 62.7	電車や車で通った 20.6	友人・知人・親族などを通じて知った 18.3	町内イベントや施設に来た 17.5

〈性別〉

男女ともに「以前町内または近隣市町などに住んでいた」が1位にあげられており、男性が女性を上回るのは「友人・知人・親族などを通じて知った」「電車や車で通った」、女性が男性を上回るのは、「以前町内または近隣市町などに住んでいた」、「町内イベントや施設に来た」である。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

単位：％

属性	1位	2位	3位	4位
20 歳代以下 (n=50)	以前町内または近隣市町などに住んでいた 56.0	電車や車で通った 32.0	友人・知人・親族などを通じて知った 22.0	町内イベントや施設に来た 14.0
30 歳代 (n=81)	以前町内または近隣市町などに住んでいた 58.0	電車や車で通った 22.2	友人・知人・親族などを通じて知った 21.0	町内イベントや施設に来た 17.3
40 歳代 (n=33)	以前町内または近隣市町などに住んでいた 66.7	町内イベントや施設に来た／電車や車で通った／友人・知人・親族などを通じて知った 15.2		
50 歳代 (n=19)	以前町内または近隣市町などに住んでいた 63.2	友人・知人・親族などを通じて知った 26.3	町内イベントや施設に来た 15.8	電車や車で通った／新聞や雑誌で見た 5.3
60 歳代 (n=12)	以前町内または近隣市町などに住んでいた 58.3	町内イベントや施設に来た／電車や車で通った 33.3		友人・知人・親族などを通じて知った 25.0
70 歳代以上 (n=15)	友人・知人・親族などを通じて知った 46.7	電車や車で通った 26.7	以前町内または近隣市町などに住んでいた 20.0	町内イベントや施設に来た／電車・バス等の吊り広告やポスターを見た 6.7

〈年齢別〉

回答者数が少ない属性があるため単純に比較はできないが、40 歳代から 50 歳代で「以前町内または近隣市町などに住んでいた」、20 歳代以下で「電車や車で通った」の比率がやや高い。

単位：％

属性	1位	2位	3位	4位	
家族の有無 就学前・就学中の	いる (n=68)	以前町内または近隣市町などに住んでいた 60.3	町内イベントや施設に来た 22.1	電車や車で通った 17.6	友人・知人・親族などを通じて知った 13.2
	いない (n=140)	以前町内または近隣市町などに住んでいた 55.7	友人・知人・親族などを通じて知った 27.1	電車や車で通った 25.0	町内イベントや施設に来た 13.6

〈就学前・就学中の家族の有無別〉

本人も含め、就学前・就学中の家族の有無で比較すると、就学前・就学中の家族が「いる」方は「以前町内または近隣市町などに住んでいた」「町内イベントや施設に来た」の比率が高い。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

単位：％

属性	1位	2位	3位	4位
転入前都内居住 (n=23)	以前町内または近隣市町などに住んでいた 56.5	友人・知人・親族などを通じて知った 34.8	町内イベントや施設に来た／電車や車で通った／新聞や雑誌で見た	4.3
宮代町以外 考えなかった(n=80)	以前町内または近隣市町などに住んでいた 56.3	友人・知人・親族などを通じて知った 31.3	電車や車で通った 15.0	町内イベントや施設に来た 13.8
道佛居住者 (n=56)	以前町内または近隣市町などに住んでいた 62.5	町内イベントや施設に来た 23.2	電車や車で通った 21.4	友人・知人・親族などを通じて知った 14.3

〈転入前に都内居住〉

回答者数が少ないため単純に比較はできないが、転入前、都内に居住していた方は、全体と比較して「友人・知人・親族などを通じて知った」の比率が高い。

〈宮代町以外考えなかった〉

転入の際、宮代町以外を考えなかった方は、全体と比較して「友人・知人・親族などを通じて知った」の比率がやや高い。

〈道佛居住者〉

転入後、道佛地区に居住している方は、全体と比較して「以前町内または近隣市町などに住んでいた」「町内イベントや施設に来た」の比率が高い。

単位：％

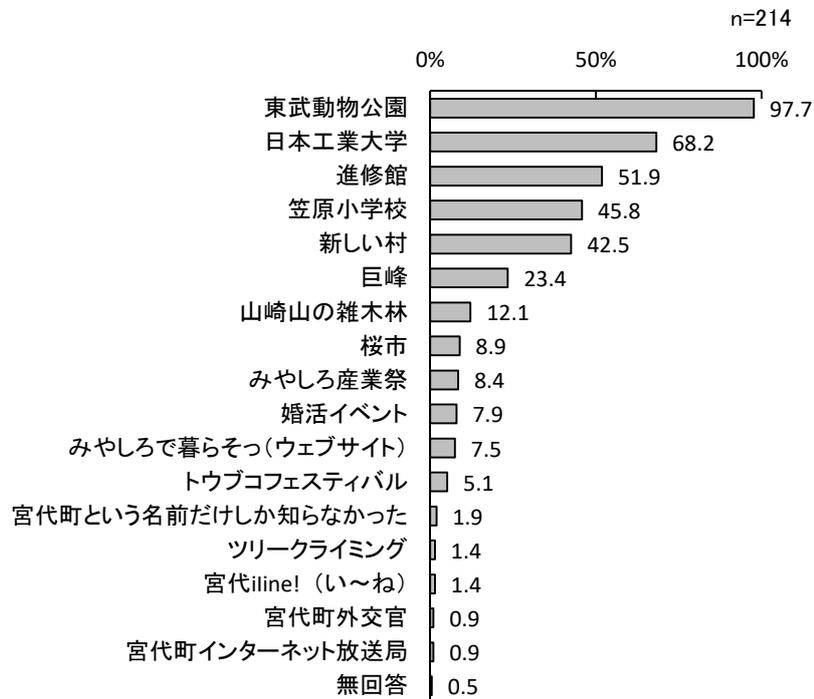
属性	1位	2位	3位	4位
現在持家 (n=121)	以前町内または近隣市町などに住んでいた 62.0	電車や車で通った 23.1	町内イベントや施設に来た 18.2	友人・知人・親族などを通じて知った 17.4
現在借家 (n=78)	以前町内または近隣市町などに住んでいた 48.7	友人・知人・親族などを通じて知った 28.2	電車や車で通った 24.4	町内イベントや施設に来た 14.1

〈転入後の住宅〉

転入後の住宅の所有形態別では、現在持家の方は「以前町内または近隣市町などに住んでいた」、現在借家の方は「友人・知人・親族などを通じて知った」の比率がやや高い。

(3) 宮代町について知っていたこと

問 16 宮代町について知っていたこと全てに○をつけてください。また、他に宮代町について知っていたことがあればご記入ください。(あてはまるもの全てに○)



〈全体〉

宮代町について知っていたことは、「東武動物公園」97.7%が特に高く、「日本工業大学」68.2%、「進修館」51.9%、「笠原小学校」45.8%、「新しい村」42.5%などの順である。

単位: %

属性	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=83)	東武動物公園 96.4	日本工業大学 73.5	進修館 45.8	笠原小学校 38.6	新しい村 38.6
女性 (n=126)	東武動物公園 99.2	日本工業大学 65.9	進修館 57.9	笠原小学校 52.4	新しい村 46.0

〈性別〉

男女ともに「東武動物公園」が1位にあげられており、男性が女性を上回るのは「日本工業大学」、女性が男性を上回るのは「進修館」「笠原小学校」「新しい村」である。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

単位：％

属性	1位	2位	3位	4位	5位
20歳代以下 (n=50)	東武動物公園 100.0	日本工業大学 72.0	進修館 48.0	笠原小学校 40.0	新しい村 38.0
30歳代 (n=81)	東武動物公園 100.0	日本工業大学 61.7	進修館 55.6	笠原小学校 49.4	新しい村 43.2
40歳代 (n=33)	東武動物公園 97.0	日本工業大学 69.7	進修館／新しい村 54.5		笠原小学校 51.5
50歳代 (n=19)	東武動物公園 84.2	日本工業大学 68.4	進修館／笠原小学校 52.6		新しい村 36.8
60歳代 (n=12)	東武動物公園 100.0	日本工業大学 83.3	笠原小学校 66.7	進修館／新しい村 58.3	
70歳代以上 (n=15)	東武動物公園 100.0	日本工業大学 80.0	進修館 46.7	新しい村 26.7	笠原小学校／巨峰 20.0

〈年齢別〉

回答者数が少ない属性があるため単純に比較はできないが、上位にあげられた項目に大きな差はない。

単位：％

属性		1位	2位	3位	4位	5位
家族の有無 就学前・就学中の	いる (n=68)	東武動物公園 98.5	日本工業大学 60.3	進修館 50.0	笠原小学校 50.0	新しい村 45.6
	いない (n=140)	東武動物公園 97.9	日本工業大学 72.9	進修館 55.0	笠原小学校 45.7	新しい村 42.1

〈就学前・就学中の家族の有無別〉

本人も含め、就学前・就学中の家族の有無で比較すると、就学前・就学中の家族が「いない」方で「日本工業大学」の比率が高い。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

単位：％

属性	1位	2位	3位	4位	5位
転入前都内居住 (n=23)	東武動物公園 100.0	日本工業大学 78.3	笠原小学校 65.2	進修館／新しい村 56.5	
宮代町以外考え なかった(n=80)	東武動物公園 100.0	日本工業大学 78.8	進修館 57.5	笠原小学校 55.0	新しい村 48.8
道佛居住者 (n=56)	東武動物公園 100.0	日本工業大学 53.6	進修館 51.8	笠原小学校 41.1	新しい村 30.4

〈転入前に都内居住〉

回答者数が少ないため単純に比較はできないが、転入前、都内に居住していた方は、全体と比較して「笠原小学校」「新しい村」の比率が特に高い。

〈宮代町以外考えなかった〉

転入の際、宮代町以外を考えなかった方は、全体と比較して「日本工業大学」「笠原小学校」などの比率が高い。

〈道佛居住者〉

転入後、道佛地区に居住している方は、全体と比較して「日本工業大学」「新しい村」の比率が低い。

単位：％

属性	1位	2位	3位	4位	5位
現在持家 (n=121)	東武動物公園 98.3	日本工業大学 66.1	進修館 56.2	笠原小学校 50.4	新しい村 45.5
現在借家 (n=78)	東武動物公園 98.7	日本工業大学 71.8	進修館 47.4	笠原小学校 38.5	新しい村 37.2

〈転入後の住宅〉

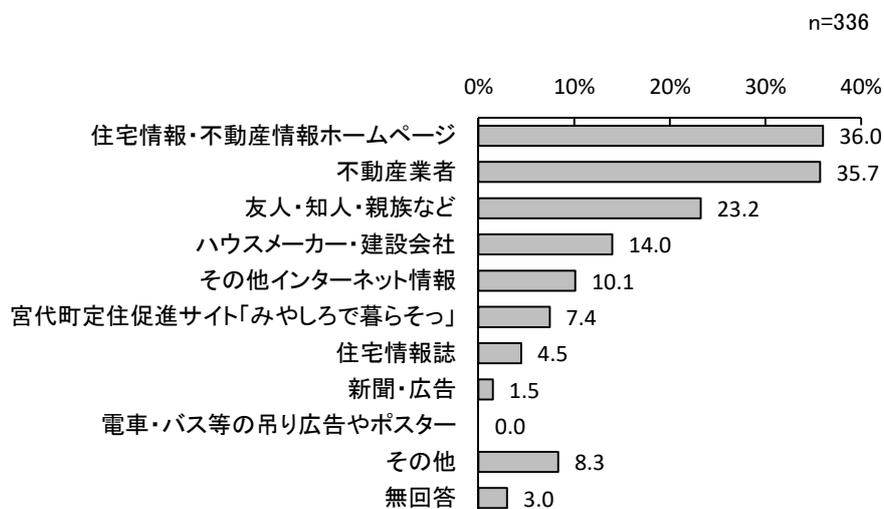
転入後の住宅の所有形態別では、現在借家の方は「日本工業大学」、現在持家の方は「進修館」「笠原小学校」などの比率がやや高い。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

(4) 住まい・転入先を探した時の情報源

全ての方にうかがいます

問 17 住まいや転入先を探した時の情報源は何ですか。(あてはまるもの全てに○)



〈全体〉

住まい・転入先を探した時の情報源は、「住宅情報・不動産情報ホームページ」36.0%、「不動産業者」35.7%、「友人・知人・親族など」23.2%、「ハウスメーカー・建設会社」14.0%、「その他インターネット情報」10.1%などの順である。

単位: %

属性	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=129)	不動産業者 37.2	住宅情報・不動産情報ホームページ 35.7	友人・知人・親族など 23.3	ハウスメーカー・建設会社 14.7	その他インターネット情報 12.4
女性 (n=200)	住宅情報・不動産情報ホームページ 35.5	不動産業者 35.5	友人・知人・親族など 24.0	ハウスメーカー・建設会社 14.0	その他インターネット情報 8.5

〈性別〉

性別ではほとんど差がない。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

単位：％

属性	1位	2位	3位	4位	5位
20歳代以下 (n=80)	不動産業者 42.5	住宅情報・不動産情報ホームページ 37.5	友人・知人・親族など 22.5	ハウスメーカー・建設会社 12.5	宮代町定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」 7.5
30歳代 (n=136)	住宅情報・不動産情報ホームページ／不動産業者 41.2	友人・知人・親族など 22.8	ハウスメーカー・建設会社 18.4	その他インターネット情報 11.0	
40歳代 (n=48)	住宅情報・不動産情報ホームページ 39.6	友人・知人・親族など 22.9	不動産業者 20.8	ハウスメーカー・建設会社 12.5	宮代町定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」／その他インターネット情報 10.4
50歳代 (n=23)	不動産業者 34.8	住宅情報・不動産情報ホームページ 26.1	その他インターネット情報 17.4	友人・知人・親族など 13.0	住宅情報誌／ハウスメーカー・建設会社 8.7
60歳代 (n=23)	不動産業者 39.1	その他インターネット情報 30.4	友人・知人・親族など 26.1	住宅情報・不動産情報ホームページ 21.7	ハウスメーカー・建設会社 13.0
70歳代以上 (n=20)	友人・知人・親族など 45.0	不動産業者 15.0	住宅情報・不動産情報ホームページ 10.0	宮代町定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」／その他インターネット情報／ハウスメーカー・建設会社／新聞・広告 5.0	

〈年齢別〉

回答者数が少ない属性があるため単純に比較はできないが、40歳代以下では「住宅情報・不動産情報ホームページ」、70歳代以上では「友人・知人・親族など」の比率が高い。

単位：％

属性	1位	2位	3位	4位	5位	
家族の有無 就学前・就学中の家族の有無	いる (n=103)	住宅情報・不動産情報ホームページ 37.9	不動産業者 35.0	ハウスメーカー・建設会社 30.1	友人・知人・親族など 16.5	宮代町定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」 14.6
	いない (n=224)	不動産業者 36.2	住宅情報・不動産情報ホームページ 34.4	友人・知人・親族など 26.8	その他インターネット情報 10.7	ハウスメーカー・建設会社 6.3

〈就学前・就学中の家族の有無別〉

本人も含め、就学前・就学中の家族の有無で比較すると、就学前・就学中の家族が「いる」方で「ハウスメーカー・建設会社」「宮代町定住促進サイト『みやしろで暮らそっ』」、「いない」方で「友人・知人・親族など」の比率が高い。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

単位：％

属性	1位	2位	3位	4位	5位
転入前都内居住 (n=44)	不動産業者 29.5	住宅情報・不動産 情報ホームページ 27.3	友人・知人・親族な ど 22.7	その他インターネット情報／ハウスメーカー・ 建設会社	13.6
宮代町以外 考えなかった (n=99)	友人・知人・親族な ど 44.4	住宅情報・不動産 情報ホームページ 22.2	不動産業者 21.2	宮代町定住促進サ イト「みやしろで暮ら そっ」 8.1	ハウスメーカー・建設会 社 5.1
道佛居住者 (n=88)	住宅情報・不動産 情報ホームページ 42.0	不動産業者 34.1	ハウスメーカー・建 設会社 27.3	友人・知人・親族な ど 20.5	宮代町定住促進サイト 「みやしろで暮らそっ」/ その他インターネット情報 9.1

〈転入前に都内居住〉

転入前、都内に居住していた方は、全体と比較して上位項目に大きな差はない。

〈宮代町以外考えなかった〉

転入の際、宮代町以外を考えなかった方は、全体と比較して「友人・知人・親族など」などの比率が特に高い。

〈道佛居住者〉

転入後、道佛地区に居住している方は、全体と比較して「住宅情報・不動産情報ホームページ」「ハウスメーカー・建設会社」の比率が高い。

単位：％

属性	1位	2位	3位	4位	5位
現在持家 (n=185)	住宅情報・不動産 情報ホームページ 35.1	不動産業者 30.3	友人・知人・親族な ど 24.3	ハウスメーカー・建 設会社 23.8	宮代町定住促進サイト 「みやしろで暮らそっ」 10.8
現在借家 (n=133)	不動産業者 45.9	住宅情報・不動産 情報ホームページ 39.1	友人・知人・親族な ど 20.3	その他インターネッ ト情報 12.8	宮代町定住促進サイト 「みやしろで暮らそっ」 3.0

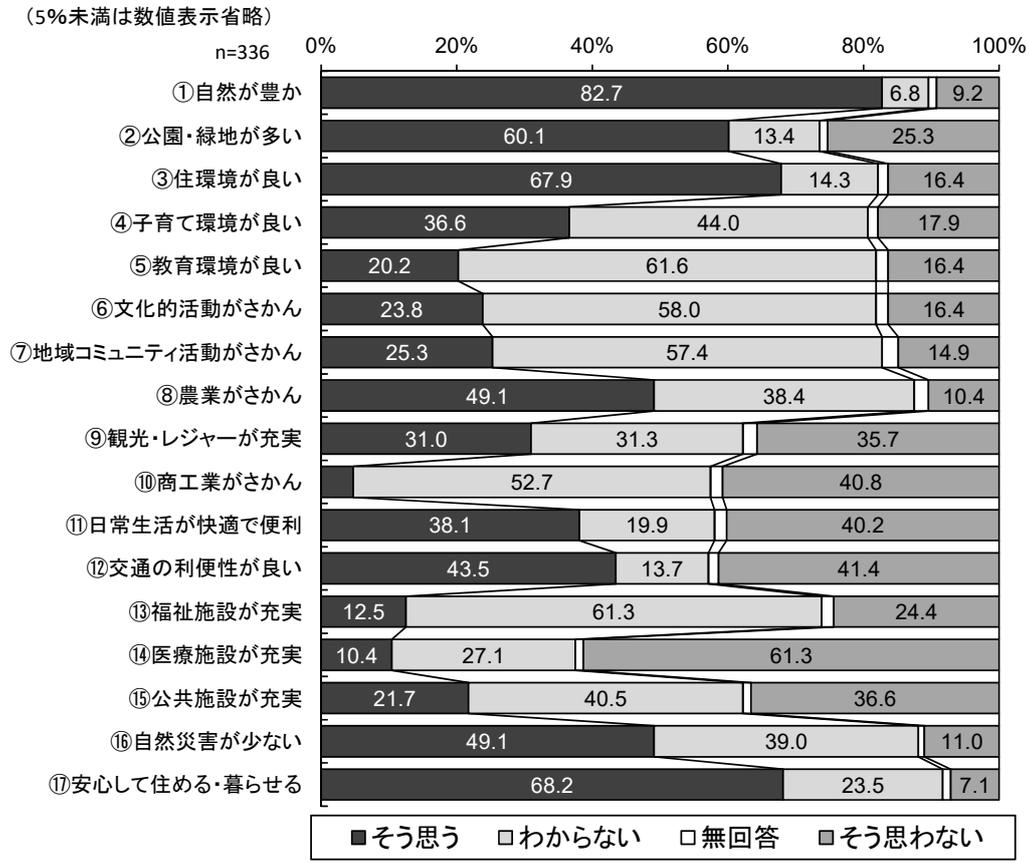
〈転入後の住宅〉

転入後の住宅の所有形態別では、現在借家の方は「不動産業者」「住宅情報・不動産情報ホームページ」、現在持家の方は「友人・知人・親族など」「ハウスメーカー・建設会社」などの比率が高い。

4 町の印象について

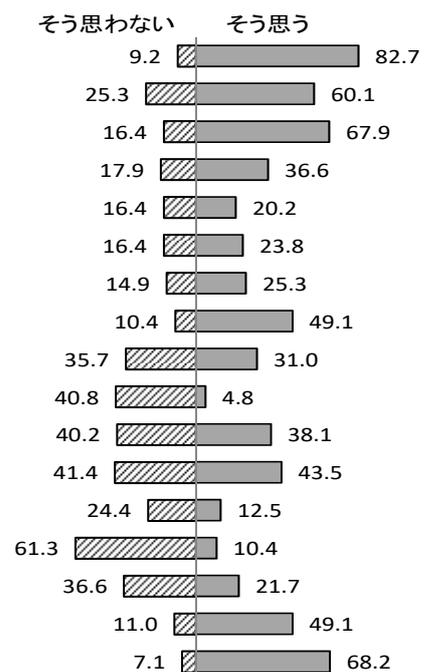
(1) 町に住んでみた感想

問 18 宮代町に実際に住んでみた感想についてお答え下さい。(各1つに○)



住んでみた感想

	■ そう思う	■ そう思わない	□ わからない
自然が豊か	82.7	9.2	
公園・緑地が多い	60.1	25.3	
住環境が良い	67.9	16.4	
子育て環境が良い	36.6	17.9	△
教育環境が良い	20.2	16.4	△
文化的活動がさかん	23.8	16.4	△
地域コミュニティ活動がさかん	25.3	14.9	△
農業がさかん	49.1	10.4	
観光・レジャーが充実	31.0	35.7	
商工業がさかん	4.8	40.8	△
日常生活が快適で便利	38.1	40.2	
交通の利便性が良い	43.5	41.4	
福祉施設が充実	12.5	24.4	△
医療施設が充実	10.4	61.3	
公共施設が充実	21.7	36.6	△
自然災害が少ない	49.1	11.0	
安心して住める・暮らせる	68.2	7.1	



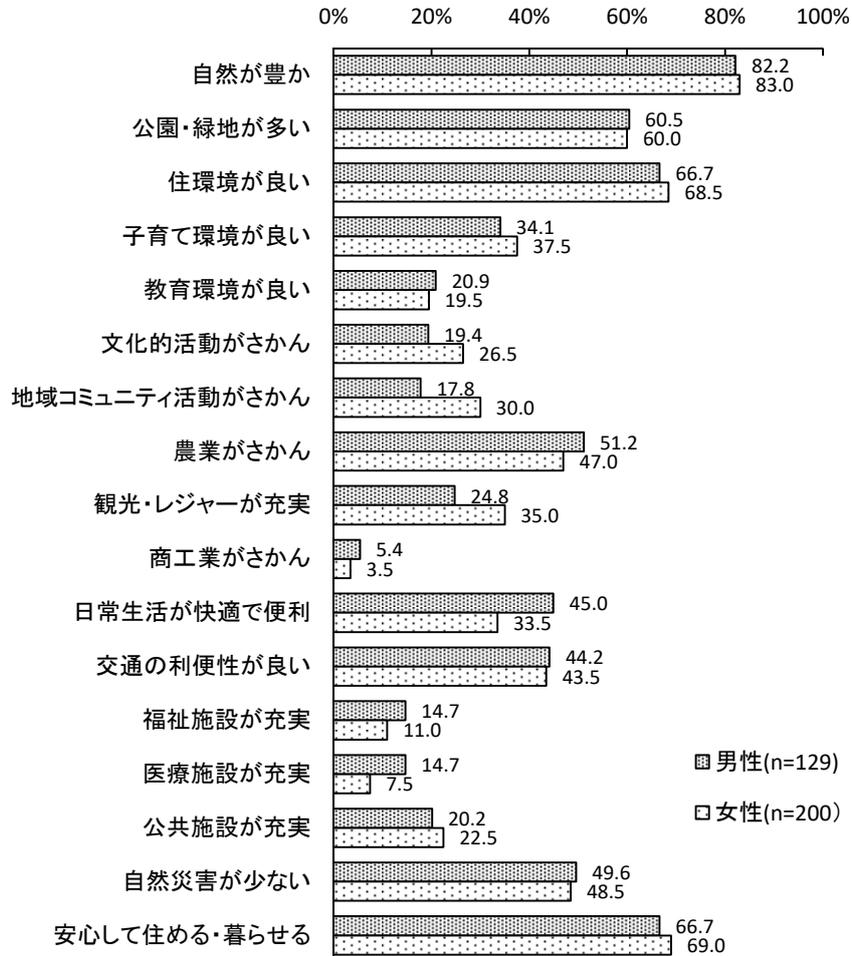
△は「わからない」が40%以上

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

〈全体〉

「そう思う」の比率が高いのは「自然が豊か」82.7%、「安心して住める・暮らせる」68.2%、「住環境が良い」67.9%、「公園・緑地が多い」60.1%、「農業がさかん」及び「自然災害が少ない」49.1%の順である。

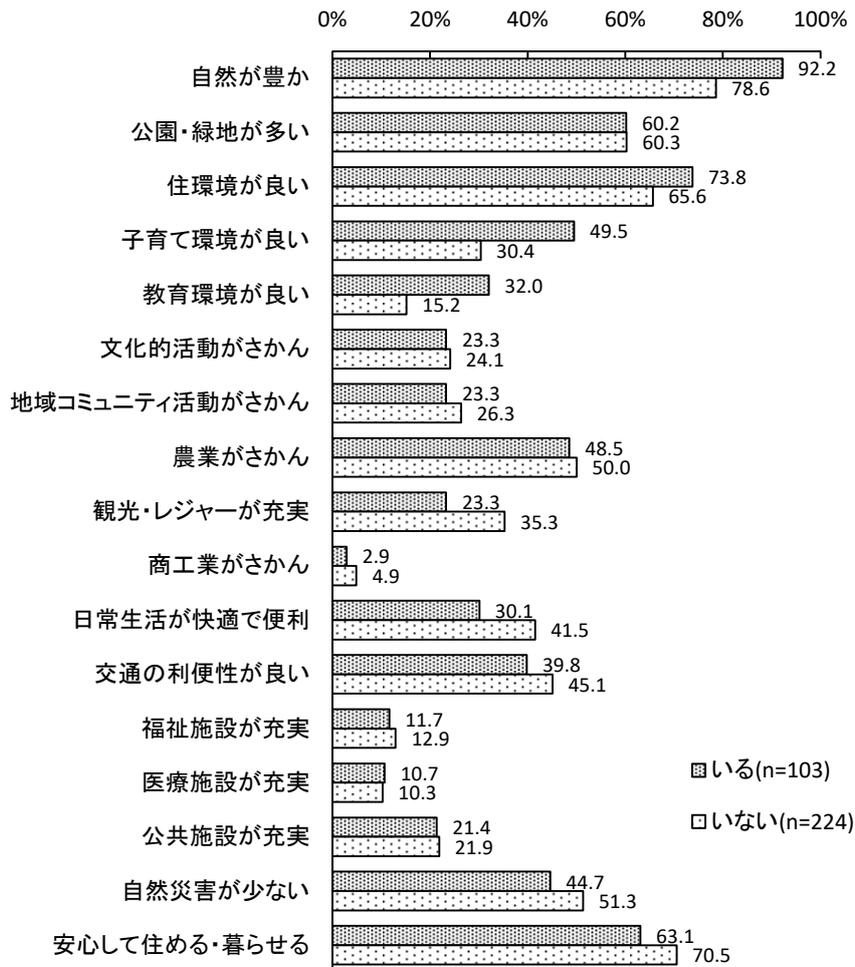
これに対し、「そう思わない」の比率が高いのは、「医療施設が充実」61.3%、「交通の利便性が良い」41.4%、「商工業がさかん」40.8%、「日常生活が快適で便利」40.2%、「公共施設が充実」36.6%である。



〈性別〉

「そう思う」について、男性が女性を上回る項目は、「日常生活が快適で便利」「医療施設が充実」などであるのに対し、女性が男性を上回る項目は、「文化的活動がさかん」「地域コミュニティ活動がさかん」「観光・レジャーが充実」などである。

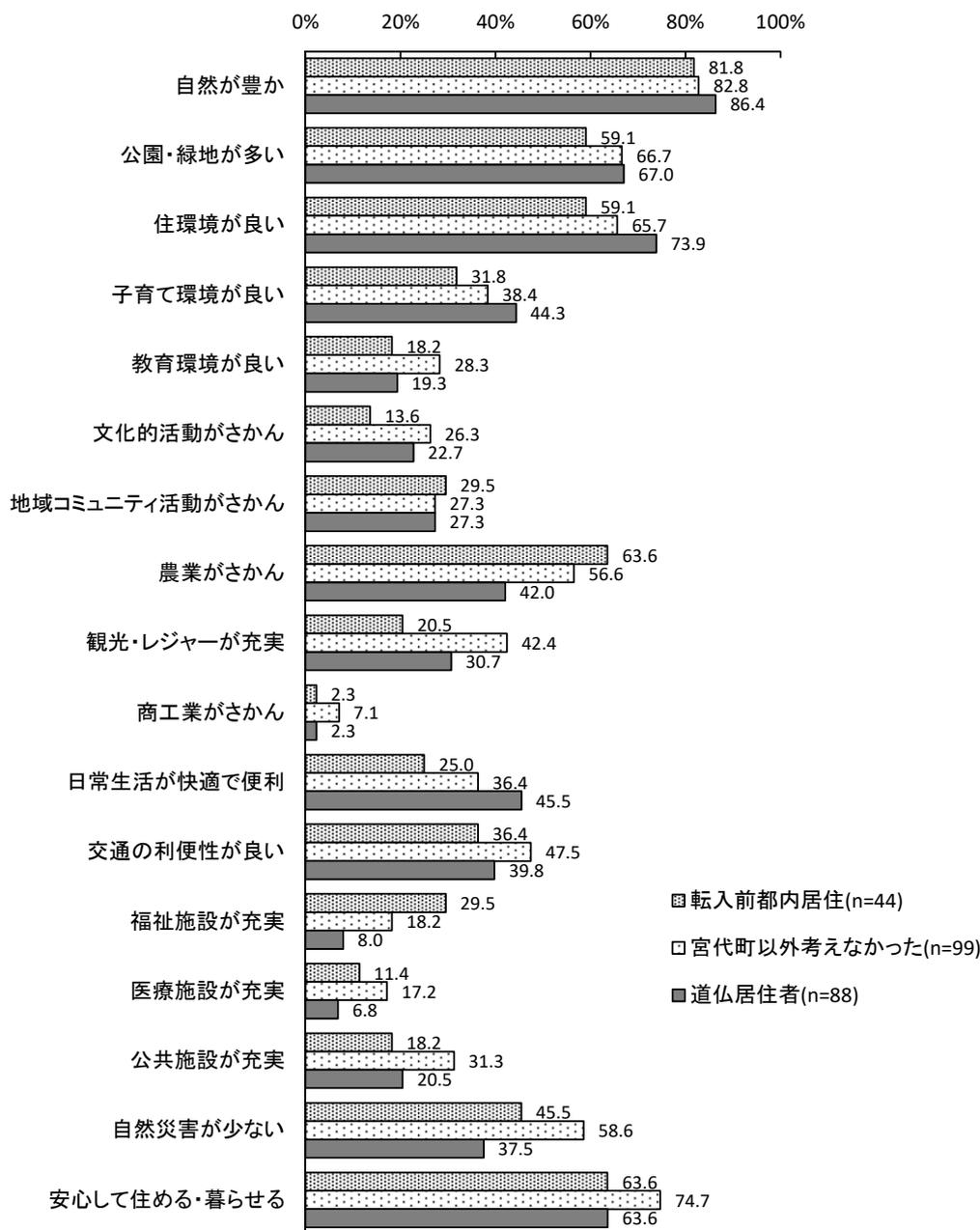
Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果



〈就学前・就学中の家族の有無別〉

「そう思う」について、本人も含め、就学前・就学中の家族の有無で比較すると、就学前・就学中の家族が「いる」方で「自然が豊か」「住環境が良い」「子育て環境が良い」「教育環境が良い」、「いない」方で「観光・レジャーが充実」「日常生活が快適で便利」「交通の利便性が高い」「自然災害が少ない」「安心して住める・暮らせる」の比率が高い。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果



〈転入前に都内居住〉

転入前、都内に居住していた方は、「農業がさかん」「福祉施設が充実」の比率が高い。

〈宮代町以外考えなかった〉

転入の際、宮代町以外を考えなかった方は、「教育環境が良い」「農業がさかん」「観光・レジャーが充実」「交通の利便性が高い」「公共施設が充実」「自然災害が少ない」「安心して住める・暮らせる」などの比率が高い。

〈道仏居住者〉

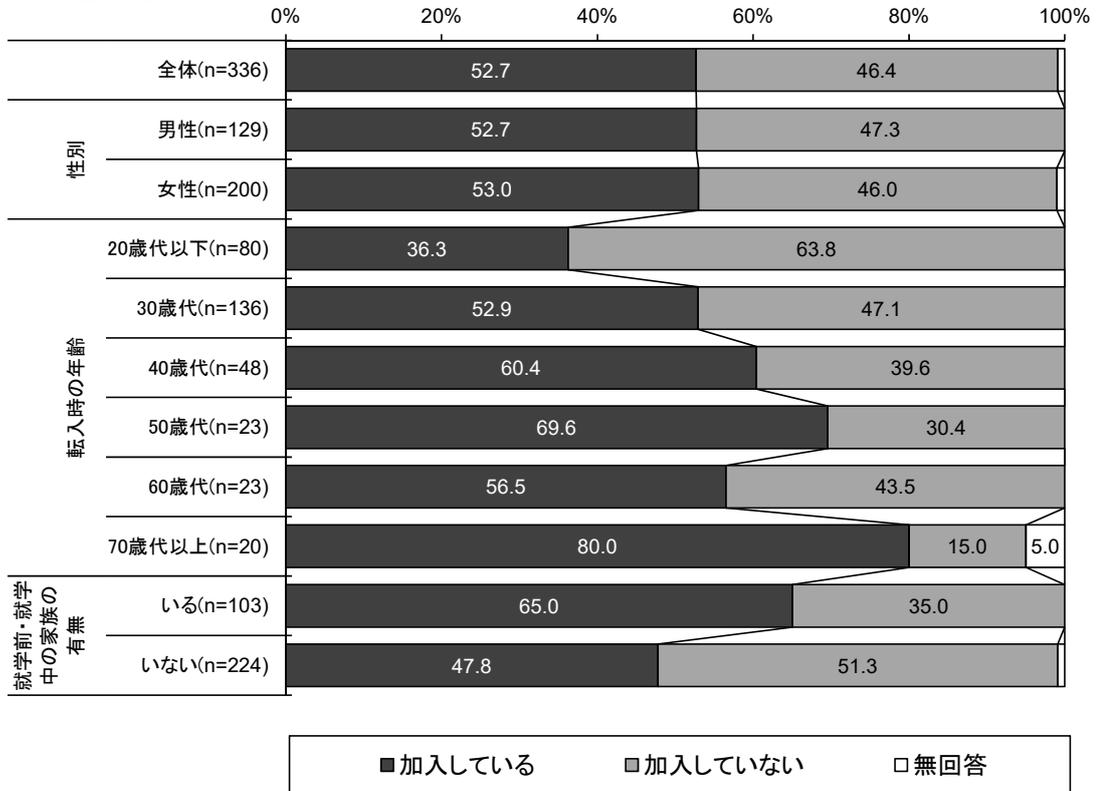
転入後、道仏地区に居住している方は、「住環境が良い」「子育て環境が良い」「日常生活が快適で便利」の比率が高い。

5 自治会について

(1) 自治会・町内会の加入状況

問 19 自治会・町内会に加入していますか。(1つに○)

(5%未満は数値表示省略)



〈全体〉

自治会・町内会の加入状況は、「加入している」52.7%に対し、「加入していない」46.4%となっている。

〈性別〉

性別ではほとんど差がない。

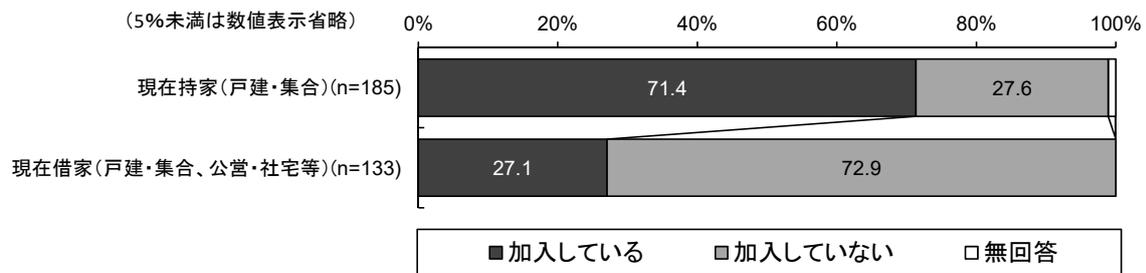
〈年齢別〉

回答者数が少ない属性があるため単純に比較はできないが、60歳代を除き年代が上がるほど「加入している」の比率が高くなっている。

〈就学前・就学中の家族の有無別〉

本人も含め、就学前・就学中の家族の有無で比較すると、就学前・就学中の家族が「いる」方で「加入している」の比率が高い。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

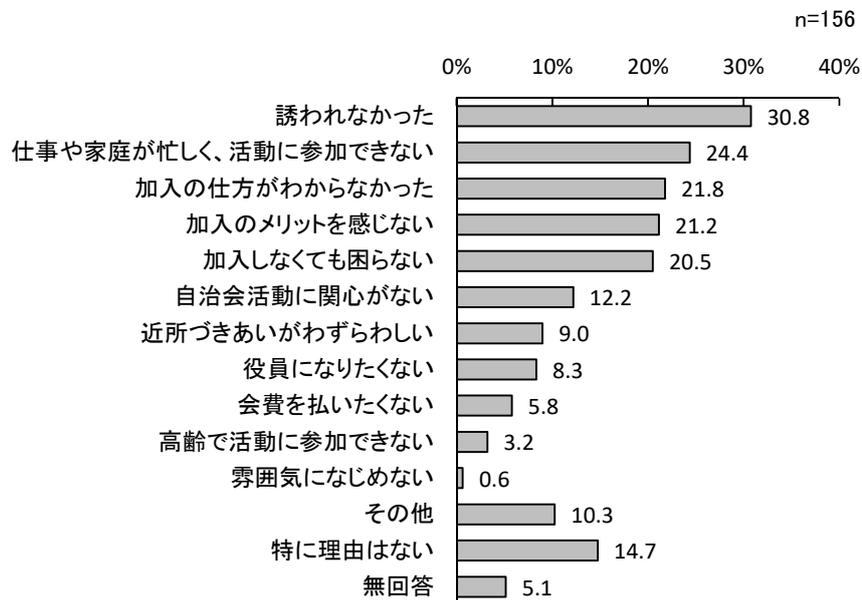


〈転入後の住宅〉

転入後の住宅の所有形態別では、現在持家の方は「加入している」、現在借家の方は「加入していない」の比率が高い。

(2) 自治会・町内会に加入していない主な理由

問 19 で「2. 加入していない」と回答した方にかがいます
問 20 自治会・町内会に加入していない主な理由は何ですか。(3つまで○)



※その他として、「アパート・集合住宅なので」「自治会・町内会があるかわからない」などの回答があげられている。

〈全体〉

自治会・町内会に加入していない主な理由は、「誘われなかった」30.8%が最も高く、「仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない」24.4%、「加入の仕方がわからなかった」21.8%、「加入のメリットを感じない」21.2%、「加入しなくても困らない」20.5%などの順である。

単位: %

属性	1位	2位	3位	4位	5位	特に理由はない
男性 (n=61)	仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない 32.8	誘われなかった 31.1	加入のメリットを感じない 26.2	加入しなくても困らない 23.0	自治会活動に関心がない 19.7	11.5
女性 (n=92)	誘われなかった 30.4	加入の仕方がわからなかった 23.9	加入しなくても困らない／仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない	19.6	加入のメリットを感じない 17.4	16.3

〈性別〉

男性では「仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない」、女性では「誘われなかった」が1位にあげられており、男性が女性を上回るのは「仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない」「加入のメリットを感じない」「加入しなくても困らない」「自治会活動に関心がない」、女性が男性を上回るのは「加入の仕方がわからなかった」などである。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

単位:%

属性		1位	2位	3位	4位	5位	特に理由はない		
家族の有無 就学前・就学中	いる (n=36)	加入のメリットを感じない／加入しなくても困らない／誘われなかった		27.8	加入の仕方がわからなかった	25.0	仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない	19.4	13.9
	いない (n=115)	誘われなかった	30.4	仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない	27.0	加入の仕方がわからなかった	20.0	加入のメリットを感じない／加入しなくても困らない	19.1

〈就学前・就学中の家族の有無別〉

本人も含め、就学前・就学中の家族の有無で比較すると、就学前・就学中の家族が「いる」方で「加入のメリットを感じない」「加入しなくても困らない」「誘われなかった」、「いない」方で「誘われなかった」「仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない」が上位にあげられている。

単位:%

属性	1位	2位	3位	4位	5位	特に理由はない					
転入前都内居住 (n=21)	加入のメリットを感じない	38.1	仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない	33.3	自治会活動に関心がない／誘われなかった	28.6	役員になりたくない	19.0	9.5		
宮代町以外考えなかった (n=47)	誘われなかった	21.3	加入のメリットを感じない／加入しなくても困らない／仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない		19.1	加入の仕方がわからなかった	14.9	25.5			
道佛居住者 (n=43)	加入のメリットを感じない	30.2	誘われなかった	27.9	加入しなくても困らない	25.6	加入の仕方がわからなかった	23.3	仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない	16.3	18.6

〈転入前に都内居住〉

回答者数が少ないため単純に比較はできないが、転入前、都内に居住していた方は、全体と比較して「加入のメリットを感じない」「仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない」「自治会活動に関心がない」などの比率が高い。

〈宮代町以外考えなかった〉

転入の際、宮代町以外を考えなかった方は、全体と比較して「特に理由はない」の比率が高い。

〈道佛居住者〉

転入後、道佛地区に居住している方は、全体と比較して「加入のメリットを感じない」「加入しなくても困らない」の比率がやや高い。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

単位：%

属性	1位	2位	3位	4位	5位	特に理由はない
現在持家 (n=51)	加入のメリットを感じない 35.3	加入しなくても困らない 27.5	誘われなかった 25.5	加入の仕方がわからなかった 19.6	仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない／役員になりたくない 17.6	9.8
現在借家 (n=97)	誘われなかった 33.0	仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない 27.8	加入の仕方がわからなかった 23.7	加入しなくても困らない 17.5	加入のメリットを感じない 12.4	16.5

〈転入後の住宅〉

転入後の住宅の所有形態別では、現在持家の方は「加入のメリットを感じない」「加入しなくても困らない」、現在借家の方は「誘われなかった」「仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない」などの比率が高い。

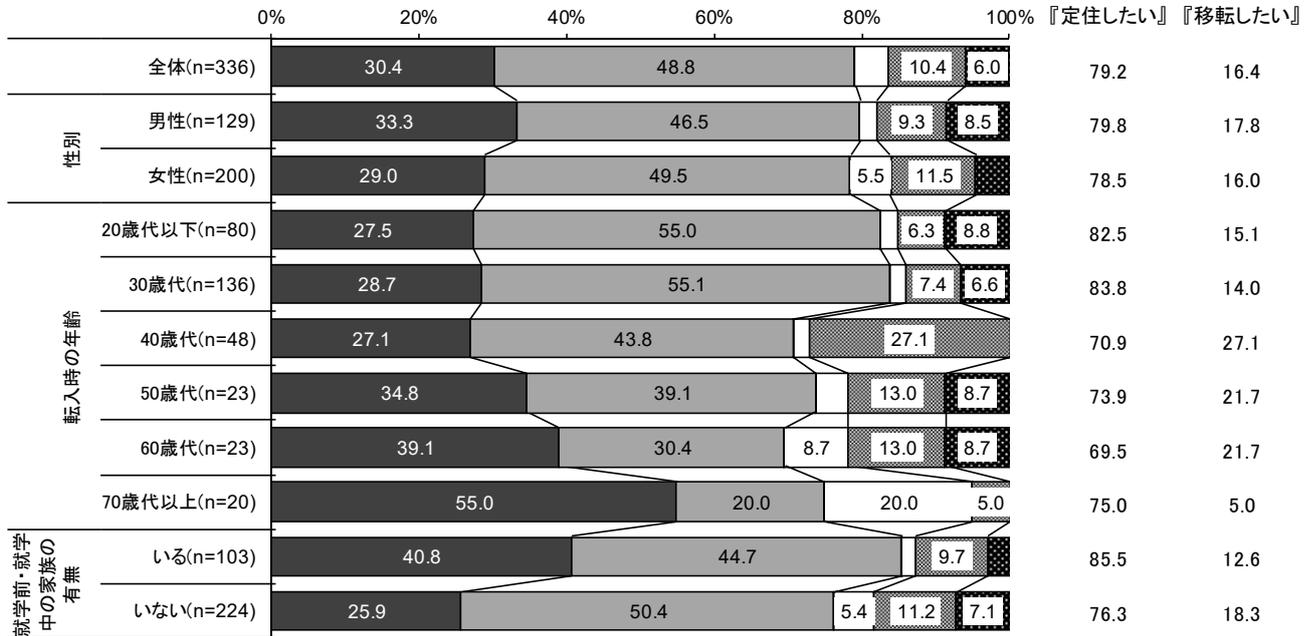
Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

6 今後の定住意向について

(1) 今後の定住意向

問 21 あなたは、これからも宮代町に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

(5%未満は数値表示省略)



■永住したい □当分の間住みたい □無回答 ■できれば移転したい ■移転する

〈全体〉

「永住したい」30.4%、「当分の間住みたい」48.8%を合わせた『定住したい』は79.2%である。これに対し、「できれば移転したい」10.4%、「移転する」6.0%を合わせた『移転したい』は16.4%である。

〈性別〉

性別ではほとんど差がない。

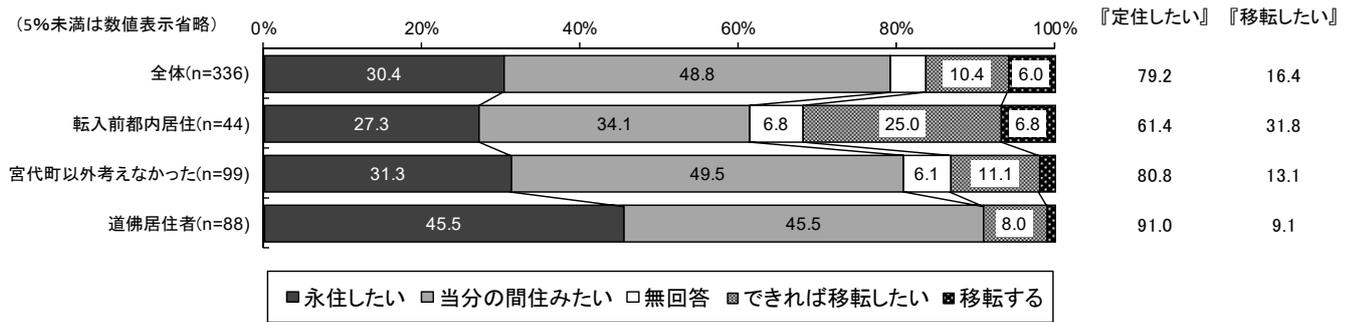
〈年齢別〉

50歳代以上で年齢が上がるほど「永住したい」の比率が高くなっている。『移転したい』は、40歳代から60歳代で2割を超えて比較的高い。

〈就学前・就学中の家族の有無別〉

本人も含め、就学前・就学中の家族の有無で比較すると、就学前・就学中の家族が「いる」方は「いない」方よりも「永住したい」の比率が高い。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果



〈転入前に都内居住〉

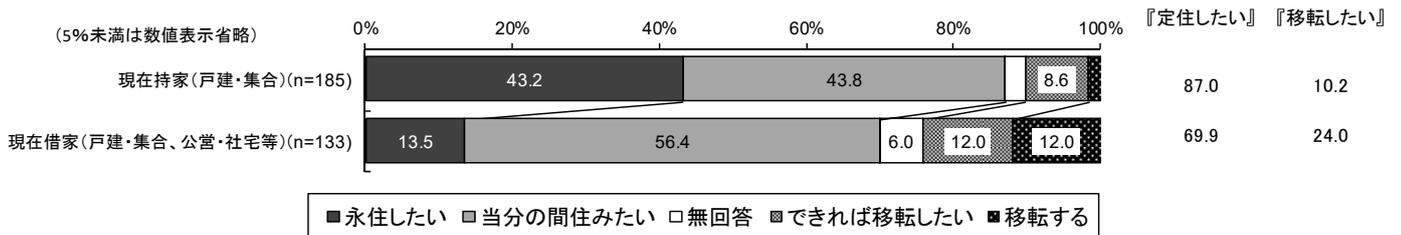
転入前、都内に居住していた方は、全体と比較して『移転したい』の比率が高い。

〈宮代町以外考えなかった〉

転入の際、宮代町以外を考えなかった方は、全体と比較して『移転したい』の比率がやや低い。

〈道佛居住者〉

転入後、道佛地区に居住している方は、全体と比較して『定住したい』の比率が高い。



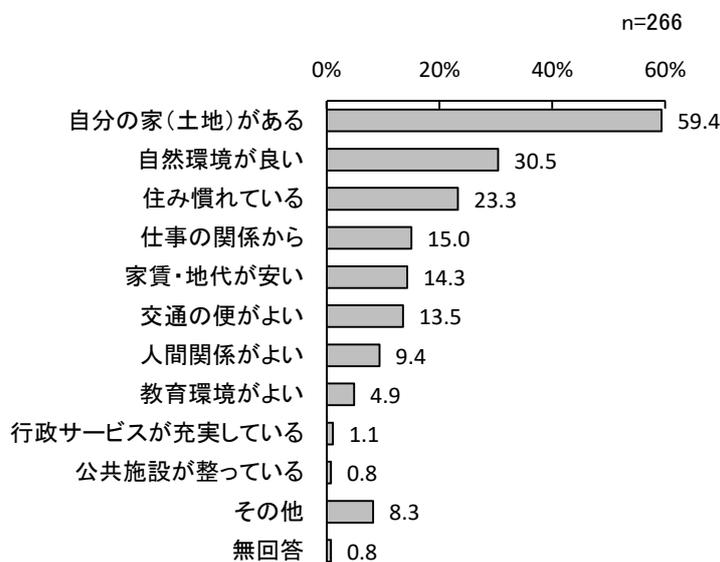
〈転入後の住宅〉

転入後の住宅の所有形態別では、現在持家の方は『定住したい』、現在借家の方は『移転したい』の比率が高い。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

(2) 住み続けたい理由

問 21-1 「永住したい」「当分の間住みたい」とお答えになった方におたずねします。
その主な理由は何ですか。(2つに〇)



※その他として、「子どものために引っ越したくない」「家族が近くにいるから」などの回答があげられている。

〈全体〉

住み続けたい主な理由は、「自分の家(土地)がある」59.4%が最も高く、「自然環境が良い」30.5%、「住み慣れている」23.3%、「仕事の関係から」15.0%、「家賃・地代が安い」14.3%、「交通の便がよい」13.5%などの順である。

単位:%

属性	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=103)	自分の家(土地)がある 57.3	自然環境が良い 27.2	住み慣れている 26.2	仕事の関係から 18.4	家賃・地代が安い 16.5
女性 (n=157)	自分の家(土地)がある 63.1	自然環境が良い 31.8	住み慣れている 22.3	交通の便がよい 14.6	仕事の関係から 12.7
20歳代以下 (n=66)	自分の家(土地)がある 45.5	住み慣れている 28.8	自然環境が良い 27.3	仕事の関係から 22.7	家賃・地代が安い 21.2
30歳代 (n=114)	自分の家(土地)がある 62.3	自然環境が良い 28.9	住み慣れている 22.8	仕事の関係から 14.9	家賃・地代が安い 12.3
40歳代 (n=34)	自分の家(土地)がある 88.2	自然環境が良い 26.5	住み慣れている 23.5	人間関係がよい 11.8	仕事の関係から 8.8
50歳代 (n=17)	自分の家(土地)がある 64.7	自然環境が良い 47.1	住み慣れている 23.5	仕事の関係から 17.6	人間関係がよい／ 交通の便がよい 11.8
60歳代 (n=16)	自分の家(土地)がある 68.8	交通の便がよい 37.5	自然環境が良い 25.0	家賃・地代が安い 18.8	住み慣れている 12.5
70歳代以上 (n=15)	自然環境が良い 46.7	自分の家(土地)がある 33.3	家賃・地代が安い 26.7	住み慣れている／人間関係がよい／ 交通の便がよい	20.0

〈性別〉

男性が女性を上回るのは「住み慣れている」「仕事の関係から」「家賃・地代が安い」、女性が男性を上回るのは「自分の家（土地）がある」「自然環境が良い」「交通の便がよい」などである。

〈年齢別〉

回答者数が少ない属性があるため単純な比較はできないが、70歳代以上を除く全ての年代で「自分の家（土地）がある」が1位にあげられている。全体と比較すると、20歳代以下で「仕事の関係から」の比率がやや高い。

単位：%

属性		1位	2位	3位	4位	5位
家族の有無 就学前・就学中	いる (n=88)	自分の家(土地)がある 72.7	自然環境が良い 27.3	住み慣れている 21.6	人間関係がよい 13.6	仕事の関係から 10.2
	いない (n=171)	自分の家(土地)がある 54.4	自然環境が良い 31.6	住み慣れている 25.1	家賃・地代が安い 18.1	仕事の関係から 17.0

〈就学前・就学中の家族の有無別〉

本人も含め、就学前・就学中の家族の有無で比較すると、就学前・就学中の家族が「いる」方で「自分の家（土地）がある」「人間関係がよい」、「いない」方で「住み慣れている」「家賃・地代が安い」「仕事の関係から」などの比率が高い。

単位：%

属性	1位	2位	3位	4位	5位
転入前都内居住 (n=27)	自分の家(土地)がある 55.6	住み慣れている 44.4	自然環境が良い 25.9	交通の便がよい 14.8	教育環境がよい/ 家賃・地代が安い 7.4
宮代町以外 考えなかった (n=80)	自分の家(土地)がある 48.8	住み慣れている 36.3	自然環境が良い 28.8	家賃・地代が安い 17.5	仕事の関係から/ 交通の便がよい 12.5
道佛居住者 (n=80)	自分の家(土地)がある 80.0	自然環境が良い 33.8	住み慣れている 17.5	仕事の関係から 15.0	人間関係がよい 12.5

〈転入前に都内居住〉

回答者数が少ないため単純に比較はできないが、転入前、都内に居住していた方は、全体と比較して「住み慣れている」の比率が高い。

〈宮代町以外考えなかった〉

転入の際、宮代町以外を考えなかった方は、全体と比較して「住み慣れている」の比率が高い。

〈道佛居住者〉

転入後、道佛地区に居住している方は、全体と比較して「自分の家（土地）がある」の比率が特に高い。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

単位：%

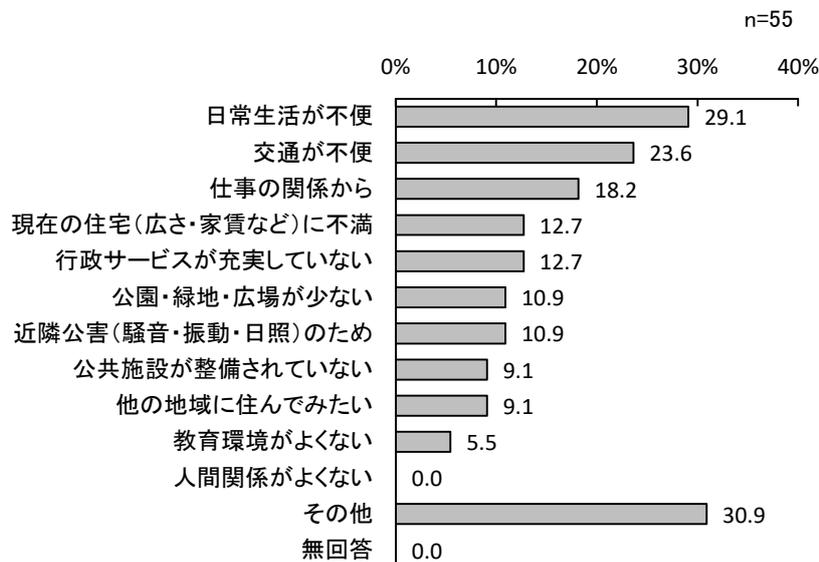
属性	1位	2位	3位	4位	5位
現在持家 (n=161)	自分の家(土地)がある 84.5	自然環境が良い 28.0	住み慣れている 21.7	交通の便がよい 12.4	人間関係がよい 10.6
現在借家 (n=93)	自然環境が良い 35.5	家賃・地代が安い 31.2	仕事の関係から 23.7	住み慣れている 22.6	自分の家(土地)がある 20.4

〈転入後の住宅〉

転入後の住宅の所有形態別では、現在持家の方は「自分の家（土地）がある」、現在借家の方は「自然環境が良い」「家賃・地代が安い」「仕事の関係から」などの比率が高い。

(3) 移転したい理由

問 21-2 「できれば移転したい」「移転する」とお答えになった方におたずねします。
その主な理由は何ですか。(2つに〇)



※その他として、「医療環境が不満」「商業・買い物環境に不満」などの回答があげられている。

〈全体〉

移転したい主な理由は、「日常生活が不便」29.1%が最も高く、「交通が不便」23.6%、「仕事の関係から」18.2%、「現在の住宅(広さ・家賃など)に不満」と「行政サービスが充実していない」12.7%などの順である。

単位:%

属性	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=23)	日常生活が不便／交通が不便 30.4		仕事の関係から 21.7	現在の住宅(広さ・家賃など)に不満 17.4	行政サービスが充実していない 13.0
女性 (n=32)	日常生活が不便 28.1	交通が不便 18.8	仕事の関係から／近隣公害(騒音・振動・日照)のため／公共施設が整備されていない 15.6		

〈性別〉

回答者数が少ないため単純に比較できないが、男性が女性を上回るのは「交通が不便」「仕事の関係から」「現在の住宅(広さ・家賃など)に不満」、女性が男性を上回るのは「近隣公害(騒音・振動・日照)のため」「公共施設が整備されていない」などである。

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

7 町の将来像について

(1) 町の将来像について

問 22 将来の宮代町の姿について、簡単な標語やキャッチフレーズで表現してください。また、その標語、キャッチフレーズについてのあなたの願いや、お考え等があればお書きください。

町の将来像について、336人中108人から提案があった。寄せられた標語・キャッチフレーズの年代別の内容は以下の通りである。

10代(回答数2件)

自然豊か、落ち着ける町
ちびっこの町宮代

20代(回答数19件)

頑張る人を応援します！宮代町
子は宝
温かさ 与えたあなたは 宮代町民
動物公園へいらっしゃ！
環境がいい場所ー宮代町
地域の活性化・住みやすい町
住みやすい町
スリー(3)S
自然豊かで子育てしやすい町
いい店いっぱい宮代タウン
子育てしやすい町
地元に帰って安らぐ自然環境
○みんななかよし○やさしさあふれる○しぜんゆたかな
すてきなみやし○ろ
自然と生活。ナチュラルライフ。
宮代町笑顔あふれるいいまちに
子供をのびのび育てる町
のんびりいこう宮代町
輝け 宮代町！
ほどよく暮らしやすい

30代(回答数48件)

穏やかな日常
日本で一番安らげる場所、宮代
共生、共同のまちづくり宮代
未来につなげる宮代愛。
子育て環境が良い町
ハイブリッド レジャー シティ
身屋食侶 (みやしろ)
住んでよかった宮代町、働いてよかった宮代町、いい街だ宮代町

Experience Town MIYASHIRO 町をブランド化する
→住むことがステータスイメージとなる
老後も安心・いきいき暮らせる宮代町
懐かしい気持ちを思いおこさせる町
みやしろ皆知ろう
緑と動物の街 宮代
小さな助け合いは大きな喜び！
住みやすい町
自然あふれる遊べる町！
住みやすい町宮代
人間も動物も安全に住める町 宮代町
虹の色 輝く放つ 宮代町
医・職・住の整った自給自足の町
駅はないけど静かな環境
自然がたくさんある町 帰ってきたくなる町
住みやすい町
のびのび 子育て 宮代町
本当に子育てしやすい町
子供が集まる町、宮代
未来が楽しくなる町づくり
皆で作ろう宮代町
緑豊か、子どもがのびのび宮代町
のびのび・いきいき宮代町
住みやすい町宮代
赤ちゃんからお年寄りまで安心して暮らせる町
自然豊かなコンパクトシティ
のびのび安心して暮らせる町、みやしろ
ずっと住みたい町／もっと住みやすい町
自然豊かな宮代町～四季折々の風景を楽しむ～
光あふれる和みの町
みんなに愛される町、宮代、安心できる町
ともだちがたくさんできるまち
緑と笑顔の多い町
緑豊かなはだし教育の町宮代
ゆっくり歩こう宮代町
～やすらぎのまち～みやしろ ほっこり あったか みんな集まれ～
「あったか 宮代 だ～いすき」

昼はわいわい、夜はすやすや
 笑顔弾ける町宮代
 のんびりとほどよく暮らせる みやしろ
 出かける楽しさより帰りたいと思う町、宮代

40代(回答数 19件)

未来を照らせ！輝く宮代！！
 子どもたちが笑顔で暮らせる町宮代
 子供が育てやすい開かれた宮代町。イク町。
 人が増えるような他の市町村にアピールできる町の
 支援や援助
 隣のオアシス
 また宮代に行こっ！・宮代で遊ぼっ！
 みんなのんびり宮代♡
 ZOO っと宮代！
 Evolution
 OFF は宮代
 自治会業務がなくゴミ当番もないクリーンな住みやす
 い町
 宮代、行きまーす！！
 緑豊かな誰もがのんびりできる町
 チャイルドファースト
 お隣の空き家は大丈夫？ハクビシン 今日声掛け
 ごめんください
 住み心地一番！笑顔の花開く町、宮代
 みんなが外に飛び出したくなる町
 安心して暮らせる町
 全ての世代が幸せな町

50代(回答数 8件)

子育てがしやすい街 み・や・し・ろ
 naturally,naturalness
 難しい間です。思い浮かびません
 脱・町 大きな市へ
 のんびり 宮代
 遊べて、学べて、美味しく、住みやすく！
 ストレスのない町みやしろ
 緑豊かな田園都市と思う。

60代(回答数 6件)

治あんのあんてい
 人と人が輪になって笑顔いっぱい宮代の町
 住みやすいけどちょっと不便
 小さな命が守られる町
 東京のベッドタウン
 ちょっと寄り道、宮代へ

70代以上(回答数 3件)

成熟の町！！
 安心・安全な町
 ”老人も生き生き住める宮代町”

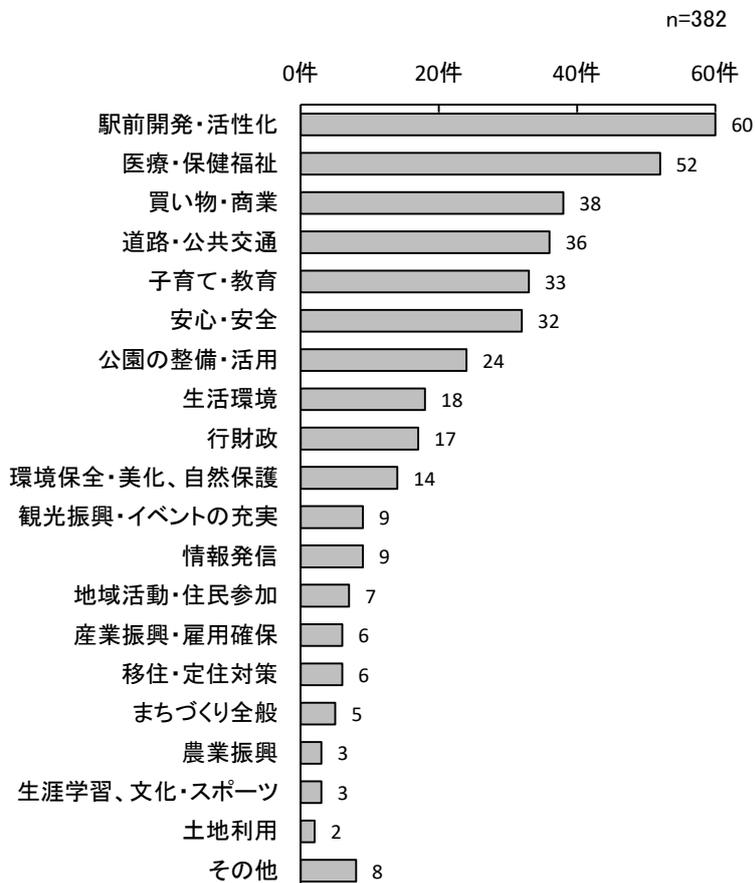
年代不明(回答数 3件)

都会に近い田舎暮らし
 みどり/自然/子ども～高齢者まで住みやすい
 南埼玉郡を南埼玉市へ変えよう！

Ⅲ 転入者住民意識調査 調査結果

8 自由回答

○最後になりましたが、宮代町のまちづくりについて、アイデアやご意見がありましたら、ご自由に記入してください。



宮代町のまちづくりについて自由に記入していただいたところ、回答があったのは 336 人中 207 人で、アンケート回答者数の 61.6% となった。複数の内容に関して記入されたものを内容別に分類すると、記入総数は 382 件となる。

内容別に最も意見が多く寄せられたのは「駅前開発・活性化」に関連するもので、次いで「医療・保健福祉」「買い物・商業」「道路・公共交通」などの順となっている。

資料編：調査票

○住民意識調査 調査票



宮代町住民意識調査ご協力をお願い

日ごろから、宮代町のまちづくりにご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。
ございます。

宮代町では、現在、令和3年度からの10年間の期間とする「第5次総合計画」を策定する作業を進めています。

総合計画は、人口減少や高齢化が急速に進展する中、将来像や取り組むべき施策を掲げ、計画的にまちづくりを進めるためのいわばまちづくりの羅針盤となるものです。

この度、総合計画に掲げるべき将来像や施策を検討する過程において町民の皆さまのご意見を伺う1つの大切な機会として、町内にお住まいの18歳以上の3,000人を対象に住民意識調査を実施することといたしました。

町民の皆さまのご意見をおうかがいして、共に宮代の未来を描いていきたいと考えていますので、お忙しい中とは思いますが、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和元年6月

宮代町長 新井 康之

■ご記入にあたってのお願い

1. 問いごとに「1つに○」「あてはまるもの全てに○」などと指定していますので、ご確認の上、回答をお願いいたします。
2. 回答のうち「その他」を選んだ場合、具体的に記入いただく欄を設けておりますので、ご記入をお願いいたします。
3. 調査は無記名方式で、お答えいただきました回答は、統計的に処理するとともに、個人が特定されないよう配慮した上で取り扱うこととしております。
4. ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒により **7月1日（月）まで**に切手を貼らずに投函してください。

■この調査票についてのお問い合わせ先

宮代町 企画財政課 対話のまちづくり推進担当（役場庁舎2階 窓口番号⑪）

電話：0480-34-1111（内線：214・215）

FAX：0480-34-7820

メール：kaikaku@town.miyashiro.saitama.jp

1. あなたのことについて

問1 あなたご自身のことについておたずねします。下の表の設問について、あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○をしてください。その他の場合はその内容をご記入ください。

①性別	1. 男性	2. 女性	
②年齢	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代	5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代以上	
③宮代町へお住まいになってからの期間	1. 5年未満 2. 5～9年	3. 10～19年 4. 20年以上	
④職種	1. 農業 2. 会社員・勤め人 3. 自営業 4. 公務員・教員（団体職員等） 5. 主婦・主夫	6. パート・アルバイト等 7. 学生（高校・専門含む） 8. 無職（定年退職含む） 9. その他 （ ）	
⑤勤務地・通学地	1. 宮代町内 2. 埼玉県内（宮代町以外） 3. 東京都内	4. その他（ ）県） 5. 通勤・通学の必要がない	
⑥家族構成	1. 一人暮らし 2. 夫婦二人暮らし 3. 親と子（二世代）	4. 親と子と孫（三世代） 5. その他 （ ）	
⑦配偶者の有無	1. いる	2. いない	
⑧お住まいの地区	1. 東 2. 中 3. 金原 4. 逆井 5. 山崎 6. 西原 7. 姫宮 8. 川端 9. 宮東 10. 中島	11. 道佛 12. 道佛1～3 13. 百間 14. 百間1～6 15. 中央1～3 16. 宮代1～3 17. 本田1～5 18. 東桑原 19. 西桑原 20. 須賀	21. 和戸 22. 国納 23. 和戸1～5 24. 宮代台1～3 25. 学園台1～4 26. 笠原1～2 27. 川端1～4 28. 東姫宮1～2

2. 町の住みごころについて

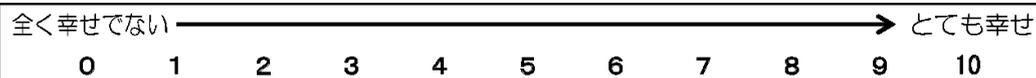
問2 あなたは、宮代町の住みやすさを、全体としてどう感じていますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|----------|
| 1. 大変住みやすい | 4. 住みにくい |
| 2. どちらかといえば住みやすい | 5. わからない |
| 3. あまり住みよくない | |

問3 あなたにとって、「住みやすさ」を考えるうえで大切なことはどのようなことですか。
(3つに○)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 子育て環境の良さ | 11. 買い物の便利さ |
| 2. 福祉サービス・施設の充実 | 12. 働きやすい環境 |
| 3. 健康維持と医療機関の利用しやすさ | 13. 教育環境の良さ |
| 4. 豊かな自然 | 14. 文化や芸術に親しめる環境 |
| 5. 犯罪や交通事故の少なさ | 15. スポーツを楽しめる環境 |
| 6. 新鮮でおいしい食べ物 | 16. レジャー・娯楽の環境 |
| 7. 快適な住まいの環境 | 17. 公共交通の便利さ |
| 8. 良好な人間関係・家族関係 | 18. 道路交通網の充実 |
| 9. 災害への備え | 19. その他 |
| 10. 物価の安さ | () |

問4 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「全く幸せでない」を0点とすると何点くらいになりますか。(1つに○)



問5 問4で幸福感を判断した際に、重視したのはどのようなことですか。
(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 家計の状況(所得・消費) | 8. 趣味、社会貢献などの生きがい |
| 2. 就業状況(仕事の有無・安定) | 9. 家族関係 |
| 3. 健康状態 | 10. 友人関係 |
| 4. 自由な時間 | 11. 職場の人間関係 |
| 5. 充実した余暇 | 12. 地域コミュニティとの関係 |
| 6. 仕事の充実度 | 13. その他 |
| 7. 精神的なゆとり | () |

問6 あなたは、町への愛着を感じますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 愛着を感じる | 2. 愛着を感じない |
|-----------|------------|

3. まちづくりに対する“満足度”と“重要度”について

問8 あなたのまちづくりに対する“満足度”と“重要度”についておたずねします。次の項目についてお答え下さい。(○は1つつ)

あなたの考え 項目		(1)満足度 (1つに○)					(2)重要度 (1つに○)				
		満足	満足 どちらか といえ ば	不 満 どちら かとい え ば	不 満	わ か ら な い	重 要	重 要 ど ち ら か と い え ば	重 要 で は な い ど ち ら か と い え ば	重 要 で は な い	わ か ら な い
【記入例】		1	②	3	4	5	1	2	③	4	5
(1)都市基盤	①道路の整備 (他の自治体につながる幹線道路)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	②道路の整備 (居住地周辺の生活道路)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	③鉄道の駅施設・運行ダイヤ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	④町内循環バスの路線網・便数	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑤上水道 (供給の安定性、おいしさ)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑥下水道等の生活排水処理対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑦公園・遊歩道の整備 (配置、設備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑧市街地の街並み・景観の美しさ・快適性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑨住宅地の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2)生活・自然環境	①ごみの処理 (分別、収集回数)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	②地球温暖化対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	③自然環境の豊かさと保全の取組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	④道路等の水はけ、冠水対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑤防犯や交通安全対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑥消防・防災体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑦消費者対策 (相談体制等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

あなたの考え 項目		(1)満足度 (1つに○)					(2)重要度 (1つに○)				
		満足	満足 どちらかといえ ば	不 満 どちらかといえ ば	不 満	わ か ら な い	重 要	重 要 ど ち ら か と い え ば	重 要 で は な い ど ち ら か と い え ば	重 要 で は な い	わ か ら な い
(3) 教育・生涯学習・コミュニティ	①小中学校等の教育環境（教育内容・施設）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	②生涯学習（講座、教室等）の機会・内容	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	③市民の生涯学習活動や市民活動に関する情報	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	④地区、自治会等の活動や近所づきあい	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑤地区、自治会活動や市民活動に対する支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4) 保健・医療・福祉	①各種健診や相談等の保健事業、医療体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	②子育て支援（施設、子育て支援事業、経済的支援）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	③高齢者福祉（介護保険、保健福祉事業、いきがづくり等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	④障がい者福祉（障がい者福祉事業、社会参加・自立支援等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑤生活保護、国民健康保険等の社会保障	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑥ボランティア等の地域福祉活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5) 産業	①農業の振興（担い手育成、地産地消の推進等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	②商工業の振興（起業・創業支援等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	③食料品等の日常品の買い物の便利さ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	④町の特性をいかした観光の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑤雇用機会の確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

あなたの考え 項目		(1)満足度 (1つに○)					(2)重要度 (1つに○)				
		満足	満足 どちらか といえ ば	不 満 どちら かとい え ば	不 満	わ か ら な い	重 要	重 要 ど ち ら か と い え ば	重 要 で は な い ど ち ら か と い え ば	重 要 で は な い	わ か ら な い
(6) 行財政運営	①自立した行財政運営に向けた改革	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	②先進性・独自性を持ったまちづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	③行政からの情報提供（方法、内容）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	④市民の意見の反映や市民参加機会の確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑤人権擁護、男女共同参画の取組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑥町職員の接客態度	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	⑦市町村合併や事務組合など行政の広域化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

4. 今後のまちづくりの基本的方向性について

問9 今後、人口減少・高齢化が進行していく中で、大規模な住宅地や商業施設、工業団地等の都市開発のあり方についてどのように考えますか。(1つに○)

1. 開発を積極的に行うことで、拡大成長型のまちづくりを進める
2. 開発は最小限にとどめ、既存施設の有効活用等による持続可能なまちづくりを進める
3. 新たな開発は行わない
4. その他 ()

問10 宮代町を象徴する田んぼや畑、屋敷林、雑木林等の田園風景については、今後、農家の後継者不足等により、さらに減少していくことが見込まれます。こうした状況に、あなたはどのように対応していくべきと思いますか。(1つに○)

1. 行政と農家により、農地保全のための取組みを推進する
(例：農地の集約化、地産地消の推進、新規就農者の育成等)
2. 行政と農家だけでなく、農家以外の人でも農地保全の取組みに参加する
(例：地元産の農産物等の購入、市民農園の利用、援農ボランティアへの参加等)
3. 農家自身の努力に任せておけばよい
4. その他 ()

5. 地域活動について

問 14 あなたが、実際に地域でつながっている人、団体等はどれですか。

(あてはまるもの全てに○)

1. 自治会・町内会	8. 趣味のサークル
2. 地元の友人・知人	9. NPO・市民活動団体
3. なじみの店	10. 各種ボランティア団体
4. 近所の人	11. 自主防災・防犯組織
5. PTA	12. その他
6. こども会	()
7. 高齢者同士の集まり	13. 特にない

問 15 あなたは、自治会・町内会に加入していますか。(1つに○)

1. 加入している →問 17へ	2. 加入していない →問 16へ
------------------	-------------------

問 15で「2. 加入していない」と回答した方にうかがいます

問 16 あなたが、自治会・町内会に加入していない理由は何ですか。(3つまで○)

1. 加入のメリットを感じない	7. 高齢で活動に参加できない
2. 加入しなくても困らない	8. 会費を払いたくない
3. 加入の仕方がわからなかった	9. 役員になりたくない
4. 自治会活動に関心がない	10. 雰囲気になじめない
5. 近所づきあいがわずらわしい	11. 誘われなかった
6. 仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない	12. その他 ()

問 17 あなたが、重要だと思ふ地域活動は何ですか。(3つまで○)

1. 地域の防犯、治安の向上	11. 住民同士の親睦・交流
2. 防火・防災、災害等の対応	12. ごみの減量化、資源化
3. 交通安全	13. スポーツ・文化活動の活性化(運動会や文化祭等)
4. 高齢者・障がい者への支援	14. 学習の機会づくり(生活問題や制度、法律等)
5. 健康づくり	15. 町内会・自治会の活性化、組織化
6. 緑化保全・地域美化	16. 外国人との交流、相互理解
7. 地域の活性化、まちづくり	17. その他
8. 子育てへの支援	()
9. 青少年の健全育成	18. 特にない
10. 地域の伝統芸能・祭りの継承や保存	

問 18 あなたが、参加できる地域活動は何ですか。(3つまで○)

1. 地域の防犯、治安の向上	11. 住民同士の親睦・交流
2. 防火・防災、災害等の対応	12. ごみの減量化、資源化
3. 交通安全	13. スポーツ・文化活動の活性化(運動会や文化祭等)
4. 高齢者・障がい者への支援	14. 学習の機会づくり(生活問題や制度、法律等)
5. 健康づくり	15. 町内会・自治会の活性化、組織化
6. 緑化保全・地域美化	16. 外国人との交流、相互理解
7. 地域の活性化、まちづくり	17. その他
8. 子育てへの支援	()
9. 青少年の健全育成	18. 特にない
10. 地域の伝統芸能・祭りの継承や保存	

6. 地域での働き方について

問 19 地域の生活課題の解決の担い手として、「コミュニティビジネス」(ミニコラム参照)が広がりつつありますが、あなたは、どのような分野の「コミュニティビジネス」に関心がありますか。(3つまで○)

1. 福祉・介護(家事支援・代行、各種福祉サービス 等)
2. 環境(環境美化、リサイクル、リサイクルショップ 等)
3. 情報サービス(地域情報誌の発行、インターネットを活用した情報サービス 等)
4. 観光・交流(観光ボランティア、都市と農村の交流、国際・異業種交流 等)
5. まちづくり(祭りやイベントの企画・運営、空き店舗活用、宅配サービス 等)
6. ものづくり(食品加工、手工芸、ワークショップ 等)
7. 就労支援(女性・高齢者・障がい者等の就労支援 等)
8. 子育て支援(保育サービス、病児保育、子どもの居場所づくり 等)
9. 生涯学習(趣味・おけいこごと 等)
10. 芸術文化振興(芸術文化イベントの企画運営、映画・演劇等の上映 等)
11. その他 ()
12. 関心がない



ミニコラム 「コミュニティビジネス」とは

コミュニティビジネスとは、厳密な定義はありませんが、地域の課題を地域住民が主体的に、ビジネスの手法を用いて解決する取組みのことです。地域の人材やノウハウ、施設、資金を活用することにより、地域における新たな創業や雇用の創出、働きがい、生きがいを生み出し、地域コミュニティの活性化に寄与するものとして期待されています。コミュニティビジネスは決して新しい言葉ではなく、むしろ地域中心のまちづくりを進めるといふ点では、昔から行われてきた地域らしさを踏まえた取組みといえます。

7. 町からの情報提供について

問 20 あなたは、宮代町に関する情報を主にどこから得ていますか。

(あてはまるもの全てに○)

1. 広報みやしろ	6. 地区や自治会の掲示板、回覧板
2. 町議会だより	7. 新聞の地域版、ミニコミ誌
3. 町ホームページ	8. その他
4. 町 SNS (ツイッターなど)	()
5. 町の窓口や担当課への問い合わせ	9. 町に関する情報には興味がない

8. 町の将来像について

問 21 将来の宮代町の姿について、簡単な標語やキャッチフレーズで表現してください。

また、その標語、キャッチフレーズについてのあなたの願いや、お考え等があればお書きください。

<ul style="list-style-type: none"> • 標語、キャッチフレーズ • あなたのお考えなど
--

○最後になりましたが、宮代町のまちづくりについて、アイデアやご意見がありましたら、ご自由に記入してください。

質問は以上です。お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、7月1日(月)までに投函してください。

○転入者住民意識調査 調査票



宮代町住民意識調査ご協力のお願い

～宮代町へ転入された方へ～

日ごろから、宮代町のまちづくりにご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

宮代町では、現在、令和3年度からの10年間を期間とする「第5次総合計画」を策定する作業を進めています。

総合計画は、人口減少や高齢化が急速に進展する中、将来像や取り組むべき施策を掲げ、計画的にまちづくりを進めるためのいわばまちづくりの羅針盤となるものです。

この度、総合計画に掲げるべき将来像や施策を検討する過程において町民の皆さまのご意見をうかがう1つの機会として、宮代町に転入（過去5年間）された18歳以上の1,000人を対象に住民意識調査を実施することといたしました。

町民の皆さまのご意見をおうかがいして、共に宮代の未来を描いていきたいと考えていますので、お忙しい中とは思いますが、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和元年6月

宮代町長 新井 康之

■ご記入にあたってのお願い

1. 問いごとに「1つに○」「あてはまるもの全てに○」などと指定していますので、ご確認の上、回答をお願いいたします。
2. 回答のうち「その他」を選んだ場合、具体的に記入いただく欄を設けておりますので、ご記入をお願いいたします。
3. 調査は無記名方式で、お答えいただきました回答は、統計的に処理するとともに、個人が特定されないよう配慮した上で取り扱うこととしております。
4. ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒により**7月1日（月）まで**に切手を貼らずに投函してください。

■この調査票についてのお問い合わせ先

宮代町 企画財政課 対話のまちづくり推進担当（役場庁舎2階 窓口番号⑪）

電話：0480-34-1111（内線：214・215）

FAX：0480-34-7820

メール：kaikaku@town.miyashiro.saitama.jp

1. あなたや、ご家族のことについて

問1 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問2 転入された時の、あなたの年齢は何歳ですか。(1つに○)

1. 10歳代	5. 50歳代
2. 20歳代	6. 60歳代
3. 30歳代	7. 70歳代以上
4. 40歳代	

問3 転入された時の、あなたの職業は次のうちどれですか。(1つに○)

1. 農業	6. パート・アルバイト等
2. 会社員・勤め人	7. 学生(高校・専門含む)
3. 自営業	8. 無職(定年退職含む)
4. 公務員・教員(団体職員等)	9. その他
5. 主婦・主夫	()

問4 転入された時の、あなたの通勤・通学先はどこですか。(1つに○)

1. 宮代町内	7. 越谷市
2. 杉戸町	8. さいたま市
3. 春日部市	9. その他埼玉県内()市・町・村)
4. 久喜市	10. 東京都内()
5. 幸手市	11. その他()県()市・町・村)
6. 白岡市	12. 通勤・通学の必要がない

問5 転入された時の家族構成は、次のうちどれにあてはまりますか。(1つに○)

1. 一人暮らし	4. 親と子と孫(三世代)
2. 夫婦二人暮らし	5. その他
3. 親と子(二世代)	()

問6 転入された時に、ご家族にあなたを含めて就学前または就学中の方はいましたか。
(1つに○)

1. いる →問7へ	2. いない →問8へ
------------	-------------

問6で「1. いる」と回答した方にうかがいます

問7 該当する方が転入された時の就学状況は、次のうちどれにあてはまりますか。
(あてはまるもの全てに○)

1. 就学前	4. 高校生
2. 小学生	5. 専門学校・短大・大学・大学院生
3. 中学生	6. その他()

問8 転入された時のあなたのお住まいはどこですか。(1つに○)

1. 東	11. 道佛	21. 和戸
2. 中	12. 道佛1～3	22. 国納
3. 金原	13. 百間	23. 和戸1～5
4. 逆井	14. 百間1～6	24. 宮代台1～3
5. 山崎	15. 中央1～3	25. 学園台1～4
6. 西原	16. 宮代1～3	26. 笠原1～2
7. 姫宮	17. 本田1～5	27. 川端1～4
8. 川端	18. 東桑原	28. 東姫宮1～2
9. 宮東	19. 西桑原	
10. 中島	20. 須賀	

問9 転入される前は、あなたはどちらにお住まいでしたか。(1つに○)

1. 杉戸町	6. 越谷市
2. 春日部市	7. さいたま市
3. 久喜市	8. その他埼玉県内()市・町・村)
4. 幸手市	9. 東京都内()
5. 白岡市	10. その他()

問10 転入される前と後の、あなたの住宅の所有形態は、次のうちどれですか。(各1つに○)

転入前	1. 持ち家(一戸建て)	5. 公営住宅
	2. 持ち家(集合住宅)	6. 寮・社宅等
	3. 借家(一戸建て)	7. その他()
	4. 借家(集合住宅)	
転入後	1. 持ち家(一戸建て)	5. 公営住宅
	2. 持ち家(集合住宅)	6. 寮・社宅等
	3. 借家(一戸建て)	7. その他()
	4. 借家(集合住宅)	

2. 転入のきっかけ・理由等について

問 11 転入のきっかけは、次のうちどれになりますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 仕事	8. 健康上の理由
2. 学校	9. 親や子と同居・近居するため
3. 結婚	10. 親からの独立
4. 出産	11. 住宅の都合
5. 家族の人数の変化	12. 以前町内に住んでいたことがあったから
6. 子育て環境	13. その他
7. 生活環境	()

問 12 転入先について、宮代町以外で検討した市区町村はどちらですか。

(あてはまるもの全てに○)

1. 杉戸町	7. さいたま市
2. 春日部市	8. その他埼玉県内()市・町・村)
3. 久喜市	9. 東京都内()
4. 幸手市	10. その他()
5. 白岡市	11. 宮代町以外考えなかった
6. 越谷市	

問 13 転入先を検討した際に、決め手となったことはどのようなことですか。

(あてはまるもの全てに○)

1. 電車や道路など交通の利便性が良い	12. 地震や台風などの自然災害が少ない
2. 住宅の条件(広さ、日当たり、静けさ)が良い	13. 治安が良く安全である
3. 家賃・住宅価格が手頃だった	14. まちのイメージが良い
4. 高齢者向けの福祉施策が充実している	15. 買い物など日常生活が便利
5. 文化的活動がさかん	16. 以前宮代町に住んでいた
6. 地域コミュニティ活動がさかん	17. 家族・知人の家に近い
7. 子育て環境が良い	18. 職場・学校に近い
8. 教育環境が良い	19. 家族や知人から薦められた
9. 医療施設が充実している	20. 不動産会社から薦められた
10. 公園・緑地が多い	21. その他
11. 公共施設が充実している	()

3. 町の情報等について

問 14 あなたは、以前から宮代町のことを知っていましたか。(1つに○)

1. 知っていた →問 15、16へ

2. 知らなかった →問 17へ

問 15、16 は、問 14 で「1. 知っていた」と回答した方にうかがいます

問 15 転入以前から宮代町のことを知っていたとのことですが、どのような経緯で宮代町のことを知りましたか。(あてはまるもの全てに○)

1. 以前町内または近隣市町などに住んでいた
2. 町内イベントや施設に来た
3. 電車や車で通った
4. 新聞や雑誌で見た
5. 電車・バス等の吊り広告やポスターを見た
6. テレビやラジオで見聞きした
7. ホームページや SNS (ツイッターなど) で見た
8. 友人・知人・親族などを通じて知った
9. その他 ()

問 16 宮代町について知っていたこと全てに○をつけてください。また、他に宮代町について知っていたことがあればご記入ください。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 日本工業大学 | 10. 桜市 |
| 2. 東武動物公園 | 11. ツリークライミング |
| 3. 進修館 | 12. みやしろ産業祭 |
| 4. 笠原小学校 | 13. 宮代町外交官 |
| 5. 新しい村 | 14. 宮代町インターネット放送局 |
| 6. 山崎山の雑木林 | 15. 宮代 iline! (い〜ね) |
| 7. 巨峰 | 16. みやしろで暮らそっ (ウェブサイト) |
| 8. トウブコフェスティバル | 17. 宮代町という名前だけしか知らなかった |
| 9. 婚活イベント | |

【その他知っていたこと】

ここから再び全ての方にかがいます

問 17 住まいや転入先を探した時の情報源は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 宮代町定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」	
2. 住宅情報・不動産情報ホームページ	
3. その他インターネット情報（具体的に： _____）	
4. 住宅情報誌	
5. 不動産業者	
6. ハウスメーカー・建設会社	
7. 新聞・広告	
8. 電車・バス等の吊り広告やポスター	
9. 友人・知人・親族など	
10. その他（ _____ ）	

4. 町の印象について

問 18 宮代町に実際に住んでみた感想についてお答え下さい。(各1つに○)

	そう思う	そう思わない	わからない
①自然が豊か	1	2	3
②公園・緑地が多い	1	2	3
③住環境が良い	1	2	3
④子育て環境が良い	1	2	3
⑤教育環境が良い	1	2	3
⑥文化的活動がさかん	1	2	3
⑦地域コミュニティ活動がさかん	1	2	3
⑧農業がさかん	1	2	3
⑨観光・レジャーが充実	1	2	3
⑩商工業がさかん	1	2	3
⑪日常生活が快適で便利	1	2	3
⑫交通の利便性が良い	1	2	3
⑬福祉施策が充実	1	2	3
⑭医療施設が充実	1	2	3
⑮公共施設が充実	1	2	3
⑯自然災害が少ない	1	2	3
⑰安心して住める・暮らせる	1	2	3

5. 自治会について

問 19 自治会・町内会に加入していますか。(1つに○)

1. 加入している →問 21 へ

2. 加入していない →問 20 へ

問 19 で「2. 加入していない」と回答した方にうかがいます

問 20 自治会・町内会に加入していない主な理由は何ですか。(3つまで○)

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. 加入のメリットを感じない | 8. 会費を払いたくない |
| 2. 加入しなくても困らない | 9. 役員になりたくない |
| 3. 加入の仕方がわからなかった | 10. 雰囲気になじめない |
| 4. 自治会活動に関心がない | 11. 誘われなかった |
| 5. 近所づきあいがわずらわしい | 12. その他 |
| 6. 仕事や家庭が忙しく、活動に参加できない | () |
| 7. 高齢で活動に参加できない | 13. 特に理由はない |

6. 今後の定住意向について

問 21 あなたは、これからも宮代町に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

1. 永住したい 2. 当分の間住みたい

3. できれば移転したい 4. 移転する

問 21-1

「永住したい」「当分の間住みたい」とお答えになった方におたずねします。その主な理由は何ですか。(2つに○)

1. 自然環境が良い
 2. 住み慣れている
 3. 人間関係がよい
 4. 教育環境がよい
 5. 仕事の関係から
 6. 自分の家(土地)がある
 7. 家賃・地代が安い
 8. 交通の便がよい
 9. 公共施設が整っている
 10. 行政サービスが充実している
 11. その他
- ()

問 21-2

「できれば移転したい」「移転する」とお答えになった方におたずねします。その主な理由は何ですか。(2つに○)

1. 公園・緑地・広場が少ない
 2. 日常生活が不便
 3. 人間関係がよくない
 4. 教育環境がよくない
 5. 仕事の関係から
 6. 近隣公害(騒音・振動・日照)のため
 7. 現在の住宅(広さ・家賃など)に不満
 8. 交通が不便
 9. 公共施設が整備されていない
 10. 行政サービスが充実していない
 11. 他の地域に住んでみたい
 12. その他
- ()

7. 町の将来像について

問 22 将来の宮代町の姿について、簡単な標語やキャッチフレーズで表現してください。
また、その標語、キャッチフレーズについてのあなたの願いや、お考え等があればお書きください。

• 標語、キャッチフレーズ

• あなたのお考えなど

○最後になりましたが、宮代町のまちづくりについて、アイデアやご意見がありましたら、ご自由に記入してください。

質問は以上です。お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、7月1日（月）までに投函してください。

宮代町住民意識調査結果報告書

発行年月／令和2年3月

発行／宮代町 企画財政課

住所／〒345-8504 埼玉県南埼玉郡宮代町笠原 1-4-1

TEL : 0480-34-1111

FAX : 0480-34-7820